

原註

情報源と手法

この本は2012年に開始した8年にわたる調査に基づいている。本書の執筆期間中、私はダサニの家族の生活を日々取材しながら、家族の許可と協力を得て、数世代にわたる一家の歴史に関する資料と行政機関が残した記録を調べていった。学術文献の調査も広範におこない、学んだことを正確に理解するために専門家たちの力を借りた。

直接取材

ダサニの人生を追っていくなかで、私はメモを大量に取り、会話のほとんどを録音し、目にした多くの出来事を携帯電話で動画や写真に収めた。ダサニの家族にも動画や写真の撮影と音声の録音を頼み、生活の記録を残してもらった。合計で録音は132時間、動画は28時間に及んだ。こうした記録のおかげで、出来事の描写や実際にあった会話と台詞の再現が可能になった。

本書において私が立ち会えなかった一部の出来事は、できるかぎり多くの関係者に取材をして事実の裏付けをとり、その場面を再現した。登場人物の思考の記述は本人の協力のもとでおこない、書いた文章を本人に確認してもらった。刊行前にはダサニとアヴィアナの前で本文を音読し、口調や表現、事実の正確性に問題がないか順番に確認していった。ナナ、カリク、パパ、マーゴほか数人にも本文を部分的に確認してもらい、シュプリームとシャネルには全文を渡して読んでもらった。事実誤認はなかったが、記述の正確性に関する細かな指摘をいくつか受けた。

名前の表記

私は数年にわたって200人以上の大人と数十人の子どもに取材をおこなった。子どもたちの姓は身元を明らかにしないために伏せている。ダサニとアヴィアナだけは姓名を記しているが、ふたりは成人後にこのことに同意した。他の六人のきょうだいはニックネームで、本書に登場する大人のうち数人はストリートネームで表記している。たとえばダサニの実父ラメル、伯父シャメル、大叔母の夫スピーディーがそうだ。ダサニの周囲の人の大半は私が記者であるとわかっていたが、全員が取材に好意的だったわけではない。私は一部の人物については名前の表記をしないことにした(2015年にシャネルが通話内容を録音したACSのスーパーバイザーなど)。

記録の入手

本書を書くにあたって、私は行政機関やその他の情報源から 14,325 件の記録を入手して精査した。この中には市の福祉事業の歴史や政策や管理体制（オーバーン・シェルターへの州の調査報告書など）に関する書類も含まれているが、ほとんどはダサニの家族に関連する記録である。

家族の記録には、児童保護のケースファイル、法廷での発言記録、出生・死亡証明書、学校の成績表、住居や立ち退きの記録、911 への通報録、刑事裁判と刑務所の記録、賃金と雇用関連の書類、メディケイドや病院や薬物治療の記録などが含まれる。チャンネルとシュプリームが調査に協力してくれたおかげで、私はふたりが情報公開法（FOIL）に基づき請求した数十件の記録を手にすることができた。

市の福祉機関、ホームレス支援組織、児童保護機関と家族のやり取りを正確に記述するために、私は直接目にしたこと、家族への取材内容、児童保護機関のケースファイルの記録を突き合わせて確認した。サイクス家の歴史をたどるために、系譜学者ダイアン・L・リチャードと協力し、1700 年代まで遡る数百件の資料を分析した。ジューン・サイクスの軍歴の全体像を把握するために、調査担当のクレイグ・ヒューズと私はアメリカ合衆国退役軍人省などの情報源から資料を探し出した。

こうした調査に関する詳細は、以下の註に記している。

略称一覧

- ACS：児童福祉局（Administration for Children's Services）
- DHS：ホームレス対策局（Department of Homeless Services）
- DOC：矯正局（Department of Correction）
- DOE：教育局（Department of Education）
- HPD：住宅保存・開発局（Department of Housing Preservation and Development）
- HRA：人的資源局（Human Resources Administration）
- IRS：内国歳入庁（Internal Revenue Service）
- MTA：ニューヨーク州都市交通局（Metropolitan Transportation Authority）
- NYCHA：ニューヨーク市住宅公社（New York City Housing Authority）
- NYPD：ニューヨーク市警察（New York Police Department）
- OTDA：一時支援・障害支援局（Office of Temporary and Disability Assistance）
- SSA：社会保障局（Social Security Administration）

「それというのも、この子たちがみな私たちの子どもだからです」： ロバート・マクパーラ
ンド著 *From Native Son to King's Men: The Literary Landscape of 1940s America* (Lanham,

Md.: Rowman and Littlefield, 2017), p. 74 で引用されているジェームズ・ボールドウィンの手紙より。

プロローグ

p.12 はじめに彼らが向かったのはパパのところだった: この場面は、子どもたちと両親への取材、私が直接目にしたこと、児童福祉局 (ACS) とニューヨーク・ファウンドリングが保有する家族の児童保護ファイルのケース記録に基づいている。州法の規定により、ACS とファウンドリングの職員はこの家族のケースについては言及できないが、自らの組織に関する一般的な質問には回答を得ることができた。

p.13 かつてベルヴェール病院の遺体安置所だった: ニーナ・バーンスタイン “New Center for Foster Children Echoes Changes in an Agency” *New York Times*, June 1, 2001

第1章

p.17 「こうやって見ると、あそこではなにかすごいことが起きてるって感じがするんだ」: 特別な言及がないかぎり、ダサニの台詞はすべて、取材での発言もしくは私が直接目にした場面に基づいている。

p.17 古き良きブルックリンは消滅しつつあった: テミス・クロノプロス “What’s Happened to the People?: Gentrification and Racial Segregation in Brooklyn,” *Journal of African American Studies* 24, no. 4 (2020), pp. 549-72; ヴィヴィアン・イー “Gentrification in a Brooklyn Neighborhood Forces Residents to Move On,” *New York Times*, Nov. 27, 2015; New York University Furman Center, “Focus on Gentrification,” *State of New York City’s Housing and Neighborhoods in 2015* (New York: Furman Center, 2016), pp. 4-24

p.18 富が蓄積されれば (…) 貧困がはびこることになる: イー “Gentrification in a Brooklyn Neighborhood”; ヤナ・カスペルケヴィッチ “A Tale of Two Brooklyns: There’s More to My Borough than Hipsters and Coffee,” *The Guardian*, Aug. 27, 2014

p.18 ホームレスの子ども (…) の数はニューヨーク市で二万二〇〇〇人を上回り: ニューヨーク市の市営シェルター・システムは、四つの機関が運営している。中心的なシェルター・システムはホームレス対策局 (DHS) が、家庭内暴力の被害者や HIV/AIDS 患者のためのシェルターは人的資源局 (HRA) が、家出やホームレス状態にある若者向けシェルターは青少年・地域開発局が、火災や市発行の立ち退き命令で住居を失った個人や家族向けシェルターは住宅保存・開発局 (HPD) が、それぞれ管轄している。

ニューヨーク市のシェルター人口の総数を測定するにはさまざまな方法があるが、どの

値もあくまで概算に過ぎない。DHSは「シェルター人口調査」をウェブサイトですべて毎日公表しているが、これは他の機関が運営するシェルター利用者を含んでいないうえに、DHSが所管する一部のシェルターも対象外となっている。したがって、一泊利用のドロップイン・センター、短期住宅に滞在している退役軍人、路上生活者向けの入居基準が低いシェルター、家族用シェルターへの入居を申請中だが「適格」とまだ判断されていない人々は含まれていない。シェルターを管轄するその他の機関は、2011年に法的義務が課されるまで調査データを公表していなかった。

市のホームレス総人口の私の推定値は、シェルターを管理している市の四機関すべてのデータを含むため、DHSの公式統計とは異なる。このデータは市長室発行の月次シェルター調査に基づいている。なお、私の推定値にもDHSの統計にも、路上で生活しているホームレスや、他人の家や部屋に「身を寄せている」人の数は含まれていない。また、ホームレス支援連盟の政策担当ジゼル・ルシエ、リーガル・エイド・ソサエティの弁護士ジョシュア・ゴールドファインからも分析結果の提供を受けた。

p.18 アメリカ合衆国でもっとも格差の激しいこの大都市: 2012年、アメリカの十大都市の中で、ニューヨークは最も格差の大きい都市とされた。クイーンズ・カレッジ社会学部のアンドリュー・ビバリッジとスーザン・ウェーバー＝ストーガーの2012年の国勢調査のデータ分析より。

p.18 ニューヨーク市の人口八三〇万人のうち、半数近くが貧困ラインぎりぎりか、それ以下の生活を強いられている: 貧困ライン（「貧困閾値」とも呼ばれる）とは、個人または家族が基本的な物質的ニーズを満たすために必要な最低限の所得額である。貧困ラインを下回るということは、収入が衣食住といった最低限必要なものへの支出よりも低いことを意味する。貧困ラインの設定の仕方はさまざまだが、専門家のほとんどは連邦政府の「公式貧困指標（OPM）」を時代遅れだと考えている。OPMは1960年代にモリー・オーシャンスキーが考案したもので、最低限の食費とそれが家計に占める割合（約三分の一とされた）に基づいて貧困ラインを算出した。この金額を三倍にすることで、生活に最低限必要な支出の総額を推定したのである。今日に至るまで、OPMは家計の三分の一を食費に充てるという前提を維持しているが、実際には食費の割合は下がってきていて、住居や育児などへの支出が増加している。

アメリカ国勢調査局は数十年にわたって研究を重ね、2011年に「補足的貧困指標（SPM）」を発表した。この指標は公式貧困指標（OPM）とは異なり、家族が受ける補助や支出、非現金給付、生活費の地域差などを考慮に入れている。ニューヨーク市はこれと似た方法論を用い、マイケル・R・ブルームバーグ市政下の2007年に独自の貧困指標を他に先駆けて導入した。この指標によれば、ニューヨーク市在住の四人家族の2013年の貧困ラインは年収31,156ドルで、さらにこの基準の150%未満で生活している市民は「準貧困層」とされた。

この定義に従えば、ニューヨーク市の貧困または準貧困率は 45.9%だった（調査結果が最後に発表された 2018 年時点でも、市民の 41.3%が貧困または準貧困状態にあった）。

コロンビア大学人口研究センター共同所長ジェーン・ウォルドフォーゲルと同大学貧困・社会政策センターの共同所長クリストファー・ウィマー提供の分析による。以下も参照。ニューヨーク市経済機会局作成の 2017、2018 年ニューヨーク市政府貧困指標調査、ゴードン・M・フィッシャー “The Development and History of U.S. Poverty Thresholds—A Brief Overview”（アメリカ合衆国保健福祉省発行, 1997 年 1 月 1 日）、リアナ・フォックス “What Is the Supplemental Poverty Measure and How Does It Differ from the Official Measure?”（国勢調査局経済住宅統計部門発行, 2020 年 9 月 9 日）。

p.20 オーバーンから発信された緊急通報は約三五〇件を超え：ニューヨーク市警察（NYPD）より。

p.21 開放病棟で瀕死の人々が看護されていた：“Undermanned Hospital Dismal and Crowded,” Daily News, Nov. 18, 1951

p.21 一〇〇組以上の家族が（…）行列を作る：DHS より。

p.24 貧しい人々を受け入れる市立病院だった：スザンヌ・スペレン “Past and Present: Decades of Change for Fort Greene’s Cumberland Street Hospital,” Brownstoner, July 14, 2015

p.24 ダサニを含めて四三二人のホームレスの親と子が暮らしている：DHS より。

第 2 章

p.27 五〇〇人以上の生徒：特別な言及がないかぎり、マッキニー校に関する情報はすべて、2012-2013 年度にポーラ・ホームズ校長から提供されたものである。

p.28 現在二十五万人のニューヨーク市民が公営住宅の入居待ちリストに登録している：ニューヨーク市住宅公社(NYCHA)より。

p.30 貧しいために無料や割引価格で学食が提供されている：教育局（DOE）より。

p.31 学習障害や問題行動を抱える子どもたちを排除することで知られている：Charter Schools—Implications for Students with Disabilities（ワシントン D.C., 全米障害者評議会発行, 2018 年）, pp. 47-48.

p.31 「ブルックリンの遠い学区に通ったり(…)しなくてもよいのです」: この文言は2013年2月13日にサクセス・アカデミーのウェブサイトの“Success Academy Fort Greene”欄に掲載された。

p.31 白人は地域からどんどんいなくなっていたのだ: クレイグ・スティーヴン・ワイルダー著 *A Covenant with Color: Race and Social power in Brooklyn* (New York: Columbia University Press, 2000), pp. 212-14.

p.31 現在、ニューヨーク市の学校制度はアメリカ国内最大規模で: 2012年、ニューヨーク市の公立学校には110万人の生徒が在籍していた。“New York City Department of Education Teacher Incentive Fund Grant Program 2013-2018: Teacher Career Lattice,” *Application for Grants Under the TIF General Competition* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国教育省発行, 2012年), P.18.

p.31 人種の隔離がとりわけ著しい: フォード・フェセンダン “A Portrait of Segregation in New York City’s Schools,” *New York Times*, May 11, 2012.

p.31 十四校に七〇〇〇人が在籍している: サクセス・アカデミーの広報担当者より。

p.32 俳優になる夢を諦めて久しい: フェイス・ヘスターへの取材より。

p.33 そこじゃ警察をAチームって呼んでる: ジェイ・Z “Where I’m From,” *In My Lifetime*, Vol. 1 (Roc-A-Fella, 1997).

p.33 一人はエンジェルという青年: ヘスターへの取材より。

p.38 他人がどう考えているかをシャネルは想像してみる: 特別な言及がないかぎり、シャネル・サイクスに関する記述はすべて、台詞や経歴を含め、彼女への取材または私が直接目にしたことに基づいている。

p.39 家族は公的扶助にも頼っている: 家族への現金扶助とフードスタンプはHRAから支給されている。遺族給付金は、連邦政府の社会保障局(SSA)から給付されている。HRA、DHSの記録より。

p.39 ホームレスの家族で遺族年金を受け取っているのは二パーセントにも満たない:

HRA のデータより。

p.39 シャネルとシュプリームは何度か拘置所に入れられた: シャネルとシュプリームの犯罪歴に関する記述はすべて、矯正局 (DOC)、刑事裁判所、ACS の記録、本人への取材に基づいている。

p.40 薬物依存症治療クリニックに毎日のように通わなければならない: シャネルとシュプリームの薬物治療プログラムに関する記述はすべて、検査結果も含めて、各プログラムの記録、および家庭裁判所、メディケイド、HRA、ACS の記録に基づいている。

p.40 シャネルが (...) 仕事に就いて半年が経っている: シャネルとシュプリームの就労状況に関する記述はすべて、DHA、ACS、HRA、SSA の記録に基づいている。

p.43 携帯電話〈ライフライン〉(連邦政府から無料で提供されている): 連邦通信委員会のプログラムより。

p.43 オーバーンの老朽化は市や州の調査員には周知の事実: DHS および州の一時支援・障害支援局 (OTDA) の調査報告より。

p.43 十三ヶ所にわたって基準違反が指摘されている: DHS の家族のケースファイルより。

p.44 シェルターの年間予算は九〇〇万ドル: DHS のデータより。

第3章

p.54 黒人女性としてふたり目の (...) アンナ・V・ジェファーソン: *Lawmakers: Women of the New York State Legislature* (ニューヨーク, ニューヨーク州女性議員連盟発行, 2017 年), p.53; “Constance Baker Motley: Judiciary’s Unsung Rights Hero,” United States Courts, Feb. 20, 2020.

p.59 一七七六年、アメリカが (...) 初めて大規模な戦闘をおこなった: ジョン・J・ギャラガー著 *The Battle of Brooklyn* (Boston: Da Capo Press, 1995).

p.59 高さ四十五メートルの塔に取り付けてある: ニューヨーク市公園レクリエーション局のウェブサイトより。

p.59 ブルックリンは (...) 奴隷たちの労働を搾取することで築かれた: この段落と次の段

落は複数の資料に基づいている。セス・M・シャイナー著 *Negro Mecca: A History of the Negro in New York City, 1865-1920* (New York: New York University press, 1965), pp. 1, 4、ロイ・オトリ、ウィリアム・J・ウェザビー編 *The Negro in New York: An Informal Social History, 1626-1940* (New York: Praeger, 1969), p. 13 を主に参照した。

p.59 そのおよそ四十年後、イギリスがこのオランダの植民地を手に入れ: オトリ、ウェザビー編 *Negro in New York*, pp. 13-15, 19-22.

p.59 植民地の奴隷人口は一万三五〇〇人に膨れ上がり: エドガー・J・マクマナス著 *Black Bondage in the North* (Syracuse: Syracuse University Press, 2001), p. 209.

p.59 北部最大の奴隷保有地となった: マクマナス著 *Black Bondage*, p. 16.

p.59 ニューヨークの中でもっとも奴隷が集中していたのがブルックリン: ワイルダー著 *Covenant with Color*, pp. 19, 33.

p.59 何千人もの黒人奴隷が独立戦争に参加: ハリー・A・プロスキ、ジェームズ・デュボア・ウィリアムズ編 *The Negro Almanac: A Reference Work on the Afro-American* (New York: Bellwether Publishing, 1983), p. 541.

p.59 最大の戦いがブルックリンで繰り広げられた: エドウィン・G・バロウズ著 *Forgotten Patriots: The Untold Story of American Prisoners During the Revolutionary War* (New York: Basic Books, 2008), p. 203.

p.60 捕虜一万一五〇〇人の遺体: ベネディクト・コスグローヴ “The Grisly History of Brooklyn’s Revolutionary War Martyrs,” *Smithsonian Magazine*, March 13, 2017.

p.60 「自由のために戦死した」人々の栄誉をたたえ、彼らを「解放された死者の魂」と述べている: ニューヨーク市美術委員会 *Catalogue of the Works of Art Belonging to the City of New York*, vol. 2 (New York: Gilliss Press, 1920), p. 28 より (現在この石板は記念碑から外されている)。

第4章

p.62 窓をこぶしで叩き割り: 警察の記録、ジョシュ、ラモント、シャネル、ダサニ、きょうだいへの取材より。

p.62 「勤労所得税額控除」で、(…)二七〇〇万世帯以上を支援している：内国歳入庁（IRS）より。

p.63 長く住める住まいを見つけることが最終的な目標だからだ：シェルターへの滞在条件については、ニューヨーク州法規集第 18 編第 352 条 35 “Eligibility for temporary housing assistance for homeless persons.”を参照。

p.63 ダサニの家族がオーバーンを離れてアパートを借りるためには、(…)最低でも四八〇〇ドルが必要だ：ニューヨーク市地域福祉協会、ダグラス・エリマン不動産の営業担当者ジア・オハラ分析より。

p.65 もっとも貧困者に寛大な行政機関でもある：トレイシー・ゴードン、リチャード・C・オクシエ、ジョン・イゼリン著 *Assessing Fiscal Capacities of States: A Representative Revenue System-Representative Expenditure System Approach, Fiscal year 2012* (ワシントン D.C., 都市研究所発行, 2016 年), pp. 44-45.

p.65 もっとも広範囲にわたり影響力があるのは人的資源局：特別な言及がないかぎり、市の社会福祉制度に関するデータはすべて 2012 年秋時点のもので、言及した各機関から提供されたものである。

p.65 ニューヨーク市民三〇〇万人以上：2012 年 9 月から 11 月における、HRA が管理する市のメディケイド登録者数のデータより。ニューヨーク市の “Open Data” ウェブサイト opendata.cityofnewyork.us から 2021 年 4 月 8 日にアクセス。

p.65 市の人口の約三十八パーセント：保健局のニューヨーク州人口動態統計 “Table 2: Population, Land Area, and Population Density by County, New York State—2012”より。

p.65 三十五万七〇〇〇人が福祉援助給付金を受けている：社会保障局（SSA）はこれとは別に、障害を抱えている、もしくは 65 歳以上のニューヨーク市民 42 万 6,000 人に対して、補足的保障所得（SSI）を給付している。

p.65 八万以上の就学児童がホームレスになっている：DOE と DHS は学年度中に家を失った公立校の生徒数を記録している。彼らは「一時的住居で生活する生徒」と呼ばれ、市のシェルターだけでなく、他人の家やモーターなどの仮住居で暮らしている生徒が含まれる。

p.66 ACS は毎年約五万五〇〇〇件通報されるネグレクトを含む児童虐待を調査している：

ACS は児童保護に加えて、少年司法制度、幼児期保育・教育を管轄している。

p.66 そのほとんどが黒人やラテン系アメリカ人だ: 2012 年 12 月時点で、ニューヨーク市の里子の人種構成は、黒人が 53%、ラテン系アメリカ人が 30%、その他・不明が 12%、白人が 4%、アジア系が 1%だった。ACS のデータより。

p.66 ニューヨーク市の住民の約半数(そして市に住む子どもの四分の一)が白人: 2012 年、ニューヨーク市に住む 1,785,358 人の子どものうち、白人は 449,001 人だった。2012 年の国勢調査のデータ、国勢調査局 2005-2019 年全米地域調査年間推計のニューヨーク市民児童委員会の分析結果による。

p.66 貧困家庭で育つ全米で一六〇〇万人の子ども: 2012 年の国勢調査のデータより。

p.66 フードスタンプを受給している四七〇〇万人のアメリカ人: 2012 財政年度の平均で、4,660 万 9,000 人がフードスタンプを受給していた。アメリカ合衆国農務省より。

p.67 子どもたちは学校でも無料で食事をとることができ: 同。

p.67 きょうだいのうちふたりには学習障害の兆候がある: ACS と DOE の記録より。

p.67 児童保護ワーカーは (...) ダサニの家族を断続的に監視している: ACS の家族のケースファイルより。

p.68 ニューヨーク州の法律によると、身体的虐待とは: 「児童虐待」の定義は、ニューヨーク州法規集第 432 条 1(a)および社会福祉法第 412 条による。「ネグレクトされた児童」の定義は、ニューヨーク州家庭裁判所法第 1012 条(f)を参照。

p.68 七歳のニクスマリー・ブラウンが継父から暴行され死亡した: カリーム・ファヒーム、レスリー・カウフマン “Girl, 7, Found Beaten to Death in Brooklyn,” *New York Times*, Jan. 12, 2006.

p.68 虐待の通報件数は急増し、亡くなった少女の名前をつけた法律が制定された: スーウェル・チャン “Rise in Child Abuse Reports has Family Court Reeling,” *New York Times*, Jan. 12, 2007; グレン・ブレイン “Gov. Paterson Signs Nixzmary’s Law,” *Daily News*, Oct. 9, 2009.

p.68 とはいえ、ACS の調査で虐待が見つかるのはわずか七パーセントにすぎない: 2012

年、ACS は 54,952 件の調査を実施し、「虐待のみ」の申し立てがされたのは全体のわずか 1% (554 件)にとどまった。同年、「虐待およびネグレクト」の申し立ては全体の 5.8% (3,168 件) だった。ACS のデータより。

p.68 そうした親のほとんどが貧困状態にある: ミシェル・コルターゼ、テラ・コールズ “Poor and at Risk of Losing Their Kids: Moms and Dads Under ACS Investigation Deserve More Legal Help,” *Daily News*, Dec. 14, 2019; キャスリン・ジョイス “The Crime of Parenting While Poor,” *New Republic*, Feb. 25, 2019.

p.71 「何回か面談を繰り返すうちに、心を開いてくれました」: パートナーシップ・フォー・チルドレンが保管し、ダサニの家族から私に提供された記録による。

第 5 章

p.77 マートル・アヴェニューのすぐ北側では、フォート・グリーン最貧困層の黒人が: ジャン・ローゼンバーグ “Chapter 9: Fort Greene, New York,” *Cityscape* 4, no. 2 (1998), pp. 179, 188, 192、ジュリー・ラスキー “Fort Greene, Brooklyn: Riding the Wave of Gentrification,” *New York Times*, Nov. 6, 2019、国勢調査局 2014-2018 年全米地域調査のデータに基づくマートル・アヴェニューの北側の南側の世帯動向の分析より。

p.78 有名なクイーン・アン様式と第二帝政様式の古いタウンハウス: ウィニフレッド・カラ “Creative Destruction: City Policy and Urban Renewal in Fort Greene, Brooklyn” (ニューヨーク市立大学ハンター校の修士論文, 1998 年)。

p.78 フォート・グリーン白人の大半が住んでいるのも、マートル・アヴェニューの南側だ: 国勢調査局 2014-2018 年全米地域調査のデータより。

p.78 この言葉は (...) 「ジェントリー」に由来する: 「ジェントリフィケーション」という用語は、1964 年にドイツ系イギリス人の社会学者で都市計画家のルース・グラスが生み出した。ジェーン・ソロモン “When and Where Did the Word Gentrification Originate?” KQED.org, May 18, 2014 より。“gentry”の語源については、コーネル大学言語学部のマイケル・ワイスによる。

p.79 二〇一七年に二一〇万ドルで売却された: “81 Adelphi St, Brooklyn, NY 11205” Zillow.com より。2021 年 2 月 20 日閲覧。

p.79 十九世紀には (...) 暮らしていた: プリティ・カナカメダラ “P.S. 67 Charles A. Dorsey

School,” ウェブサイト placematters.net の City Lore, Place Matters より。2021年2月26日閲覧。

p.79 ニューヨーク州の奴隷制が廃止された年と同じだ: 1827年以降もニューヨークの数十人の黒人は奴隷の境遇のまま、奴隷制廃止を無視した南部出身者のもとで生活していた。ワイルダー著 *Covenant with Color*, p. 19 より。段階的な奴隷制廃止については、エリック・フォーナー著 *Slavery and Freedom in Nineteenth-Century America* (New York: W.W.Norton, 2015), p. 44 による。

p.79 一八四五年、教育委員会がフリー・スクールを公立学校として認可: スザンヌ・スペレン “Building of the Day: 270 Union Avenue,” *Brownstoner*, Feb. 21, 2012.

p.79 ウィロビー・ストリート (….) に移転させた: “Board of Education,” *Brooklyn Daily Eagle*, April 15, 1847.

p.79 人種間の対立が長い間燻り続けていた: カレン・M・ストーラー著 *New York's Newsboys: Charles Loring Brace and the Founding of the Children's Aid Society* (New York: Oxford University Press, 2020), pp. 248-50; レスリー・M・ハリス著 *In the Shadow of Slavery: African American in New York City, 1626-1863* (Chicago: University of Chicago Press, 2003), p. 280.

p.80 マンハッタンに比べれば、ブルックリンは楽園だった: シャイナー著 *Negro Mecca*, p. 20.

p.80 たくさんの黒人家族がマンハッタンを離れてブルックリンに向かい: 同 p. 34.

p.80 移動する大きな波のなかに: カーラ・L・ピーターソン著 *Black Gotham: A Family History of African Americans in Nineteenth-Century New York City* (New Haven: Yale University Press, 2011), p. 286; ハロルド・ゼイヴィア・コノリー “Blacks in Brooklyn from 1900 to 1960” (ニューヨーク大学の博士論文, 1972年), pp. 67, 348.

p.80 「黒人地帯」と呼ばれるようになった: ロバート・スワン “The Black Belt of Brooklyn” より。シャーリーン・クレイ・ヴァン・ダージー編 *An Introduction to the Black Contribution to the Development of Brooklyn* (New York: New Muse Community Museum of Brooklyn, 1977), p. 99 所収。

- p.80 「裕福な黒人の大半」: “Wealthy Negro Citizens,” *New York Times*, July 14, 1895.
- p.80 七十一人の: 「1890年の国勢調査によると、マンハッタンで黒人が所有した住宅は21軒だったのに対し、ブルックリンでは71軒だった」。シャイナー著 *Negro Mecca*, p. 34より。
- p.80 拠点を築いた: コノリー “Blacks in Brooklyn,” pp. 52-58.
- p.80 精神的先導者: New York City Landmarks Preservation Commission, *Fort Greene Historic District Designation Report* (ニューヨーク, ニューヨーク市歴史建造物保存委員会発行, 1978年), p. 17.
- p.80 市民権を求める運動の指導者: コノリー “Blacks in Brooklyn,” p. 348.
- p.80 このようないくつもの流れが合わさって見事に結実したのが、一八八三年十一月二十三日: “The Brooklyn School Opening,” *New York Globe*, Dec. 1, 1883; “Events in Brooklyn: Summary of the Week’s Local News,” *Brooklyn Daily Eagle*, Nov. 25, 1888.
- p.80 ブッカー・T・ワシントンも後日この学校を訪れることになる: カナカメダラ “P.S. 67 Charles A. Dorsey School.”
- p.81 教育委員にアフリカ系アメリカ人で初となるフィリップ・A・ホワイトを任命していた: スザンヌ・スペレン “Building of the Day: 1634 Dean Street,” *Brownstoner*, April 4, 2011.
- p.81 数週間後、ホワイト委員は(…)決議案を提出した: ピーターソン著 *Black Gotham*, p. 370.
- p.81 入学当時、教室や廊下の天井は黴だらけ: ジャネット・ウパーディエ “Principal Brings School Back from the Brink of Closure,” DNAinfo.com より。2014年3月17日公開。
- p.81 チャーター・スクールの生徒の四十一パーセントが白人: 2011-2016年人口統計スナップショットデータより。ニューヨーク市の“Open Data”ウェブサイト opendata.cityofnewyork.us から2018年10月9日にアクセス。

- p.81 教育委員会がドーシー校を閉鎖対象校の候補にあげていた: P.S. 67 は最終的に閉鎖を免れた。閉鎖対象校の候補にあげられたという記述については以下を参照。フィリッサー・クレイマー “Dozens of Elementary and Middle Schools Told They Might Close,” *Chalkbeat New York*, Oct. 3, 2012.
- p.81 一八七〇年にニューヨーク州初の (…) アフリカ系アメリカ人女性医師になった: ニューヨーク医科大学 “Susan Smith McKinney Steward, M.D., ‘1870 (1847-1918),” (2012 年 2 月 26 日閲覧)、デイヴィッド・ゴードン “Black Woman Doctor Honored,” *New York Times*, May 19, 1974 より。
- p.82 二〇一六年に約二七〇万ドルで売りに出されることになる: “205 DeKalb Avenue,” Trulia.com より。2021 年 2 月 4 日閲覧。
- p.82 奴隷三人を所有していた: New-York Historical Society, *Abstracts of Wills on File in the Surrogate’s Office* (New York: New-York Historical Society, 1900), pp. 336-37.
- p.82 サイモン・ボアラムに由来: レナード・ベナード、ジェニファー・ワイス著 *Brooklyn by Name: How the Neighborhoods, Streets, Parks, Bridges, and More Got Their Names* (New York: New York University Press, 2006), p. 57.
- p.82 奴隷七人を所有したピーター・ワイコフ: ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, p. 72 より。1800 年の国勢調査によれば、キングス郡ブルックリンのピーター・ワイコフは 7 人の奴隷を所有していた。ニューヨーク市立大学アカデミックコモンズ “New York Slavery Records Index” 2017 より。
- p.82 デイットマス・パーク (奴隷四人の所有者): ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, p. 103 より。1698 年の国勢調査によれば、キングス郡フラットブッシュのヤン・ヴァン・デイトマーセンは 4 人の奴隷を所有していた。ニューヨーク市立大学アカデミックコモンズ “New York Slavery Records Index,” 2017 より。
- p.82 ルクエア・ストリート (十三人所有): ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, p. 67; “Heads of Families at the First Census of the United States Taken in the year 1790” (ワシントン D.C., 政府印刷局発行, 1907 年), p. 97.
- p.82 ヴァン・ブラント・ストリート (七人所有): ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, p. 71; “Heads of Families at the First Census,” p. 98.

p.82 コーテルユー・ロード（二人所有）：ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, p. 106; *The Cortelyou Genealogy: A Record of Jacques Corteljou and of Many of his Descendants* (Lincoln, Neb.: Press of Brown Print. Service, 1942).

p.82 ヴァン・ダム・ストリートとベイヤード・ストリートも奴隷船の船主の名前に由来：ニューヨーク市立大学アカデミックコモンズ“New York Slavery Records Index,” 2017, pp. 484, 490-93, 496, 497, 499, 502, 505 より。ピーター・スタイヴェサントがオランダ西インド会社ニューネーデルラント植民地の総督だったことについては以下を参照。モントクレア州立大学“Part 1—Early Settlement and the Rise of Slavery in Colonial Dutch New Jersey,” montclair.edu から 2021 年 2 月 21 日に閲覧。これらの人物たちの名前にちなんで地区や通りが名付けられたことについては以下を参照。ベナード、ワイス著 *Brooklyn by Name*, pp. 13, 29-30, 77.

p.82 マッキニー校でさえ、創立当初は奴隷所有者の名前がついていた：ジョシュア・サンズについては以下を参照。“Heads of Families at the First Census,” p. 96; “Brooklyn Gets School,” *New York Times*, March 10, 1960.

p.83 椅子はかわらず椅子だ：ルーサー・ヴァンドロス “A House Is Not a Home,” *Luther Vandross* (Epic, 1982).

p.86 公立学校に通う（…）およそ七万人が喘息を患っていて、アヴィアナもそのひとりだ：保健・精神衛生局のニューヨーク市環境保健データポータル“Public School Children (5-14 Yrs Old) with Asthma,”より。

p.87 授業では（…）読んでいる：ウォルター・ディーン・マイヤーズ著 *The Glory Field* (New York: Scholastic, 1994).

第 6 章

p.91 親族みんなが働いて費用を出し合った：ホームズと彼女のいとこベンジャミン・ベリリーへの取材より。

p.92 時には、母を失った子どもの気持ちになる：アフリカ系アメリカ人の伝統的な霊歌より。

p.93 ニューヨーク市の公立学校の教育制度は「恥ずべきもの」だと主張して、「市長権限」

で改革を断行した: アシュリー・ハプフル "Five Things to Know About Mayoral Control," City and State New York, June 13, 2016; アビー・グッドナフ "Mayor Links Teacher Pay to Control of Schools," *New York Times*, March 9, 2002.

p.93 計四八〇キロ以上の自転車専用レーン: ニューヨーク市交通局 *Cycling in the City: An Update on NYC Cycling Counts* (ニューヨーク, ニューヨーク市交通局発行, 2013年), p.2.

p.93 不動産市場は活況を呈して: レイチェル・S・フリードマン "The Construction Boom and Bust in New York City," *Monthly Labor Review* 134, no. 10 (2011), ppl. 16-21.

p.93 ブルームバーグ市政は最終的に公立学校を一五七校閉鎖し、チャーター・スクールに多大な投資をおこなった: DOE より。

p.94 教師の数は年々減らされていく: ホームズへの取材より。

p.95 十八世紀に建てられた(…)建造物で、外壁は淡い黄色に塗られている: "Brief History of Gracie Mansion and Its Conservancy: 1799-Present," Gracie Mansion Conservancy より。2021年2月26日閲覧。

p.95 ニューヨーク市は空室率が二パーセント: ニューヨーク市の空室率は、2012年第3四半期には2.1%、2013年第3四半期には2.4%だった。イライナ・ジョナス "U.S. Economy May Be Nipping at Apartment Sector," Reuters, Oct. 3, 2012、ドーン・ウォタプカ "New York City Rents Pass \$3,000 Mark," *Wall Street Journal*, Oct. 1, 2013 より。

p.95 四万四五〇〇平米の敷地: "Brief History," グレイシー・マンション管理委員会より。

p.96 ブルームバーグ市長が特大サイズの砂糖入り飲料の販売を禁止しようとしたとき: マイケル・M・グラインバウム "New York Plans to Ban Sale of Big Sizes of Sugary Drinks," *New York Times*, May 30, 2012.

p.97 自身が三期目も務められるように法改正を推し進めた: マイケル・バルバロ、デイヴィッド・W・チェン "Bloomberg's Latest on Terms: 3 for Him, but Only 2 for Everyone Else," *New York Times*, Oct. 25, 2010.

p.97 グレイシー・マンションを「市民の家」だと公表し: ジェニファー・スタインハウア

— “With Mayor Out, the People Move In; New York Finds Many Uses for Gracie mansion,” *New York Times*, June 11, 2004.

七〇〇万ドルの寄付金 (…) を集めて: 同。

p.97 一八二〇年代のシャンデリアやマホガニーの四柱式ベッド: マイケル・バルバロ “Preparing Gracie Mansion for a New (Live-In?) Mayor,” *New York Times*, Aug. 27, 2013.

p.97 改装されたグレイシー・マンシオンは (…) 見開きで大きく特集されて: スティーヴン・M・L・アロンソン “Amazing Gracie Mansion,” *Architectural Digest* 60, no. 11 (November 2003).

p.97 ニューヨーク市は「緑地」の整備に何百万ドルもつぎ込んでいる: 2003年5月、ブルームバーグは「ロウアー・マンハッタン全域における新たな緑地の創出と公園の改修」のために、2,500万ドルを拠出した。プレスリリース “Downtown Parks Receive \$25 Million” より。ウェブサイト New York City Department of Parks and Recreation で 2003年6月10日に公開。

p.97 ブルームバーグの市長就任以来、ホームレス家族の数は八十パーセント増加した: DHS より。

p.97 ホームレス家族がシェルターに滞在する平均期間は過去最長を記録している: 2013年におけるホームレスの家族の平均シェルター居住期間は 13.5ヶ月。DHS のデータより。

p.97 「昔と比べてはるかに快適な生活環境になっています」: ケイト・テイラー “Mayor Officers Ideas for Why Homeless Numbers Are Up,” City Room, *New York Times*, Aug. 23, 2012.

p.98 「部屋中を走り回り、穴だらけの壁を出入りしている」: DHS の家族の記録より。

p.98 オーバーン・シェルターについて四〇〇件以上の違反事項を報告している: 2004年から 2013年までの市と州の調査報告書の分析より。違反を指摘した機関には、DHS、OTDA、HPD、市の保健・精神衛生局がある。

p.98 オーバーンの十二歳の少年が (…) 書面で訴えた: 情報公開法 (FOIL) に基づく請求で入手したオーバーンの記録より。この「クライアントからの苦情」やその他の申し立てへ

の対応を問い合わせたところ、2013年に市長室の広報担当者から DHS は「当事者の署名入り同意書がないかぎり、いかなる機密情報も提供できない」という回答があった。

警察には通報されなかった: NYPD の担当者より。

第7章

p.100 最貧困層の子どもほど、多様な語彙に触れる機会が少ないからだ: 語彙の格差が生じる範囲だけでなく、その概念自体についても議論はあるが、ある研究では次のような結果が示された。「母親が大学を卒業している子どもは、そうでない子と比べて一日に 3,000 語ほど多くの単語に触れており、調査対象の中で社会経済的地位が最も高い集団と最も低い集団の間では、4 歳になるまでに約 400 万語もの語彙の格差が生じていた」。ジル・ギルカーソン他 “Mapping the Early Language Environment Using All-Day Recordings and Automated Analysis,” *American Journal of Speech-Language Pathology* 26, no. 2 (2017), p. 261 より。

p.100 「だれひとり取り残さない」ことを公約に掲げた: デイヴィッド・W・チェン “De Blasio, Announcing Mayoral Bid, Pledges to Help People City Hall Forgot,” *New York Times*, Jan. 27, 2013.

p.101 七歳のときに両親が離婚した: マイケル・シェラー、ジョン・ワグナー “New York Mayor Bill de Blasio Adds His Name to the Democratic Presidential Field,” *Washington Post*, May 16, 2019.

p.101 父親はハーバード大学出身の経済学者: ハヴィエル・C・ヘルナンデス “From His Father’s Decline, de Blasio ‘Learned What Not to Do,’” *New York Times*, Oct. 13, 2013.

p.101 ニカラグアのサンディニスタ民族解放戦線を支援した: ハヴィエル・C・ヘルナンデス “A Mayoral Hopeful Now, de Blasio Was Once a Young Leftist,” *New York Times*, Sept. 22, 2013.

p.101 アフリカ系アメリカ人として初めてニューヨーク市長に当選した: ジャクリン・ディアス “David Dinkins, New York City’s 1st Black Mayor, Dies at 93,” NPR.com より。2020年11月24日公開。

p.101 「この街の現状に、目を背けずに向き合いましょう」: チェン “De Blasio, Announcing Mayoral Bid.”

p.101 五万五〇〇〇人以上が市のシェルターでの寝泊まりを強いられている: 2013年2月時点でニューヨーク市の機関が運営する五つのシェルター・システムには合計56,911人が滞在しており、その大多数(50,353人)はDHSのシェルターにいた。

p.101 「プライベートジェットでケネディ空港に降り立って」: サム・ロバーツ “City’s Sheltering of Out-of-Town Homeless, and Mayor’s Remark, Stir Debate,” *New York Times*, March 17, 2013.

p.102 就任以来もっとも苦しい闘いを強いられている: ジョー・コスカレリ “School-Bus Drivers to End Strike, Give Up on Bloomberg,” *Intelligencer*, Feb. 15, 2013.

p.105 何が起こるんだ? 今まで言えなかった夢を今言うのかい?: ラングストン・ヒューズ “Harlem,” *Montage of a Dream Deferred* (New York: Henry Holt, 1951), pp. 71-72.

第8章

p.108 「自立に向けた生活計画」: DHSより。

p.108 「税金還付相殺プログラム」の規定で、彼の還付金はふたりの子の母親たちあるいは州が受け取ることになり: OTDAの職員より。

p.111 ダサニは二週間学校に行けなくなる: この停学処分はDOEの記録には残っていないが、私はこの場面に立ち会っていた。

第9章

p.115 ダサニは(…)周囲の世界に興味を抱いていた: 特別な言及がないかぎり、幼少期のダサニに関する記述はすべて、母親、実父、継父、ふたりの大叔母(マーゴとリンダ)、母親の従妹のふたりの子(スノーとカリンダ)、叔父のラモント、シャネルの第二の母シェリー・ハンバートへの取材に基づいている。

p.115 およそ半世紀前の一九五三年十一月十四日: ジョニーの出生証明書より。

p.115 その三十年後、この病院は閉鎖され: ユナイテッド・プレス・インターナショナル “Last Patient Gone from Cumberland,” *New York Times*, Aug. 25, 1983; バーバラ・バスラ — “City to shift Homeless Families to a Brooklyn Site,” *New York Times*, Nov. 8, 1985.

p.115 徒歩でプロジェクトに帰っていった: マーゴへの取材より。

p.115 ブルックリン区の黒人人口は二十万八〇〇〇人まで倍増していた: ジョン・ルイス・フラトー “Black Brooklyn: The Politics of Ethnicity, Class, and Gender” (ニューヨーク市立大学の博士論文, 2005 年), p. 30; ワイルダー著 *Covenant with Color*, pp. 23, 61, 178.

p.115 ジューンとマーガレット: 特別な言及がないかぎり、ジューンとマーガレットのサイクス夫妻に関する生い立ちや経歴はすべて、ジューンの軍務記録、市民保全部隊の記録、SSA の記録、死亡証明書、マーガレットの出生証明書、ジューンの元雇用主への取材、サイクス夫妻の三人の子どもとふたりの孫への取材に基づいている。

p.116 ロバート・モーゼスは (…) 構想を抱いていた: カラン “Creative Destruction,” p. 31.

p.116 一九四五年から一九五五年にかけて何百もの工場が閉鎖され: 同。

p.116 一九四二年に完成した三十五棟の煉瓦造りの集合住宅: トーマス・J・カンパネラ著 *Brooklyn: The Once and Future City* (New York: Princeton University Press, 20119), pp. 368, 370.

p.116 同じ年、モーゼスはニューヨーク市の都市計画委員会に加わり: “Mayor Names Moses to Planning Body,” *New York Times*, Nov. 23, 1941.

p.116 黒人を「生まれつき “汚らしい、” 存在だとみなし: ロバート・A・カロ著 *The Power Broker: Robert Mosses and the Fall of New York* (New York: Vintage Books, 1975), p. 318.

p.116 一九三〇年代にモーゼスがニューヨーク市に建設した二五五ヶ所の公園のうち: 同 p. 510.

p.116 彼女が暮らす地域に白人は四人に一人しかいなかった: カンパネラ著 *Brooklyn: The Once and Future City*, p. 375.

p.116 「二〇〇〇万ドルの腐敗したスラム」: ジョセフ・マーティン、ドミニク・ペルーソ、シドニー・マーカン “The Housing That Your Jack Built Is Now Tobacco Road,” *Daily News*, Feb. 19, 1957.

p.116 このプロジェクトを半分に分割し: カンパネラ著 *Brooklyn: The Once and Future City*, p. 379.

p.116 フリート・ウォーク二十九番地の五階の角部屋: ジョニーの出生証明書より。

p.117 きょうだいは強い絆で結ばれていた: ジョニーの子ども時代の描写は、サイクス家の家族五人への取材に基づいており、その中には妹のマーゴとリンダ、幼なじみのリンダも含まれる。

p.117 「コートのおそば」: マーゴとリンダへの取材より。

p.118 アメリカ初の奴隷が上陸したバージニア州の海岸から五キロほどしか離れていないところ: 奴隷にされた人々は 1619 年にオールド・ポイント・コンフォートから上陸した。第二次世界大戦中の軍隊は 1944 年にバージニア州ハンプトン・ローズから出港した。ベス・オースティン著 *1619: Virginia's First Africans* (Hampton, Va.: Hampton History Museum, 2018), p. 7、アイヴァン・J・ヒューストン著 *Black Warriors: The Buffalo Soldiers of World War II: Memories of the Only Negro Infantry Division to Fight in Europe During World War II* (Bloomington: iUniverse, 2009), pp. 21-23 より。

p.118 アフリカ行きの船に乗るためふらつきながら道板をのぼっていた: アイヴァン・J・ヒューストンへの取材、ヒューストン著 *Black Warriors*, p. 23 より。

p.118 ウェスリー・ジュニア・サイクスは当時二十三歳: ジューンの出生証明書、死亡証明書より。

p.118 黒人部隊、陸軍第九二歩兵師団: アビー・カラード "Memoirs of a World War II Buffalo Soldier," *Smithsonian Magazine*, Nov. 6, 2009.

p.118 三五〇〇人のアフリカ系アメリカ人部隊に加わるため: ヒューストンおよびアメリカ陸軍遺産教育センターのベテラン歴史研究者マイケル・E・リンチへの取材より。

p.118 最初に戦地に派兵された: ヒューストン著 *Black Warriors*, p. 34.

p.118 ヨーロッパで戦った唯一の黒人師団として: 同。

p.118 男たちは無言のまま顔を引きつらせていた：ヒューストンへの取材、ヒューストン著 *Black Warriors*, p. 23 より。

p.118 ほとんどの黒人が（…）南部の田舎の出身だった：ゲイル・バックリー著 *American Patriots: The Story of Blacks in the Military from the Revolution to Desert Storm* (New York: Random House, 2001), pp. 258-59.

p.118 黒人兵士が（…）リンチに遭うこともあった：イコール・ジャスティス・イニシアティブ *Lynching in America: Targeting Black Veterans* (Montgomery, Ala.: Equal Justice Initiative, 2017), p. 4; チャド・L・ウィリアムズ "Vanguards of the New Negro: African American Veterans and Post-World War I Racial Militancy," *The Journal of African American History* 92, no. 3 (2007), pp. 347-70.

p.118 父ウェスリー・サイクスは第一次世界大戦の徴兵登録をした：ウェスリー・サイクスの第一次世界大戦徴兵登録カードより。

p.118 黒人の退役軍人パウエル・グリーンが暴徒に襲撃された："Six Witnesses Fail To Implicate Any of Lynching Party," *The News and Observer*, Dec. 29, 1919.

p.118 「記念品泥棒」：アーヴィング・チーク "Outsider Linked Up with Lynching," *The News and Observer*, Dec. 31, 1919.

p.119 「退屈な生活に刺激を与えてくれる」："What the Playmakers Are Doing," *Goldsboro Daily Argus*, Jan. 14, 1922.

p.119 サイクスという姓は、白人の奴隷所有者に由来する：アフリカ系アメリカ人の祖先をたどる作業は、ジャーナリストであるニコール・エリスの言葉のとおり、150年前は「黒人は人間とみなされていなかった」ということを何度も思い出すものだった。国勢調査がアフリカ系の人々を初めて名前付きで記録したのは1870年だった。それより前は、資産記録や奴隷表、遺言書やその他書類に、奴隷主が「登録した財産」として記されていた。サイクス家の祖先をたどるために、私は系譜学者ダイアン・L・リチャードを雇い、1700年代にまで遡る何百もの歴史上の記録の調査と分析のために協力してもらった。その中には、譲渡証書、裁判記録、売買証書、遺言検認記録、19世紀の国勢調査などが含まれていた。ニコール・エリス "Descendants: A Washington Post Original Series," *Washington Post*, Feb. 25, 2020 より。

p.119 一八三〇年代のノースカロライナ: ヘザー・アンドレア・ウィリアムズ“How Slavery Affected African American Families”より。国立人文センターTeacherServe の Freedom’s Story から 2021 年 2 月 26 日に閲覧。

p.120 祖父アルバートは (…) 銃で撃たれて亡くなっていた: “Murder in Wayne: Tragedy in Colored Family in Granthaus Township,” *Wilmington Morning Star*, May 1, 1910.

p.120 「札付きの黒人の悪党」: 同。

p.120 ジューンは (…) 畑仕事をするようになった: ジューンは薬局の配達員として 2 年間、農業の季節労働者として 8 年間働いた。市民保存部隊の記録より。

p.120 その機会は二十歳のときに訪れた: 同。

p.120 ジューンは毎月十五ドルを母親に送金し: 同。

p.120 小雨が降るなか、ともづなが解かれた: ヒューストンへの取材より。

p.120 一二〇万人以上のアフリカ系アメリカ人が従軍した: 国立第二次世界大戦博物館 “African Americans in World War II: Fighting for a Double Victory” (2021 年 2 月 26 日閲覧)、チェルシー・ブラステッド “America’s Oldest Living WWII Veteran Faced Hostility Abroad—and at Home,” *National Geographic*, May 11, 2020 より。

p.120 陸軍基地やバスはもとより、血液バンクさえ人種で分離されていた: 1943 年 3 月になるまで、アメリカ合衆国戦争省は娯楽施設での人種隔離を禁止していなかった。1944 年 7 月、戦争省は連邦政府所有の車両での人種隔離を廃止するよう命じた。バックリー著 *American Patriots*, p. 260、アイラ・カツネルソン著 *When affirmative Action Was White: An Untold History of Racial Inequality in Twentieth-Century America* (W. W. Norton, 2005), p. 90 より。

p.120 「国内の敵と国外の戦地での敵の両方に打ち勝つ」: “The Courier’s Double ‘V’ for a Double Victory Campaign Gets Country-Wide Support,” *Pittsburgh Courier*, Feb. 14, 1942.

p.120 黒人の新兵は南部の白人の指揮下に置かれた: ロバート・W・ケスティング “Conspiracy to Discredit the Black Buffaloes: The 92nd Infantry in World War II,” *The Journal of Negro History* 72, no. 1/2 (1987), p. 4.

p.120 将校は「黒人を統御する能力」を示さなければならない: マイケル・E・リンチ著 *Edward M. Almond and the U.S. Army: From the 92nd Infantry Division to the X Corps* (Lexington: University Press of Kentucky, 2019), p. 63.

p.120 黒人部隊の大半は支援任務しか与えられず: 国立第二次世界大戦博物館“*African Americans in World War II*”より。

p.120 車両整備士として第三七〇連隊に入隊した: ジューンの軍歴に関する私の記述は、アメリカ合衆国退役軍人省（軍の除隊証明書など）、市民保全部隊、セントルイスの国立公文書館の記録、ヒューストンとリンチへの取材に基づいている。彼らは記録の分析にも協力してくれた。

p.121 アメリカ独立戦争の時代から、黒人兵士がアメリカのために戦い続けてきた: プロスキ、ウィリアムズ著 *Negro Almanac*, p. 541.

p.121 南北戦争以降、黒人と白人は別々の連隊に組織された: 南北戦争後、議会は 1866 年 7 月 28 日に法律を制定し、アフリカ系アメリカ人で構成されるふたつの騎兵連隊と四つの歩兵連隊をつくった。国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館ウェブサイト nmaahc.si.edu/blog-post/proud-legacy-buffalo-soldiers から 2021 年 2 月 26 日に閲覧した“*The Proud Legacy of the Buffalo Soldiers*”より。

p.121 一八六七年には、黒人部隊が先住民を制圧するために西部へ送られ: “*Buffalo Soldiers*”より。A&E Television Networks の History.com で 2017 年 12 月 7 日公開。

p.121 「バッファロー・ソルジャーズ」と呼ばれた: 同。

p.121 ノルマンディ上陸作戦初日に二五〇一人のアメリカ兵が死亡した: 1944 年 6 月 6 日のノルマンディ上陸作戦で連合軍の兵士 4,414 人が亡くなり、そのうち 2,501 人はアメリカ兵だった。さらに数千人が負傷するか、戦闘中に行方不明となった。国立 D デー記念基金、ホワイトハウス報道局 “*Fact Sheet: Normandy Landings*” (2014 年 6 月 6 日公開) より。

p.121 八日間の航海の後: 特別な言及がないかぎり、ヒューストンと第 370 連隊のイタリアでの行軍に関する詳細は、ヒューストンへの取材および彼の著書 *Black Warriors*, pp. 26-29, 38-39, 55 に基づいている。

p.121 一万五〇〇〇人の捕虜に強制労働をさせて: Smithsonian Institution, *World War II Map by Map* (New York: Dorling Kindersley, 2019), p. 240.

p.122 三度の大きな戦闘を生き延びた: ジューンの軍の除隊証明書より。

p.122 ライフルを携行し: ヒューストン、リンチへの取材より。

p.122 後に「頭が転がっている」のを見た孫たちに語っている: マーゴ、リンダ、ラモントへの取材より。

p.122 五〇〇人以上の仲間が戦死: ホンドン・B・ハーグローブ著 *Buffalo Soldiers in Italy: Black Americans in World War II* (Jefferson, N.C.: McFarland, 1985), p. 192.

p.122 ジューンの連隊は(…)二つの都市を解放した: ルッカ、ポントレモリ、いくつかの小さな町や村を解放した。ヒューストン著 *Black Warriors*, pp. 58–75, 185 より。

p.122 バッファロー・ソルジャーズの英雄的行為はイタリアの小学校で教えられ: アイヴァン・J・ヒューストンの息子、アイヴァン・A・ヒューストンへの取材より。彼はヒューストンのバッファロー・ソルジャーとしての従軍経験を描いたドキュメンタリー *With One Tied Hand* (United States: Pacific Film Foundation, 2016) を共同制作した。

p.123 軍服を脱げば: ラングストン・ヒューズ、アーノルド・ランパーサド、デイヴィッド・アーネスト・ロッセル著 *The Collected Poems of Langston Hughes* (New York: Vintage Books, 1995), pp. 303–304.

p.123 「バッファロー・ソルジャーがいた」: ボブ・マーリー&ザ・ウェイラーズ “Buffalo Soldier,” *Confrontation* (Island Records, 1983).

p.123 最終的に三個の青銅従軍星章(…)を受け取った: ジューンの軍の除隊記録より。

p.124 何百万人もの退役軍人が奨学金や給付金で大学に通い: “G.I. Bill of Rights,” *National Archives Foundation*, 2021.

p.124 GI 法はアメリカの中流階級の誕生を促す: カッツネルソン著 *When Affirmative Action Was White*, p. 113.

p.124 GI法の援助を、黒人はほとんど受けられなかった: エドワード・ヒュームズ “How the GI Bill Shunted Blacks into Vocational Training,” *The Journal of Blacks in Higher Education*, no. 53 (2006), pp. 94–98; リザベス・コーエン著 *A Consumers’ Republic: The Politics of Mass Consumption in Postwar America* (New York: Random House, 2004), pp. 166–69.

p.124 職業訓練プログラムを受けられたのは白人ばかり: 同。

p.124 南部のジム・クローを前提とするものだった: カッツネルソン著 *When Affirmative Action Was White*, p. 114.

p.124 六〇〇万人のアフリカ系アメリカ人が (….) 移り住んだ: イザベル・ウィルカーソン著 *The Warmth of Other Suns: The Epic Story of America’s Great Migration* (New York: Random House, 2010), p. 9.

p.124 ブルックリン最大の黒人居住区: ジョン・R・ローガン、ウェイウェイ・チャン、ミャオ・チュンユー “Emergent Ghettos: Black Neighborhoods in New York and Chicago, 1880–1940,” *American Journal of Sociology* 120, no. 4 (2015), pp. 1067, 1082, Figure 5; 地域統計サービス局 *Brooklyn Communities: Population Characteristics and Neighborhood Social Resources*, vol. I (ニューヨーク, ニューヨーク・コミュニティ・カウンシル発行, 1959年), p. 100.

p.124 黒人は労働組合に加入できないことが多く: 1930年時点で、全米の労働組合のうち少なくとも22の組合が黒人の加入を拒否していた。ジューン・サイクスがブルックリンで働いていた1950年には、なおも9つの組合がアフリカ系アメリカ人を排除し、その他の組合も加入申請投票の否決や無視によって黒人の加入を妨げていた。レイ・マーシャル “The Negro and Organized Labor,” *The Journal of Negro Education* 32, no. 4 (1963), pp. 375–76より。

p.124 機械工の九十四パーセントが白人だった: 1950年の国勢調査データより。

p.125 十七の会社で働いた: ジューンのSSAの記録より。

p.125 総収入は二九〇〇ドル: 同。

p.125 黒人の清掃員の収入は、白人の機械工より四十一パーセントも少なかった: 1950年、

黒人の清掃員の年収は 1,480 ドル、白人の整備士の年収は 2,518 ドルだった。年間の収入差は 1,038 ドルになる。インフレ調整をおこなうと、20 年でこの差は 25,391 ドル (2019 年の価値で 192,350 ドル相当) になる。ミネソタ大学の IPUMS を通じてアクセスした、1950 年国勢調査のデータに基づくワイマーの分析より。

p.125 「不動産の価値が下落する」: “Afro-American Realty,” *New York Times*, July 27, 1904.

p.125 十五万の団員がいた: ワイルダー著 *Covenant with Color*, p. 121.

p.125 一九二九年にベッド = スタイの教会を訪れ: 同 p. 129.

p.125 市は治安維持やその他のサービスを十分に提供しなくなった: 同 p. 196; コノリー “Blacks in Brooklyn,” pp. 165–75.

p.125 政府機関〈住宅所有者資金貸付会社〉がアメリカの都市を色分けし: “Introduction, Mapping Inequality: Redlining in New Deal America”より。リッチモンド大学 University of Richmond Digital Scholarship Lab から 2021 年 2 月 26 日に閲覧。

p.126 ブルックリンは衰退し、白人は郊外の新興住宅地に流出した: ワイルダー著 *Covenant with Color*, pp. 212–14.

p.126 黒人に住宅を購入させないための制限約款が存在した: ブルース・ランバート “At 50, Levittown Contends with Its Legacy of Bias,” *New York Times*, Dec. 28, 1997.

p.126 非白人の退役軍人が組めた割合は一パーセントにも満たなかった: 1950 年の国勢調査によれば、人種を特定できる退役軍人のうち、ニューヨーク州やニュージャージー州北東部の郊外で 70,875 人が住宅ローンの承認を受けていたが、そのうち非白人の退役軍人はわずか 631 件だった。1950 年の国勢調査のデータ、リザベス・コーエン著 *A Consumers' Republic*, p. 171 より。

p.126 その後の白人のアメリカ人家庭は、中央値で黒人家庭の十倍近い純資産を持つことになる: トレーシー・ジャン “White Families Have Nearly 10 Times the Net Worth of Black Families. And the Gap Is Growing,” *Washington Post*, Sept. 28, 2017.

p.126 ジューンとマーガレットは一九五二年、(…) フォート・グリーン・ハウスの一室に補助を受けて入居することができた: マーゴおよび他の家族への取材に、ジョニー・サイク

スの出生証明書で裏付けをとった。

p.126 「経済ピラミッドの底辺にいる忘れられた人々」:1932年4月7日、フランクリン・デラノ・ローズベルト大統領はラジオ演説で「このような不幸な時代には、忘れ去られた人たち、労働組合に加入していなくても経済力の担い手として不可欠な人たちの上に成り立つ計画を作らなければなりません。1917年の時のように、トップダウンではなくボトムアップの、経済ピラミッドの底辺にいる忘れられた人たちにもう一度信を置くような計画です」と語りかけた。フランクリン・D・ローズベルト“Radio Address re a National Program of Restoration” (1932年4月7日)。フランクリン・D・ローズベルト大統領図書館・博物館の Master Speech File, 1898–1945, File 469 より。

p.126 建てられた「プロジェクト」で、全米最大規模のものだった: カンパネラ著 *Brooklyn: The Once and Future City*, p. 375.

p.126 ほとんどの部屋は (…) 白人労働者に貸し出された: エドワード・ワインフェルド “Purpose of Houses Changed by War to a Workers’ Project,” *Brooklyn Daily Eagle*, Aug. 16, 1942.

p.126 しかし海軍造船所もフォート・グリーンの一部とともにレッドライニングされた: ワイルダー著 *Covenant with Color*, pp. 188–89.

p.126 ブルックリンはアメリカ最大の貧困地域になりつつあった: ワイルダー著 *Covenant with Color*, p. 177; コノリー “Blacks in Brooklyn,” pp. 148–49, 155–56.

p.127 「社内でも有数の優秀な働き手」: ジョン・リウッツォへのインタビューより。

p.127 妻が福祉援助を申請した: ピーター・リウッツォとジョン・リウッツォへのインタビューより。

p.127 「男がいる家庭」に公的支援を与えなかった: この規則は州によって異なっていた。ニューヨーク市の福祉担当者の仕事は「父親が家にいるかどうかを確認するために抜き打ち訪問をすることだった——もし男性がいる証拠が見つかれば、ケースは終了させられ、福祉支援金が打ち切られた」。アルマ・カーテン “The Racist Roots of Welfare Reform,” *The New Republic*, Aug. 22, 2016 より。

p.128 最寄りの公共プールは、四十ブロック離れたレッドフック地区にあった: ニューヨ

ーク市公園・レクリエーション局のウェブサイト“History of Parks’ Swimming Pools”（2021年2月24日閲覧）、グーグルマップより。

p.128 公民権運動の真っ只中で、北部の運動拠点がブルックリンに置かれていた：リリー・タトル “Civil Rights in Brooklyn,” Museum of the City of New York, Oct. 25, 2016; タマー・W・キャロル *Mobilizing New York: AIDS, Antipoverty, and Feminist Activism* (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2015), p. 50; フラトー “Black Brooklyn,” pp. 50–51.

p.128 公民権運動期で初の大規模暴動が起きた：ハンシ・ロウ・ワン “New York’s ‘Night of Birmingham Horror’ Sparked a Summer of Riots,” *All Things Considered*, NPR, July 18, 2014; ウォルター・ラッカー、ジェームズ・ナサニエル・アプトン編 *Encyclopedia of American Race Riots*, vols. 1 & 2 (Westport, Conn.: Greenwood Press, 2007), pp. 73–74, 478–79.

p.128 暴動はブルックリンから全米の主要な都市にまたたく間に広がり：ロレイン・ボワソノー “Martin Luther King Jr.’s Assassination Sparked Uprisings in Cities Across America,” *Smithsonian Magazine*, April 4, 2018.

p.128 「暴動は声を聞いてもらえない者たちの言葉だ」：1966年9月27日のマイク・ウォレスによるマーティン・ルーサー・キング・ジュニアへのインタビュー *60 Minutes* より。

第10章

p.130 名前を決めなければならなかった：マーゴへの取材より。

p.130 住宅公社はサイクス家に（…）立ち退きを命じた：マーゴ、リンダ、もうひとりのサイクス家の家族へのインタビューより。

p.130 荒廃が進む貧困地区ブラウズヴィル：クレイグ・ベアワルド他 *At Home in Brownsville Studio: A Plan for Transforming Public Housing* (ニューヨーク, ニューヨーク市立大学ハンター校都市計画プログラム発行, 2014年), p. 18; Kim Phillips-Fein, “The Legacy of the 1970s Fiscal Crisis,” *The Nation*, April 16, 2013.

p.130 こうした劇的な変化は、アフリカ系アメリカ人にとりわけ大きな打撃を与えた：「アフリカ系アメリカ人男性は人口分布からすれば不釣り合いなほど多く製造業で働いていたため、1980年以降の製造業の衰退で受けた打撃は不釣り合いに大きかった」。ケネス・G・ドー＝シュミット、ライランド・シャーマン “The Employment and Economic Advancement

of African-Americans in the Twentieth Century,” *Articles by Indiana University Bloomington’s Maurer School of Law Faculty* 1292 (2013), pp. 102–103; ウィリアム・ジュリアス・ウィルソン著 *The Truly Disadvantaged: The Inner City, the Underclass, and Public Policy* (Chicago: University of Chicago Press, 1990), pp. 42–43, 135; ジェラルド・テイラー “Black Factory Workers ‘Profoundly and Disproportionally’ Felt the Pain of Job Losses,” Alliance for American Manufacturing, Oct. 6, 2016.

p.131 自動車、ゴム、鉄鋼産業の低技能職に就いていた：ウィルソン著 *Truly Disadvantaged*, pp. 12, 42, 135, 148.

p.131 各地のインナー・シティでは失業率が急激に上昇する：同 p. 3.

p.131 大卒者の就業と居住の自由が拡大した：同 pp. 7–8, 109–15; ロバート・グリーンスタイン “Prisoners of the Economy,” *New York Times*, Oct. 25, 1987.

p.131 黒人の中流家庭が郊外に移住していった：同 pp. 7, 17.

p.131 「アンダークラス」：ウィリアム・ジュリアス・ウィルソン著 *The Declining Significance of Race: Blacks and Changing American Institutions* (Chicago: University of Chicago Press, 1980), pp. 1–2, 154.

p.131 ウィルソンの言う「不適応行動」：ウィリアム・ジュリアス・ウィルソン “Social Theory and the Concept ‘Underclass,’” デイヴィッド・B・グルスキー、ラヴィ・カンブル 編 *Poverty and Inequality* (Stanford: Stanford University Press, 2006), p. 106 所収。

p.131 著しく増加したのは、一九七〇年代半ばのことだった：ウィルソン著 *Truly Disadvantaged*, p. 3.

p.131 「文化とは社会構造上の制約と機会の所産である」：同 p. 61.

p.131 “フォードから市へ、「くたばれ」：” フランク・ヴァン・リバー “Ford to City: Drop Dead,” *Daily News*, Oct. 30, 1975.

p.131 市の公共サービスを削減し（…）複数の公立病院を閉鎖した：ロバート・D・マクファーデン “Edward I. Koch, a Mayor as Brash, Shrewd and Colorful as the City He Led, Dies at 88,” *New York Times*, Feb. 1, 2013; ロナルド・サリヴァン “A City Hospital in Fort Greene

Will Be Closed,” *New York Times*, Aug. 11, 1983.

p.131 口の達者な建設作業員: シェリーとマーゴへのインタビューより。

サウスカロライナ出身の女性と結婚しているながら: ニューヨーク州リッチモンド郡第一審裁判所の、シェリーの訴訟の裁判記録より。

p.132 母親のマーガレットは家賃を五十ドルずつ徴収するようになった: マーゴとリンダへのインタビューより。

p.132 テーブルサッカーを組み立てる仕事をしていた: マーゴの SSA の記録より。

p.133 自分の娘をソニー・ボーイに託した: シェリー、マーゴ、シャネル、その他家族へのインタビューより。

p.133 週に四〇〇ドルの稼ぎがあった: 裁判記録より。

p.134 ベルビュー病院の七階建て F 棟の解体工事: ニューヨーク市 Municipal Archives より。

p.134 午前十時頃、瓦礫が落ちていく音が工事現場に響き渡った: 裁判記録より。

p.135 ジョニーは西に五キロほど離れた (…) 地区で暮らしていた: マーゴへのインタビューより。

p.135 大家は直そうともしなかった: ジョン・ロビンソンへのインタビューより。

p.135 ジョニーが生活できていたのは、福祉給付の小切手と (…) 現金のおかげだった: マーゴへのインタビュー、HRA のジョニーの記録より。

p.136 近隣地区ハワード・ビーチの白人が多く通う学校: 1983 年にシャネルはハワード・ビーチの P.S.146 に通っていた。DOE の記録より。1980 年の国勢調査によれば、ハワード・ビーチの住民の 99 パーセントが白人だった。ヴァージニア・バーン “Howard Beach Blacks Have Mixed Emotions About Living There,” AP News, Feb. 8, 1987 より。

p.137 一九八〇年代初期にアメリカで広まり: 1980 年代初頭については、アメリカ合衆国

麻薬取締局 (DEA) “DEA History, 1980–1985”を参照 (2021年2月26日閲覧)。マイアミとロサンゼルスについては、アルバート・サマハ “Cheaper, More Addictive, and Highly Profitable: How Crack Took Over NYC in the '80s,” *Village Voice*, Aug. 12, 2014 を参照。

p.137 コカインは一グラム一〇〇ドルするような高価なドラッグ: 資料にもよるが、クラックは2.50ドルから5ドルで売られていた。3ドルという記述については、J. H. ロウインソン、P. ルイス、R. B. ミルマン、J. G. ラングロッド編 *Substance Abuse: A Comprehensive Textbook*, 4th ed. (Philadelphia: Lippincott Williams and Wilkins, 2006), p. 112 を参照。

p.137 ジョニーはそうした依存者に比べればまだ自制心があったほうだ: シャネル、マーゴ、ロビンソンへの取材より。

p.137 マーゴはそれよりも自制心が足りなかった: シャネル、マーゴへの取材より。

p.137 クラックを吸引すると (…) ドーパミンが大量に分泌される: エリック・J・ネストラー “The Neurobiology of Cocaine Addiction,” *Science & Practice Perspectives* 3, no. 1 (2005), p. 5.

p.137 治療よりも薬物使用の抑止を強調していた: “Just Say No”より。A&E Television Networks の History.com で2017年5月31日公開。

p.137 「くじけず頑張れ、白人ども。ただノーと言おう!」: デイヴ・シャペル “Sticks & Stones,” August 2019, Pilot Boy Productions, 2019.

p.138 クラック (主に貧困者が吸う) 所持に対する罰則が (…) 一〇〇倍厳しくなった: 1986年薬物乱用対策法で、5グラムのクラック所持の量刑は裁量の余地なく最低懲役5年と定められた——これは500グラムの粉末コカイン所持と同じ量刑であり、「100対1の格差」と呼ばれている。クラックの使用者の大半は白人だったが、クラック関連の罪で収監されたのは圧倒的多数がアフリカ系アメリカ人だった。クラック・コカインは「貧困層が入手しやすく、貧困層の多くはアフリカ系アメリカ人だ。反対に、粉末コカインはクラックよりもはるかに高価で、裕福な白人が使用する傾向がある」。デボラ・J・ヴェイギンズ、ジェセリン・マッカーディ著 *Cracks in the System: Twenty Years of the Unjust Federal Crack Cocaine Law* (ワシントンD.C., アメリカ自由人権協会発行, 2006年), p. i. 以下も参照。アミー・フェルナー “Race, Drugs, and Law Enforcement in the United States,” *Stanford Law & Policy Review* 20, no. 2 (2009), pp. 264–65, “Crack Cocaine Myths and Facts,” Criminal Justice Policy Foundation (2021年2月23日閲覧)。

p.138 初犯であっても最低懲役五年から十年の量刑が情状の余地なく下され: クラックの使用で身体的危害や死亡に繋がった場合の量刑は、裁量の余地なく最低懲役 20 年だった(1986 年薬物乱用対策法による)。

p.138 黒人とラテン系アメリカ人が人口分布に比して多く: 1990 年、アフリカ系アメリカ人はアメリカの人口の 11% だったが、刑務所人口の 46% を占めていた(刑務所総収容者数 715,649 人のうち、331,880 人がアフリカ系アメリカ人だった)。ラテン系アメリカ人は全人口の 9% だったが、刑務所人口では 13% を占めていた(95,498 人)。さらに指摘すべきは、ネイティブ・アメリカンは全人口の 0.7% だったが、刑務所人口では 0.9% だったことだ(6,471 人)。対照的に、非ヒスパニック系の白人アメリカ人は全人口の 76% で、刑務所人口は 38% だった。別の言い方をすれば、1990 年時点で、それぞれの人種・民族集団 1,000 人あたり、黒人は 11 人、ラテン系アメリカ人は 4 人、ネイティブ・アメリカンは 4 人が収監されていたが、白人は 1 人だった。ルイス・W・ヤンコウスキー “Number of Inmates/Residents in State and Federal Correctional Facilities, by Race and Hispanic Origin, June 29, 1990,” *Correctional Populations in the United States, 1990* (NCJ 134946, Washington, D.C., 1992), p. 50, table 4.7、1990 年国勢調査のデータより。

p.138 刑務所人口は一〇〇万人を超えることになる: Associated Press, “U.S. Has Highest Rate of Imprisonment in World,” *New York Times*, Jan. 7, 1991.

p.138 アメリカ合衆国は世界でもっとも収監率の高い国になった: 同。

p.139 いとこの男に地下室のバスルームに来るよう誘われた: シャネルへの取材より。

p.140 一九九〇年四月三十日、ジョニーは娘を連れて: DHS のジョニーの記録より。

p.141 貧困者の扶助は「州が提供すべきものである」: ニューヨーク州憲法より。

p.141 エド・コッチ市長の側近は SBL という略称を用いた: ゴールドファイブへの取材より。

p.141 その三分の一が: ジョエル・ブラウ著 *The Visible Poor: Homelessness in the United States* (New York: Oxford University Press, 1992), p. 86; ジョナサン・M・ソファー著 *Ed Koch and the Rebuilding of New York City* (New York: Columbia University Press, 2010), p. 280.

p.141 閉鎖され、高級ビルへの建て替えが進んでいた：ディアドレ・カーモディ “The City Sees No Solutions for Homeless,” *New York Times*, Oct. 10, 1984.

p.141 料理人の職を失いアルコール依存症になったアイルランド人：ブラウ著 *Visible Poor*, p. 99.

p.141 集団訴訟を起こした結果、ニューヨーク州憲法の文言は、シェルターに入る権利を定めたものと解釈された：ホームレス支援連合 “The Callahan Legacy: Callahan v. Carey and the Legal Right to Shelter,” より。2012年2月26日閲覧。

p.141 キャラハンがロウアー・イースト・サイドの路上で亡くなった：同。

p.141 この出来事が「現代のホームレス」の始まりとなり：同。

p.141 一九八〇年代からこの言葉を頻繁に見かけるようになる：ミッチェル・レビタス “Homeless in America,” *New York Times Magazine*, June 10, 1990; キム・ホッパー “Homelessness Old and New: The Matter of Definition,” *Housing Policy Debate* 2, no. 3 (1991), pp. 774, 798.

p.142 ホームレスの人口比率は人種の偏りがあり、アフリカ系アメリカ人がもっとも多かった：マリアン・モーザー・ジョーンズ “Does Race Matter in Addressing Homelessness? A Review of the Literature,” *World Medical & Health Policy* 8, no. 2 (2016), pp. 139–56.

p.142 「シェルターから出て行こうよ」：トレイシー・チャップマン “Fast Car,” *Tracy Chapman* (Elektra, 1988).

p.142 「夏の皮膚のようにぼろぼろ剥がれていた」：パティ・スミス *Just Kids* (New York: HarperCollins, 2010), pp. 85–86.

p.142 軍葬されていた：ジューンの死亡証明書、マーゴとリンダへの取材より。

p.142 マーガレットは当時カナーシーに住んでいた：マーゴへの取材より。公営住宅の記録とチャンネルのDOEの記録で裏付けをとった。

p.142 奴隷を所有したオランダ人に由来する：ベナルド、ワイス *Brooklyn by Name*, p. 3.

p.142 コミュニティ・カレッジを中退し、クラックの売買をしていた: ロビンソンへの取材より。

p.143 数週間ごとに新たな薬物を運び入れた: シャネルとマーゴへの取材より。

p.143 クラックは地域経済を変化させ: サマハ “Cheaper, More Addictive, and Highly Profitable.”

p.143 二二〇〇人以上が殺された: ドナテラ・ローチ “Record Year for Killings Jolts Officials in New York,” *New York Times*, Dec. 31, 1990.

p.143 現代のニューヨークの歴史の中で、(…) 殺人事件の死亡者数の多い一年: フォックス・バタフィールド “U.S. Crime Rate Rose 2% in 2001 After 10 Years of Decreases,” *New York Times*, Oct. 29, 2002、ニューヨーク市が 2013 年 12 月 27 日に発表した市長室のプレスリリース “Mayor Bloomberg and Police Commissioner Kelly Announce 2013 Saw the Fewest Murders and Fewest Shootings in Recorded City History at NYPD Graduation Ceremony” より。

p.145 シャネルが十五歳になるまでに通った学校は七つを数える: DOE のシャネルの記録より。

p.145 歯科医院は (…) 二三五ドルをメディケイドに請求した: メディケイドのシャネルの記録より。

p.145 ジョーは (…) 人を殺して刑務所に入っていた: ロビンソンへの取材、刑務所の記録より。

p.146 身体検査の結果、血液から HIV が検出された: シャネルとマーゴへの取材より。

p.145 最後の数週間は (…) プレスピテリアン病院で過ごした: シャネルとマーゴへの取材より。

p.146 交通事故によるものだった: マーゴとシャネルへの取材より。

p.146 エイズがアメリカの若い黒人の死因のトップになってから、五ヶ月後のことだった:

グレッチェン・ガヴェット “Timeline: 30 Years of AIDS in Black America,” *Frontline*, Public Broadcasting Service, July 10, 2012.

p.147 抗レトロウイルス薬のおかげで: マーゴとその他の家族への取材より。

第 11 章

p.149 それができなければ児童福祉制度に頼るしかなかったが、そこでは肌の色による人種分離がおこなわれていた: ニーナ・バーンスタイン著 *The Lost Children of Wilder: The Epic Struggle to Change Foster Care* (New York: Vintage Books, 2002).

p.150 「児童虐待」という用語が一九六〇年代に目立って使われるようになった: ラリー・ウルフ “The Battered-Child Syndrome: 50 Years Later,” *Huffington Post*, Jan. 4, 2013; C・ヘンリー・ケンプ他 “The Battered-Child Syndrome,” *Journal of the American Medical Association*, 181, no. 1 (1962), pp. 17–24.

p.150 全米で反響を呼び、児童虐待の報告を義務付ける法律が制定され: ジョイス “Crime of Parenting While Poor.”

p.150 一九七三年、彼女が原告となり (….) 歴史に残る集団訴訟が提起された: リチャード・セヴェロ “Church Groups See Danger in Child-Care Bias Lawsuit,” *New York Times*, March 16, 1975.

p.150 市の里親制度では子どもを受け入れきれなくなった: マイケル・オレスケス、スザンヌ・デイリー、サラ・ライマー “A System Overloaded: The Foster-Care Crisis,” *New York Times*, March 15, 1987.

p.150 報道機関が、「クラック・ベビー」は (….) 欠陥を抱えていると警鐘を鳴らした: ジャニーン・ジャクソン “Reexamining ‘Crack Baby’ Myth—Without Taking Responsibility,” *Fairness & Accuracy In Reporting*, July 1, 2013.

p.150 報道の根拠になったのは、二十三人の乳児を対象にした医学研究だけで: ヴァン・R・ニューカーク 2世 “What the ‘Crack Baby’ Panic Reveals About the Opioid Epidemic,” *The Atlantic*, July 16, 2017.

p.150 親のクラック吸引が (….) 影響を及ぼす可能性は、あったとしてもほんのわずか: マリア・サラヴィッツ “‘Crack Babies’ Don’t Necessarily Turn into Troubled Teens,” *Time*,

May 28, 2013; “Crack Cocaine Myths and Facts.”

p.151 薬物を使用している妊婦が法執行機関の標的になった: リン・M・パルトロー、デイヴィッド・S・コーエン、コリーヌ・A・ケアリー著 *Year 2000 Overview: Governmental Responses to Pregnant Women Who Use Alcohol or Other Drugs* (Women’s Law Project, National Advocates for Pregnant Women, October 2000), p. 16.

p.151 ニューヨーク市の里子の数は (…) 過去最高に達し: デイヴィッド・トービス著 *From Pariahs to Partners: How Parents and Their Allies Changed New York City’s Child Welfare System* (New York: Oxford University Press, 2013), p. 21.

p.151 オーバーン・シェルターで育った子ども: リゼット・アルヴァレス “The Life and Love of a Single Father,” *New York Times*, Nov. 29, 1995.

p.151 エリサは母親から虐待を受け続け: リゼット・アルヴァレス “A Mother’s Tale: Drugs, Despair and Violence,” *New York Times*, Nov. 27, 1995.

p.151 児童保護機関は史上最悪の児童虐待事件と呼んだ: ジョイス・パーニック “Elisa’s Death: A Year Later, Hints of Hope,” *New York Times*, Nov. 21, 1996.

p.151 「恥ずべき死」: *Time*, Dec. 11, 1995.

p.151 児童保護制度の改革を誓った: デイヴィッド・ファイアストーン “Giuliani Is Forming a New City Agency on Child Welfare,” *New York Times*, Jan. 12, 1996.

p.151 一九九七年の一年間だけで一万三二〇七人に達した: ティモシー・ロス、アン・リフランダー著 *The Experiences of New York City Foster Children in HIV/AIDS Clinical Trials* (ニューヨーク, ヴェラ司法研究所発行, 2009 年), p. 66.

p.152 六五七ドルの家賃は、市の住宅公社からの助成と福祉補助金で賄っていた: HRA と NYCHA のジョニーの記録より。

p.152 全米の何十万人ものシングルマザーが再就労していた: 福祉改革後の三年間で、少なくとも 200 万人のアメリカ人が受給者名簿から外れたが、どれだけの人 (過半数がシングルマザーだった) が仕事に就いたかは明確にされていない。推定方法のひとつが雇用データの分析だ。1996 年から 1999 年の同じ期間に、失業中のシングルマザーは 773,000 人減

少し (3,486,000 人から 2,713,000 人へ)、就業中のシングルマザーは 883,000 人増加した (6,150,000 人から 7,033,000 人へ)。調査によれば、「福祉から離脱した人」の半数以上は就職したものの、不安定で低賃金の労働市場の中で継続的に職を確保するのに苦勞していた (この傾向は福祉改革前にもあった)。この三年間の就業者数の増加は福祉改革だけが理由ではなく、個人責任及び就労機会調整法の成立前から増加は始まっていた。労働統計局のデータに基づく予算・政策優先センター (CBPP) データ分析・調査担当部長アーロック・シャーマン提供の分析、アメリカ合衆国保健福祉省と下院歳入委員会がまとめた数値に基づくシャーマン提供の CBPP の分析による。

p.152 「福祉手当には期限があります」: ジョニーの HRA の記録より。

p.152 二〇〇〇年秋に (…) 清掃員として採用された: ニューヨーク州都市交通局 (MTA) のジョニーの記録より。

p.152 初年度の給与二万二八一六ドル: HRA のジョニーの記録より。

p.153 「くそやばいな」: クラレンス・グリーンウッドへの取材より。

p.153 白人の姿を見ることはめったになかった: 2000 年から 2018 年の間に、ベッドフォード = スタイヴェサントに住む白人の割合は 2.4% から 30.1% へ急上昇した。増加率は 1,150% になる。ニューヨーク大学不動産・都市政策ファーマンセンター“State of the City 2019: Bedford Stuyvesant BK03 Neighborhood Profile”より。2021 年 2 月 26 日閲覧。

p.154 シャネルのギャング「ブラッズ」への道は、一年前の一九九八年: シャネルとブラッズの元メンバーへの取材より。

p.154 シャネルはレジ係として働いていた: SSA のシャネルの記録より。

p.154 一九九一年の映画『ボーイズン・ザ・フード』に描かれている: ジョン・シングルトン監督『ボーイズン・ザ・フード』(United States: Columbia Pictures, 1991)。

p.154 ニューヨークで生まれ育った男オマー・ポータィがロサンジェルスでブラッズに加わり: クリス・ヘッジズ“Old Colors, New Battle Cry,” *New York Times*, Jan. 31, 2000.

p.154 ニューヨークでもっとも暴力的なギャング: ダニエル・ブラウン、マーク・ウォルトマン、トーマス・ハント著 *Old Problem, New Eyes: Youth Insights on Gangs in New York*

City: A Report by Public Advocate Betsy Gotbaum (ニューヨーク, ニューヨーク市政監督官局発行, 2007 年), p. 4.

p.155 新たに加入した男性は (…) 仲間として認められる道程を「自ら切り開いて」いかなければならなかった: シャネルへの取材より。バーナード・B・ケリクが本部長だった 2000 年から 2001 年頃にニューヨーク市警察が発行した“The Gang Manual”も参照。publicintelligence.net から 2021 年 2 月 27 日にアクセス。

p.157 彼はまもなくドリームワークスと契約し: デイヴィッド・シーガル “Citizen Cope’s Record Year,” *Washington Post*, Jan. 28, 2002.

p.157 ダサニの父親となるその男: ラメルは本名ではなくストリートネームで表記している。生い立ちや経歴はすべて、本人とシャネルへの取材、ラメルの犯罪記録に基づいている。

p.158 シャネルは一日に三〇〇ドル使った: シャネルの薬物治療記録より。

p.158 落書きを消したり座席のガムを剥がしたりしていた: MTA のジョニーの記録より。

p.158 「無事女兒が誕生」: ダサニの病院の記録より。

第 12 章

p.160 クラック売買の罪で服役中の兄シャメル: シャメルの犯罪記録より。

p.160 ダサニは生後三ヶ月のとき、両親とともにホームレスと認定され: DHS のシャネルの記録より。

p.161 もうきみの中に小さな命が宿ってるよ: マックスウェル “This Woman’s Work,” *Now* (Columbia, 2001).

p.161 シャネルは (…) オデッセイ・ハウスで娘と暮らした: オデッセイ・ハウスのシャネルの記録より。

p.162 三万四〇〇〇ドル以上を稼げるようになり: MTA のジョニーの記録より。

p.162 いつも親を「見下した態度を取る」: NYPD の家庭内事件調査より。

p.163 シャネルは「資格審査」に通過しなければならなかった: ダニエル・ブラウン、マーク・ウォルトマン、ダリス・ペレス＝カベサス著 *Turned Away: The Impact of the Late-Arrival Placement Policy on Families with Children* (ニューヨーク, ニューヨーク市政監督官局発行, 2008 年), pp. 5, 7、ゴールドファインへの取材より。

p.163 一九九〇年に、ニューヨーク市では六七〇〇人を超えるホームレスの子どもがシェルターで暮らしていた: 2011 年 9 月までのデータの「ホームレスの家族、子ども、家族内の大人の数は」DHS、HRA、NYCStat のシェルター統計報告から取得した「月末時点の統計データに基づいている」。ホームレス支援連合“New York City Homeless Municipal Shelter Population, 1983–Present,” p. 3 より。2021 年 2 月 26 日閲覧。

p.163 ダサニとアヴィアナは (…) 一万六七〇〇人を超える子どもたちの仲間入りをした: ホームレス支援連合アドボカシー部門 “New York City Homeless Municipal Shelter Population, 1983–Present,” p. 8.

p.163 世界有数の資産家だった: 2001 年、フォーブス誌は世界長者番付でブルームバーグを 82 位とした。“#29, Bloomberg, Michael Rubens,” *Forbes* より。2021 年 2 月 23 日閲覧。

p.163 一九六六年、ニューヨークにやってきたブルームバーグ: 特別な言及のないかぎり、ブルームバーグの経歴はすべて以下の資料に基づいている。エレノア・ランドルフ著 *The Many Lives of Michael Bloomberg* (New York: Simon and Schuster, 2019); ディーン・E・マーフィー “Bloomberg a Man of Contradictions, but with a Single Focus,” *New York Times*, Nov. 26, 2001; アダム・ナゴニー “Bloomberg Edges Green in Race for Mayor,” *New York Times*, Nov. 7, 2001; マイケル・バルバロ “The Bullpen Bloomberg Built: Candidates Debate Its Future,” *New York Times*, March 22, 2013; マイケル・バルバロ、キティ・ベネット “Cost of Being Mayor? \$650 Million, If He’s Rich,” *New York Times*, Dec. 29, 2013.

p.164 「311」の設立を宣言し、就任早々喝采を浴びた: ウィニー・フー “New Yorkers Love to Complain, and Hot Line Takes Advantage,” *New York Times*, Dec. 1, 2003.

p.164 引退したクルーズ船に家族を収容することを検討した: レスリー・カウフマン “Officials Tour Cruise Ships in a Search for Shelter Space,” *New York Times*, Nov. 21, 2002.

p.164 「バーやディスコはシェルターにふさわしくないので、撤去しなければならないでしょう」: 同。

p.164 元ブロンクスハウス男子拘置所にホームレスの家族を入れた:J ジェニファー・スタインハウアー “Mayor’s Style Is Tested in Sending Homeless to Old Jail,” *New York Times*, Aug. 16, 2002.

p.165 「われわれの政策自体がシェルターへの入所を不必要に促し、シェルターへの依存を長引かせている」: レスリー・カウフマン “Mayor Urges Major Overhaul for Homeless,” *New York Times*, June 24, 2004.

p.165 何十年もの間、ニューヨーク市はホームレスの家族が公営住宅の入居待ちリストに割り込めるようにしてきた: DHS、ホームレス支援連合より。

p.165 入居できた家族がシェルターに戻ってくる事例はごくわずかだった: ヴェラ司法研究所による研究調査で、1998年に長期的な住宅補助を受けてシェルターを出たホームレスの家族がその後五年間追跡された。シェルターに戻った家族はわずか 11.5%だった。ナンシー・スミス他 *Understanding Family Homelessness in New York City: An In-Depth Study of Families’ Experiences Before and After Shelter* (ワシントン D.C., ヴェラ司法研究所発行, 2005年), p. 12, table 5 より。

p.165 ブルームバーグ市長は (…) 新たな政策の数々を打ち出した: クリスティン・ダラム、マーサ・ジョンソン著 *Innovations in NYC Health & Human Services Policy: Homelessness Prevention, Intake, and Shelter for Single Adults and Families* (New York: Urban Institute, 2014).

p.165 「慢性的なホームレスの存在を事実上消滅させる」と約束した: ディナ・テンプレートラストン “Bloomberg Vows to Make Chronic Homelessness ‘Extinct,’” *New York Sun*, June 24, 2004.

p.165 シェルター・システムを改革した: ブルームバーグの任期中に、市政はシェルター・サービスに約 50 億ドルを費やし、7,500 のユニットまたはベッドを追加設置した。2013 年の市長室より。

p.165 市が運営する「イノベーション・ラボ」として (…) 六億六二〇〇万ドルを投じた: 2013 年の市長室より。

p.165 「不正調査員」: サマンサ・M・シャピロ “The Children in the Shadows: New York

City's Homeless Students,” *New York Times*, Sept. 9, 2020.

p.166 調査員が親族の家を訪問する：ゴールドファインへの取材より。

p.166 申請者が親戚の家のバスタブの上で寝るように言われたこともあった：同。

第13章

p.168 シングルファーザーの彼には小さな子がふたりいた：シュプリームの子の生い立ちや経歴に関する情報はすべて、本人への取材および、児童保護、裁判、刑務所、警察、メディア、HRA の記録に基づいている。

p.168 二歳のカリクと、彼がナナと呼んでいた赤ん坊の女の子：上のきょうだい四人の幼児期に関する情報は、両親や親族への取材および、学校、病院、家庭裁判所、ACS、HRA、DHS の記録に基づいている。

p.168 ナナは遺伝性の目の病気を患っていて：ナナは家族性滲出性硝子体網膜症と診断された。ナナの医療記録より。

p.170 検視を担当した副監察医によれば：キリア・ゴードンの検死報告より。

p.171 クラレンス・スミスの創設した「ファイブ・パーセント・ネイション」(…) スミスは朝鮮戦争の帰還兵で：ブラッドリー・R・グッディング “Poor Righteous Teaching: The Story of the FBI and the Five Percenters,” *Ex Post Facto* (2001), pp. 57, 70; Autodidact 17, “Allah, the Father’s Assassination: 48 Years Later,” *New York Amsterdam News*, July 13, 2017.

p.172 ファイブ・パーセンターズには、ラッパーのバスタ・ライムスや、モブ・ディーブやウータン・クランのメンバーをはじめ：ロバート・タナー “‘Five Percent’ Adherents Spread Faith—or Fantasy,” *Los Angeles Times*, Jan. 3, 1999; The RZA, *The Wu-Tang Manual* (New York: Penguin, 2005), p. 43; タイ・グーデン “Showtime’s New Wu-Tang Docu-Series Highlights How 5 Percent Nation Influenced the Group,” *Bustle*, May 10, 2019; サイモン・ヴォジック＝レヴィンソン “Erykah Badu on Covering Drake, Duetting with André 3000, Her New Mixtape,” *Rolling Stone*, Jan. 12, 2016.

p.172 後にリン＝マニユエル・ミランダ脚本・作詞作曲・主演のヒップホップ・ミュージカル『ハミルトン』の台詞にもなった：リン＝マニユエル・ミランダ “My Shot,” 2015年収録の Atlantic Recording Corporation, track 3 on *Hamilton* (Original Broadway Cast

Recording)より。

p.174 婚姻手続きのため (…) 市役所に出向いた: シャネルとシュプリームの結婚証明書より。

第 14 章

p.177 二〇〇六年の夏、(…) 家族は再出発した: DHS の家族のファイルより。

p.178 マリファナ使用の痕跡が見つかり: ACS の記録、シャネルとシュプリームへの取材より。

p.178 新生児と母親への薬物検査: ゲイル・L・ゼルマン他 “A Search for Guidance: Examining Prenatal Substance Exposure Protocols,” *Maternal and Child Health Journal* 6, no. 3 (2002), pp. 205–12; オレン・ヤニヴ “Weed Out: More Than a Dozen City Maternity Wards Regularly Test New Moms for Marijuana and Other Drugs,” *Daily News*, Dec. 29, 2012.

p.179 成績表には、こうした能力はなにひとつ記載されなかった: DOE のダサニの記録より。

第 15 章

p.180 午前九時を少し回った頃、バケツを置き: MTA のジョニーの記録より。

p.180 仲裁を取り繕った: シャネル、ダサニ、リンダ、マーゴへの取材より。

p.181 市の期間限定の補助金を受け、家賃を払っていた: HRA のシャネルの記録より。

p.181 「息を切らしていて、まともに話すことができない」: 救急救命士によるジョニーの搬送前救護記録より。

p.182 午前一時十五分、ジョニーの死亡が宣告された: ジョニーの死亡証明書より。

p.182 死因はアテローム性動脈硬化による心筋梗塞だった: ジョニーの死亡証明書とそれに付随する医療報告書より。

p.182 長年のクラック使用で心疾患を引き起こしやすくなっていた: ケレン・バチ他

“Vascular Disease in Cocaine Addiction,” *Atherosclerosis* 262 (2017), pp. 154–62.

p.183 シャネルの記憶は断片的だ: シャネル、マーゴ、シュプリーム、ダサニ、きょうだいへの取材より。

p.183 「故人との付き合いの期間は?」: MTA のジョニーの記録より。

p.184 稼いだ金は総額二十八万七五二ドルにのぼった: 同。

p.184 シャネルが相続した遺産は四万九〇〇〇ドルだった: シャネルとラモントへの取材より。

p.184 不動産仲介業者は経済的に停滞していたスタテン島のノースショアにアフリカ系アメリカ人を誘導した: スティーヴン・V・ロバーツ “Bias Is Charged in Housing on S.I.,” *New York Times*, Jan. 20, 1967.

p.184 スタテン島はニューヨーク市でもっとも隔離された行政区: エリザベス・ベネット “Creating Racial Equity in New York City’s Most Segregated Borough,” *Grantmakers in the Arts Reader* 31, no. 2 (2020)、ミレヤ・ナヴァロ “Segregation Issue Complicates de Blasio’s Housing Push,” *New York Times*, April 14, 2016、米陸軍退役少佐ダニー・シュルセンと著者の国勢調査のデータ分析より。

p.184 住民投票では、ニューヨーク市からの分離に六十五パーセントが賛成した: エレノア・ランドルフ “‘Forgotten Borough’ Steps Toward Divorce,” *Washington Post*, Dec. 5, 1993.

p.185 地元ではこの高速道路をメイソン＝ディクソン線と呼んでいる: ジョセフ・バーガー、イアン・アービナ “Along with Population and Diversity, Stress Rises on Staten I.,” *New York Times*, Sept. 25, 2003.

p.185 南側には白人が多く住んでいて、二〇一六年と二〇二〇年の大統領選挙で大多数がドナルド・J・トランプに投票することになる: マシュー・ブロック他 “An Extremely Detailed Map of the 2016 Election,” *New York Times*, July 25, 2018; アリス・パーク他 “An Extremely Detailed Map of 2020 Election,” *New York Times*, Feb. 20, 2021.

p.185 「息をつく余裕があった」: ジョシュア・ジェリー＝シャピロ “Wu-Tang’s RZA on the Mysterious Land of Shaolin: Staten Island,” *Literary Hub*, Oct. 12, 2016.

p.185 シャオリン・ランドと名づけた: 同 Wu-Tang Clan, “C.R.E.A.M.,” RCA Records, *Enter the Wu-Tang*, 1993.

第 16 章

p.186 月額一四八ドルの家賃が一年間全額補助されることになった: 家族の賃貸契約書と HRA の記録より。

p.187 彼女は二〇〇九年五月九日に (…) 救急車でスタテン島大学病院に搬送された: シャンネルのスタテン島大学病院の記録より。

p.188 アメリカの白人の依存者と同じ道をたどることになった: “Opioid Overdose,” Centers for Disease Control and Prevention (2021 年 2 月 25 日閲覧)、ヘレナ・ハンセン、ジュリー・ネザーランド “Is the Prescription Opioid Epidemic a White Problem?” *American Journal of Public Health* 106, vol. 12 (2016), pp. 2127–29 より。

p.188 シャンネルは公園の管理人として働き: SSA のチャンネルの記録より。

p.188 「空をまっすぐ見つめた」: ダサニの “Grade 3 Early Performance Assessment in Language Arts Student Response Book” より。

p.188 翌二〇一一年、州が財政的支援を取りやめたため、ブルームバーグ市長は「アドバンテージ」を終了することになる: ジョン・スリコ “De Blasio’s Homelessness Reset: Advantage Lessons Learned,” *Gotham Gazette*, April 4, 2014.

p.188 アドバンテージの恩恵を受けていた家族の四分の一以上: モージ・シークレット “Clock Ticks for a Key Homeless Program,” *New York Times*, May 31, 2011; ミレヤ・ナヴァロ “In New York, Having a Job, or 2, Doesn’t Mean Having a Home,” *New York Times*, Sept. 17, 2013.

p.189 建設費用は六五五〇万ドルだった: モージ・シークレット “A New First Stop for Homeless Families,” City Room, *New York Times*, May 3, 2011.

p.189 ニューヨーク市内に一五二ヶ所ある家族向けシェルターのうち: DHS の 2013 年のデータより。

p.190 立ち退きや退去を幾度も余儀なくされた人たちが負う「ルーツ喪失の心の傷」：ルーツ喪失の心の傷とは、「感情のエコシステム全体または一部の破壊で生じるトラウマ的ストレス反応」を指す。ミンディ・トンプソン・フュリラヴ著 *Root Shock: How Tearing Up City Neighborhoods Hurts America, and What We Can Do About It* (New York: New Village Press, 2004), p. 9 より。

p.190 「長期滞在者」：2010年、オーバーンは四つの「ネクストステップ」家族シェルターのうちのひとつで、これは通常より長く市のシェルターに滞在していた家族に「集中的ケース管理」をおこなうものだった。このプログラムは、DHSが5年以上市のシェルターに入居していた約50の家族を特定した2007年に開始した。ジュリー・ボスマン “A Shelter for Families in Need of a Push,” *New York Times*, March 21, 2010、DHSのプレスリリース “DHS Unveils Reform Package Centering on Work and Self-Sufficiency,” April 25, 2007 より。

p.190 オーバーンにひとりだけいた住宅専門家が一年前に亡くなり：州の検査報告より。

p.190 ブルックリンは全米でもっとも家賃が高い地域のひとつになりつつあった：ホルヘ・リヴァス “Brooklyn Is the Second Most Expensive Place to Live in the U.S.,” *Colorlines*, Sept. 7, 2012; ケイト・コルコラン “Brooklyn Second Most Expensive Place to Live,” *Brownstoner*, Sept. 6, 2012.

p.190 薬物や銃や恋人たちは、非常階段から中に入ってきた：オーバーンの入居者への取材より。

p.191 その夏、ケースワーカーの男がシャネルの胸を触った：オーバーンのシャネルのケースファイル、「クライアントの苦情」記録より。

p.191 しかし解雇されず、やがて昇給した：市の給与データより。

p.192 幼少期をずっと同じアパートで過ごし：スターレイザとその母親ボニータへの取材より。

p.194 合法の合成オピオイド：メタドンは1930年代にドイツで開発されたが、1964年にロックフェラー大学のヴィンセント・ドール、メアリー・ナイスワンダー、メアリー・ジャンヌ・クリーク、他二名の研究者がヘロイン中毒者への処方を見つけた。ハーマン・ジョセフ、ジョイスリン・スー・ウッズ “Changing the Treatment Direction for Opiate Addiction:

Dr. Dole's Research," *Substance Use & Misuse* 53, no. 2 (2018), p. 181, "Fifty Years After Landmark Methadone Discovery, Stigmas and Misunderstandings Persist," The Rockefeller University, Dec. 9, 2016 より。メタドンの作用については以下を参照。リチャード・A・レティグ、アダム・ヤルモリンスキー編 *Federal Regulation of Methadone Treatment* (ワシントン D.C., 全米アカデミー出版局発行, 1995 年), pp. 18, 42-43, 93.

p.194 二〇一一年三月十四日、(…) シュプリームがシャネルの顔を拳で殴った: オーバーンの家族の記録より。

p.194 九月七日、四四九号室の扉を開けると、部屋にあったほとんどのものがなくなっていた: オーバーンの家族の記録、家族への取材より。

第 17 章

p.196 「持ち物すべてをごみ箱に捨てられた」: シャネルがオーバーンで提出した苦情申立書、DHS の家族のケースファイルより。

p.196 手錠をかけられ、薬物所持で——彼女いわく不当に——訴追された: シャネルへの取材、NYPD と刑事裁判所の記録より。

p.197 ニューヨークの家庭裁判所におけるネグレクトを含む児童虐待の案件では: ゴールドファイン、ニューヨーク大学ロースクールのファミリー・ディフェンス・クリニック共同指導教員クリス・ゴットリーブへの取材より。

p.197 彼は判事に向かって「納得できません」と言った: 家庭裁判所の書き起こしより。

p.199 数年ぶりに収入を得た——月一〇九八ドルだった: DHS と SSA のシャネルの記録より。

p.199 新生児集中治療室にいた: シャネルへの取材より。

p.199 「メタドンを減らしている」: 病院のリーリーの記録より。

p.201 シーナは良い成績をとり: シーナとシェリーへの取材より。

p.201 ダサニは五年生を落第した: DOE のダサニの記録より。

p.202 ニューヨーク市の教育委員会は、ドーシー校にD評価を下した: 2011–2012 Citywide Progress Report より。 ニューヨーク市の“Open Data”ウェブサイト opendata.cityofnewyork.us から 2019年6月11日にアクセス。

p.202 ブルックリンにできた最初の黒人学校は、閉校の危機に瀕していた: クレイマー “Dozens of Elementary and Middle Schools.”

第18章

p.205 この地区を管轄する警察署は (...) 六件の殺人事件を捜査することになる: 2013年1月から8月までの間に、フォート・グリーンを含む第88地区管内で6人が殺害された。 ニューヨーク市警察副委員長室の公開情報より。

p.209 所得上位五パーセントは下位二十パーセントの七十六倍の収入があり: ベバリッジとウェーバー＝ストーガーの分析より。

p.210 税収の増大で公立校や公園が整備され: リチャード・G・シムズ “School Funding, Taxes, and Economic Growth An Analysis of the 50 States” (National Education Association Research Working Paper, Washington, D.C., 2004), p. 1; ランス・フリーマン著 *There Goes the 'Hood: Views of Gentrification from the Ground Up* (Philadelphia: Temple University Press, 2011), p. 99; “The Cost of Local Government in Philadelphia,” PEW Charitable Trusts, March 20, 2019.

p.210 「機会の分布」: クエンティン・ブルメット、ダヴィン・リード “The Effects of Gentrification on the Well-Being and Opportunity of Original Resident Adults and Children” (Federal Reserve Bank of Philadelphia Working Paper No. 19–30, Philadelphia, 2019), p. 1.

p.210 「わたしたちは、富裕層と貧困層が (...) 完全に別の地域に分かれて住む街のほうを好むのだろうか?」: イングリッド・グールド・エレンへの取材より。

p.210 フォート・グリーン地区のジェントリフィケーションでの最初期の移住者: セミス・クロノボウロス “African Americans, Gentrification, and Neoliberal Urbanization: The Case of Fort Greene, Brooklyn,” *Journal of African American Studies* 20 (2016), p. 303.

p.210 その中にはコメディアンのクリス・ロック、歌手のエリカ・バドゥ (...) がいた: 同、310.

p.210 サックス奏者のブランフォード・マルサリス：ピーター・ワトロウス “Here’s Branford,” *New York Times Magazine*, May 3, 1992.

p.210 一九八六年の(…)地元ブルックリンを舞台にした作品：スパイク・リー監督『シーズ・ガッタ・ハヴ・イット』(United States: Island Pictures, 1986).

p.210 「ブラック・メッカ」：クロノポウロス “African Americans, Gentrification,” p. 310.

p.210 リチャード・ライトも(…)一九四〇年の代表作『ネイティブ・サン』を執筆した：ネルソン・ジョージ “I Feel Like a Native Son,” *New York Times*, June 19, 2005、ステイブン・ブラウン “Richard Wright: Inspired by the Neighborhood,” Patch.com (2011年2月16日公開)より。

p.211 変化の大部分は二〇〇三年、ブルームバーグ市長によるブルックリンのダウンタウン改造計画とともに始まった：ダイアン・カードウェル “City Has a \$100 Million Plan to Develop Downtown Brooklyn,” *New York Times*, April 15, 2003.

p.211 宅地開発業者は(…)十九棟の高級ビル用地を確保した：ケリー・アンダーソン監督 *My Brooklyn* (United States: New Day Films, 2013).

p.211 十年も経たないうちにフォート・グリーン不動産価格は倍になり：ベバリッジとウェーバー＝ストーガーの分析より。不動産価格の変化のデータはミラー・サミュエル社とダグラス・エリマン社の提供。

p.211 白人居住者の割合が八十パーセントも増加した：同。

p.211 フォート・グリーン黒人経営店の約四分の三が廃業に追い込まれた：ステイシー・A・サットン “The Spatial Politics of Black Business Closure in Central Brooklyn”より。ミア・ベイ、アン・ファビアン編 *Race and Retail: Consumption Across the Color Line* (New Brunswick, N.J.: Rutgers University Press, 2015), p. 210 所収。

p.211 ブルックリンでは、白人の郊外流出と逆の現象が見られ：クロノポウロス “What’s Happened,” p. 549.

p.211 かつてレッドライニングされて黒人の住宅購入が制限された地区：スザンヌ・スペレン “From Redlining to Predatory Lending: A Secret Economic History of Brooklyn,”

Brownstoner, March 30, 2016.

p.211 今ではブルックリンでもっとも注目されるビルがいくつも建っている：コルヴィン・グラナム “Inclusion Through Homeownership,”より。クリストファー・ハーバート、ジョナサン・スペイダー、ジェニファー・モリンキー、シャノン・リーガー編 *A Shared Future: Fostering Communities of Inclusion in an Era of Inequality* (Cambridge, Mass.: President and Fellows of Harvard College, 2018), pp. 355–56 所収。デニス・ホルト “Report: 2011 Was a Boom Year for Brooklyn Real Estate,” *Brooklyn Daily Eagle*, April 6, 2012 も参照。

p.211 「そして始まるのが、くそったれなクリストファー・コロンブス症候群だ」：ジョー・コスカレリ “Spike Lee’s Amazing Rant Against Gentrification: ‘We Been Here!’,” *Intelligencer*, Feb. 25, 2014.

p.212 これと同じ力がベッド＝スタイにも変化をもたらす：サム・ロバーツ “Striking Change in Bedford-Stuyvesant as the White Population Soars,” *New York Times*, Aug. 4, 2011.

p.214 『食べまくり！ ドライブ in USA』：ステイーブン・ボルトコ監督、ガイ・フィエリ出演の番組。ページ・プロダクションズ制作。フードネットワークで2006年11月4日に放映が開始された。

p.216 警察は彼をルーテル医療センターの緊急処置室に連れて行った：ACSの記録より。

第19章

p.219 いつもおまえがほしいよ：112 feat.ザ・ノトーリアス・B.I.G.&メイス “Only You (Bad Boy Remix),” *Only You (Remix)* (Bad Boy Entertainment, 1996).

p.220 その一年後に彼は殺された：ダナ・フォード “Notorious B.I.G. Autopsy Released, 15 Years After His Death,” CNN, Dec. 7, 2012.

p.223 先生はまず、母親のメアリーの話から始める：特別な言及がないかぎり、ヘスターの生い立ちや経歴はすべて彼女への取材に基づいている。

p.223 ブルックリンの学校が人種差別撤廃に動き出したとき、ヘスターは十一歳だった：*Hart v. Community School Board of Brooklyn*, New York School District #21, 497 F.2d 1027 (2nd Cir., 1974).

p.224 ニューヨーク州立大学コートランド校への奨学金を勝ち取った: ニューヨーク州立大学コートランド校の職員より。

p.224 二〇〇四年には、トゥーロ・カレッジで二つの修士号を取得した: トゥーロ・カレッジのデータベースより。

p.225 親のいところにあたるケイクスが射殺された: シャネルとマーゴへの取材より。

p.225 シャキーシャが交際していた男にレイプされ、窒息死させられた: ウェイン・トッピンに関するクイーンズ郡刑事裁判所の記録、コートニー・デンチ “Two murdered in separate Hollis disputes,” QNS.com (2003年3月27日公開) より。

p.225 ベイツ大学を卒業したシーナ: ベイツ大学の職員より。

第20章

p.230 アップステート・ニューヨークの湖畔で (...) キャンプが開催: ホームレス支援連合のキャンプ・ホームワード・バウンドのこと。

p.236 この娘が生きる世界は燃えている: アリシア・キーズ “Girl on Fire,” *Girl on Fire* (RCA, 2012).

p.236 メディケイドから子どもひとりあたり十ドルの交通費がもらえる: 2013年、高度な心理療法・問題行動の治療を提供していたブルックリンのクリニックは、メディケイドに加入している患者に交通費を支給していた。州の保健局によれば、メディケイドを通じた交通費の現金の払い戻しは違法である。

p.240 「自殺願望がありますか?」: カリクへの取材より。

第21章

p.242 子どもたちは、(ホームレス支援サービスの指示にしたがって) 学校を休んで: 2016年にいたるまで、ニューヨーク市の長年の方針は、家族がシェルターから退室させられたり、利用資格を失って再申請したりする場合には、必ず家族全員で受付施設に来なければならないというものだった。リーガル・エイド・ソサエティより。

p.243 子どもがきっかけとなってアメリカ近代の福祉制度が生まれた: 1800年代後半には、

「児童救済」慈善団体の活動やジェイコブ・リースの画期的な著作『向こう半分の人々の暮らし：19世紀末ニューヨークの移民下層社会』の影響で、ニューヨーク市の浮浪児が置かれた窮状を訴える声が一般市民からあがっていた。このことは進歩主義運動の方向性の形成に重要な役割を果たし、1909年の「要扶助児童の保護に関する第一回ホワイトハウス会議」開催に繋がった。この会議が「母親年金」の創設運動に発展した。母親年金は連邦政府による現金扶助制度の元となり、近代的福祉国家の基礎を築いた。私は以下の幅広い文献を基にしてこの部分の記述をまとめている。アーウィン・ガーフィンケル、サラ・S・マクラナハン著 *Single Mothers and Their Children: A New American Dilemma* (ワシントン D.C., 都市研究所発行, 1986年), p. 101; ドロシー・ロバーツ著 *Shattered Bonds: The Color of Child Welfare* (New York: Basic Books, 2009), p. 174; リバ・ゲイジ・ムーア “Mothers’ Pensions: The Origins of the Relationship Between Women and the Welfare State” (マサチューセッツ大学の博士論文, 1986年), p. 1; *Proceedings of the Conference on the Care of Dependent Children Held at Washington D.C., January 25, 26, 1909* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国政府印刷局発行, 1909年), p. 5.

p.244 「価値ある者」と「価値なき者」：ジョン・E・ハンサン “Poor Relief in the Early America,” Social Welfare History Project, Virginia Commonwealth University より。2021年2月26日閲覧。

p.244 十九世紀になると(…)新制度ができ：デイヴィッド・M・シュナイダー、アルバート・ドイチュ著 *The History of Public Welfare in New York State, 1867–1940* (Montclair, N.J.: Patterson Smith, 1969), p. 8.

p.244 三六〇万人もの大量の移民：ロバート・アーンスト著 *Immigrant Life in New York City, 1825–1863* (Syracuse, N.Y.: Syracuse University Press, 1994), p. 187, appendix II, table 7.

p.244 この言葉が変化して「テネメント」になった：スタラー著 *New York’s Newsboys*, pp. 78–79.

p.244 「ある若い移民は、部屋で家族八人が生活していた様子を次のように説明した」：同 p. 81.

p.245 子どもの世界を形成した：「今日とは異なり、19世紀半ばのニューヨークの路上にあふれた者が作ったのは、ほとんどが子どもたちの世界であった」。クリスティーン・スタンセル “Women, Children and the Uses of the Streets: Classes and Gender Conflict in New

York City: 1850–1860,” *Feminist Studies* 8, no. 2 (1982), p. 312.

p.245 三万人ものホームレスの子どもがニューヨーク市を彷徨った: ティモシー・J・ギル
フォイル “Street-Rats and Gutter-Snipes: Child Pickpockets and Street Culture in New York
City, 1850–1900,” *Journal of Social History* 37, no. 4 (2004), p. 855.

手に負えない浮浪児は「ストリート・アラブ」や「ウェイフ」や「ガタースナイプ」と呼ば
れ: ロバート・G・ワイト “‘Street Arabs, Gutter Snipes, Waifs’: The Problem of Wayward,
Abandoned and Destitute Children in New York City, 1840–1920,” *New York History Review*,
July 11, 2012.

p.245 金ぴか時代という言葉は一八七三年にマーク・トウェインが (…) 執筆した同名の
小説に由来し: マーク・トウェイン、チャールズ・ダドリー・ワーナー著 *The Gilded Age:
A Tale of To-day* (Hartford: American Publishing Company, 1873); トレイシー・ウスター
“‘There’s Millions in It!’: *The Gilded Age* and the Economy of Satire,” *The Mark Twain
Annual* 11, no. 1 (2013), p. 1.

p.245 国全体の富の半分がわずか一パーセントの国民の手に集中していた: マイケル・ダ
ントニオ著 *Hershey: Milton S. Hershey’s Extraordinary Life of Wealth, Empire, and Utopian
Dreams* (New York: Simon and Schuster, 2006), p. 86、エドワード・T・オドネル “Are We
Living in the Gilded Age 2.0?” History.com より。2018年6月15日公開。

p.245 「帝国の中心地」: “From George Washington to James Duane, 10 April 1785,”
Founders Online, National Archives より。2021年2月26日閲覧。

p.245 後にアメリカの里親制度の父として知られることになる人物: ダフニ・エヴィアタ
ー “Suffer the Children,” *The Nation*, May 10, 2001.

p.245 浮浪児を (…) ニューヨークから「移送」する運動を立ち上げた: スタラー著 *New
York’s Newsboys*, p. 18.

二十万人もの子どもが、新しい生活を求めて孤児列車に乗った: レベッカ・S・トラメル
“Orphan Train Myths and Legal Reality,” *The Modern American* 5, no. 2 (2009), p. 4.

p.245 「ローマ・カトリックの無知な」白人家庭を離れ: 1872年、チャールズ・ロリング・
ブレースはこう書いている。「宗教的な戒めや助けとなる言葉をかけても、無知なローマ・

カトリック信者の形式主義的で冷ややかな答えが返ってくるだけで、決まった行為をしていれば魂は神と正しく繋がると信じていることが伝わってきた」 “ *The Dangerous Classes of New York, and Twenty Years’ Work Among Them* (New York: Wynkoop and Hallenbeck, 1872), p. 154 より。

「西部の良い家庭」：同。 p. 234.

p.246 年季奉公に似た制度のもとで働かされた：トラメル “Orphan Train Myths and Legal Reality,” p. 6; Joyce, “Crime of Parenting While Poor.”

p.246 「貧困を解決するための移住」：ブレイス著 *Dangerous Classes of New York*, p. 245.

p.246 ほとんどの子どもは孤児ですらなかった：バーンスタイン著 *Lost Children of Wilder*, p 198; スタンセル著 “Women, Children and the Uses of the Streets,” pp. 320, 327; スタラー *New York’s Newsboys*, pp. 19–20.

p.246 約九万三〇〇〇人の子どもたちが孤児院に収容され、七万五〇〇〇人を超える子どもたちが里親の家や非行少年の更生施設で生活していた： *Proceedings of the Conference*, p. 5.

p.246 一九〇九年一月二十五日、慈善事業家（…）などが二〇〇人ほど集まり：トラメル “Orphan Train Myths and Legal Reality,” p. 8; *Proceedings of the Conference*, p. 20.

p.246 「国家という観点で見れば、これ以上重要なテーマはないでしょう」： *Proceedings of the Conference*, p. 35.

p.246 合衆国の黒人の子どものほとんどは今も南部で暮らしている：ウィリアム・C・ハント著、アメリカ合衆国商務省制作 *Thirteenth Census of the United States Taken in the Year 1910, vol. 1: Population 1910: General Report and Analysis* (ワシントン D.C., 政府印刷局発行, 1913 年), p. 135.

p.246 会議に招集された二名のアフリカ系アメリカ人のひとり：アンドリュー・ビリングスリー、ジーン・M・ジョヴァンノーニ著 *Children of the Storm: Black Children and American Child Welfare* (New York: Harcourt, 1972), p. 72.

p.246 「黒人は、さまざまなやり方で、自分の家族の面倒を見るべきだという考えを連綿

と受け継ぎ」 : *Proceedings of the Conference*, p. 115.

p.247 子どもは小さな大人のように扱われ: アメリカ合衆国保健福祉省児童家族機関児童局 “Centennial Series: An Evolving View of Childhood,” *Children’s Bureau Express* 12, no. 4 (2011).

p.247 幼少期の子どもの「仕事」は遊ぶことなのだ: キャロリン・アン・ウィリアムズ＝ロバーソン “Granville Stanley Hall on the Education of the Elementary School Child” (ロヨラ大学の博士論文, 1994年), p. 52.

p.247 「児童の世紀」: エレン・キー著 *The Century of the Child* (New York: G. P. Putnam’s Sons, 1909).

p.247 「貧困を理由に離散に至ってはならない」 : *Proceedings of the Conference*, p. 193.

p.247 この会議がきっかけで「母親年金」の創設を求める全国的な運動が起こり: ガーフィンケル、マクラナハン著 *Single Mothers and Their Children*, pp. 97–99; *Proceedings of the Conference*, p. 9.

p.247 アメリカ初の福祉援助を受けた母親は、白人のほうが圧倒的に多かった: ガーフィンケル、マクラナハン著 *Single Mothers and Their Children*, p. 99; Moore, “Mothers’ Pensions,” p. 157; アメリカ合衆国労働省児童局 *Mother’s Aid, 1931: Bureau Publication No. 220* (ワシントン D.C., 政府印刷局発行, 1933年), p. 10.

p.247 ダサニの祖母ジョニーがブルックリンの福祉事務所に足を運んだ一九七一年: マーゴへの取材より (HRA は 1987 年以前のジョニーの福祉記録を発見できなかった)。

p.247 一九三五年にフランクリン・D・ルーズベルト大統領が (…) 成立させた: ガーフィンケル、マクラナハン著 *Single Mothers and Their Children*, p. 87.

p.247 約三十年後には (…) 「偉大な社会」政策によって給付対象が大幅に拡大された: ガーフィンケル、マクラナハン著 *Single Mothers and Their Children*, p. 111.

p.248 黒人女性は福祉受給者の名簿に載るために闘わなければならなかった: ジーン・デンビー “The Mothers Who Fought to Radically Reimagine Welfare,” NPR.com (2019年6月9日公開) ; ムーア “Mothers’ Pensions,” p. 114.

p.248 全国的な福祉権運動の拠点となった: ジェイソン・ディパーラ著 *American Dream: Three Women, Ten Kids, and a Nation's Drive to End Welfare* (New York: Penguin Books, 2004), p. 89.

p.248 一九七五年に福祉給付金を受給していたアメリカ人は一一〇〇万人: ギルバート・クルーズ他 *Welfare Indicators and Risk Factors: Thirteenth Report to Congress* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省福祉政策室発行, 2014 年), pp. II-12, table IND 3a.

p.248 全黒人家族のうち四十四パーセントだった: 44 パーセントという記述は、ハワード・オーバーヒュー “Studies of the Characteristics of AFDC Recipients,” *Social Security Bulletin* 40, no. 9 (1977), p. 18 より。10 パーセント未満という記述は、ゴードン・W・グリーン・ジュニア、レニー・H・ミラー、ジョン・F・コーダー “Money Income and Poverty Status of Families and Persons in the United States: 1975 and 1974 Revisions,” *Current Population Reports, series P60-103(RV)*, advance report (ワシントン D.C., アメリカ合衆国政府印刷局発行, 1976 年), pp. 9-10 より。

p.248 「シカゴに記録を打ち立てた女性がいました」: “The Truth Behind the Lies of the Original ‘Welfare Queen,’” *All Things Considered*, NPR, Dec. 20, 2013.

p.248 この女性は(…)リンダ・テイラーと特定された: ジョシュ・レヴィン著 *The Queen: The Forgotten Life Behind an American Myth* (New York: Little, Brown, 2019).

p.248 福祉援助の受給額が最高でも月六五〇ドル: HRA のジョニーの記録より。

p.248 一九九一年には、ニューヨークの福祉援助受給者は一〇〇万人に迫りつつあり: ポール・ロバット “New Yorkers Receiving Cash Assistance: A Nearly 60-Year Low?,” New York City Independent Budget Office, Aug. 20, 2019.

p.248 社会福祉は年間約一三〇億ドルの負担を納税者に強いていた: *Aid to Families with Dependent Children: The Baseline* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省発行, 1998 年), p. 64, Table 4.2.

p.249 「これまでの福祉を終わらせます」という公約: ディパーラ著 *American Dream*, p. 4.

p.249 クリントン大統領が「個人責任及び就労機会調整法」に署名した：“The Personal Responsibility and Work Opportunity Reconciliation Act of 1996,” アメリカ合衆国保健福祉省計画・評価担当次官補室, Sept. 1, 1996.

p.249 給付は期限付きで、就労活動が義務づけられた：予算・政策優先センター作成 *Policy Basics: Temporary Assistance for Needy Families* (ワシントン D.C., 予算・政策優先センター発行, 2020 年), p. 4.

p.249 「収入支援センター」から「職業センター」に変えた：レベッカ・L・シャーフ他 “The Wages of Welfare Reform: A Report on New York City’s Job Centers,” *Scholarly Works* 54, no. 4 (1999), p. 473.

p.249 福祉制度が「利用者に優しすぎる」：ルドルフ・ジュリアーニ市長 “Reaching Out to All New Yorkers by Restoring Work to the Center of City Life” (1998 年 7 月 20 日のニューヨークでのスピーチ) より。nyc.gov.からアクセス。

p.250 制度の厳格化が抑止的な風土を生み：ヘレン・ストロム、アフア・アッタ＝メンサー著 *Culture of Deterrence: Voices of NYC Public Assistance Recipients* (ニューヨーク, 都市司法センター・セーフティネットプロジェクト発行, 2014 年).

p.250 六〇〇万人以上のアメリカ人が、その大半が女性と子どもだったが、福祉受給者の名簿から外れていた：1996 年、約 1,200 万人が毎月の福祉給付金を受給していた。2001 年には、受給者数は半分以下に減少し、約 560 万人となった。クラウス他 *Welfare Indicators*, p. A-7, table TANF 2 より。

p.250 ニューヨーク市では受給者が半分以上減った：ニーナ・バーンスタイン “Manhattan: New Welfare Report,” *New York Times*, Aug. 24, 2001.

p.250 合衆国の中で「セーフティネット」が機能している典型的な州だ：リン・フェンダー他 *Assessing the New Federalism State Update No. 12: Recent Changes in New York Welfare and Work, Child Care, and Child Welfare Systems* (ワシントン D.C., 都市研究所発行, 2002 年), pp. 4-5.

p.250 ニューヨークは公的医療やフードスタンプの受給基準が比較的緩く：アダム・マッキン “States with the Most and Least Medicaid Coverage,” *WalletHub* (2021 年 2 月 26 日閲覧)、E・J・マクマホン “NY Ranks High in Welfare Benefits,” *Empire Center for Public*

Policy, Aug. 19, 2013 より。

p.250 ニューヨーク市は国内の大都市で唯一（…）シェルターに入る法的権利を保障している都市だ：リーガル・エイド協会、ホームレス支援連合より。

p.250 シャネルは「あのクソ女の顔をぶん殴ってやりたい」と言っている：DHS の家族のファイルより。

第 22 章

p.258 ナイキと出資契約を結んでいて：ナイキ社より。

p.259 一九八九年には（…）重罪の有罪判決を受けた：ジャイアントへの取材と犯罪記録より。

p.261 マルコム X の孫マリクも、ダサニをお祝いして：キア・グレゴリー、ダミアン・ケイブ “Troubled Life in Malcolm X’s Shadow Comes to a Violent End,” *New York Times*, May 10, 2013.

p.266 たいてい怒りの矛先はもっとも反抗的な六歳のパパに向けられる：子どもたちへの取材より。

第 23 章

p.268 いちばん古い記憶をたどると、シュプリームは毎回薄暗い空間にいる：この章の記述はシュプリーム本人への取材に加え、彼の通っていた学校、ACS、刑事裁判所、薬物治療、医療の記録、両親の児童保護記録、祖母の死亡診断書、妹の検死報告書に基づいている。

p.268 家に押し入った暴漢が拳銃で祖母を七発撃った：シュプリームの祖母の死亡証明書より。

p.268 その年だけで五一四人がブルックリンで殺害された：*Homicide Analysis 1983* (ニューヨーク、ニューヨーク市警察運営分析・計画局犯罪分析班), p. 2.

p.274 フロリダ州の男に、陪審員は無罪の判決を下した：リゼット・アルヴァレス、カラ・バックリー “Zimmerman Is Acquitted in Trayvon Martin Killing,” *New York Times*, July 13, 2013.

p.274 彼の死が「ブラック・ライヴズ・マター」運動の発端となった: カレン・グリグスビー・ベイツ “A Look Back at Trayvon Martin’s Death, and the Movement It Inspired,” NPR.com より。2018年7月31日公開。

p.274 直近十二年間で、警察官は五〇〇万人以上のニューヨーカーを呼び止めて身体検査をした: クリストファー・ダン “Stop & Frisk During the Bloomberg Administration 2002–2013” (ニューヨーク, ニューヨーク市自由連合発行, 2014年) ジェニファー・カーニグ編 p. 1.

p.274 そのほとんどが市の最貧地域に住む非白人だった: ダン “Stop & Frisk During the Bloomberg Administration,” pp. 4–5.

p.274 ニューヨーク市警のストップ・アンド・フリスクは人種差別だとして: ジョセフ・ゴールドスタイン “Judge Rejects New York’s Stop-and- Frisk Policy,” *New York Times*, Aug. 12, 2013.

p.274 ブルームバーグ市長が判決を不服として上訴すると述べる: 同。

p.274 「非白人を不当に標的にするストップ・アンド・フリスクの時代を終わらせます」: NYForDeBlasio, “New Yorkers for de Blasio TV Ad: ‘Dante,’” YouTube より。2013年8月8日公開の動画。

p.275 看護師は彼のことを「きちんと身だしなみを整え」(…)と記録している: コーナー・ストーン・オブ・メディカルアーツ・センターのシュプリームの記録より。

第24章

p.277 「赤ちゃんが息をしてないの!」: アイーシャ・ウィットロック (亡くなった赤ん坊の母親)、ダサニ、彼女のきょうだい、シャネル、州の担当者への取材より。911の記録、州の調査報告も参照。

p.277 室温が四十度近くまで上がる部屋に家族を割り当てた: OTDA より。

p.277 オーバーンの防火設備は事実上機能しない: 同。

p.277 慢性的な呼吸器疾患や深刻な病気を抱える幼い子どもをこのシェルターに入れるべきでない: 2013年11月15日のOTDAによる検査報告書より。

p.279 シャネルと子どもたちを店の施設留置場に連行していく：シャネルと子どもたちへの取材、警察記録より。メイシーズはコメントを控えた。

p.279 警察がシャネルの身柄を拘束：シャネルの犯罪記録により。

p.281 連邦法は、家族が引っ越しても同じ学校に通う権利をホームレスの子どもに与えている：*Education of Homeless Children & Youth: The Guide to Their Rights* (ワシントン D.C., 国立ホームレス・貧困法律センター発行, 2011 年), p. 4.

p.282 ビル・デブラシオが地滑りの勝利を収め：“Election 2013: New York City Mayor,” *New York Times*, Nov. 6, 2013.

p.282 二十年ぶりに民主党のニューヨーク市長が誕生することになる：マット・フレゲンハイマー “How Bill de Blasio Went from Progressive Hope to Punching Bag,” *New York Times Magazine*, Aug. 6, 2019.

p.283 「ニューヨーク・タイムズ」紙が（…）第一回の記事を掲載する：アンドレア・エリオット “Invisible Child: Girl in the Shadows: Dasani’s Homeless Life,” *New York Times*, Dec. 9, 2013.

p.283 「ただちにこの問題に取り組む」：チェスター・ソリア “De Blasio Picks City Govt Vet to Be Deputy Mayor for Health and Human Services,” *Gotham Gazette*, Dec. 12, 2013.

p.283 市長の功績に泥を塗ったという怒りの苦情が内々に「ニューヨーク・タイムズ」に届く：ブルームバーグの上級補佐官より。

p.283 「この子は不運でした」：コリン・キャンベル、ロス・バーカン “Bloomberg Defends Homeless Policies While Calling Dasani Story ‘Extremely Atypical,’” *Observer*, Dec. 17, 2013.

p.283 「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙に弁明の記事を載せ：ハワード・ウルフソン、リンダ・ギブス “Bloomberg’s Real Antipoverty Record,” *Wall Street Journal*, Dec. 17, 2013.

p.283 一度低下し、二〇〇八年以降にまた上昇した：ワイマーの国勢調査のデータ分析によると、ニューヨーク市の貧困率は 2002 年に 20.1% で、2005 年に 19% に下がり、翌年に

は 19.2% に上昇した。その後いったん減少したが、世界的大不況の後の 2009 年にまた上昇した。2010 年、市の貧困率はふたたび 20.1% に戻った。

p.283 一〇〇万人がフードスタンプの受給を始めた: HRA のデータより。

p.284 児童基金を設立した: 「インヴィジブル・チャイルド・トラスト」はニューヨーク州マウントキスコにある CLC 財団が管理している。

p.284 教育局は (…) 怒り心頭に発し、学校は大目玉を食らった: ホームズへの取材より。

p.284 「貧困の顔」で飾った: ロス・バーカン “Dasani Drama: New York Times Denies Public Advocate Played Role in Dasani Story,” *Observer*, Jan. 2, 2014.

p.286 「この子がダサニ・コートです」: ニューヨーク市長室 “2014 New York City Inauguration” YouTube より。2014 年 1 月 1 日公開の動画。

p.286 「ホワイトハウスに入ったら」: ダサニとチャンネルへの取材より。

p.287 オーバーンと (…) 〈キャサリン・ストリート〉から四〇〇人以上の子どもを退去させ: アンドレア・エリオット、レベッカ・R・ルイス “New York Is Removing over 400 Children from 2 Homeless Shelters,” *New York Times*, Feb. 21, 2014.

p.287 ニューヨーク市のホームレス人口が過去最高の六万人に迫る: 2014 年 1 月、ニューヨーク市の各機関が管理する五つのシェルター・システムには 59,690 人が滞在しており、そのうち約 53,000 人が DHS のシェルターにいた。

第 25 章

p.288 〈P・S・200〉から停学処分を受けたばかり: シャンネルが私に見せてくれた、パパの学校からの手紙より。

p.288 「雇用に関する面談」を欠席した: HRA のチャンネルの記録より。

p.288 ただしチャンネルはそんな面談があることを知らされていなかった: HRA のチャンネルの記録を確認したところ、市の福祉機関は就労関連の面談について彼女に通知していなかった。

p.289 デブラシオは全四歳児が幼稚園に入園できるよう取り組みを始め: ウィリアム・ニューマン “De Blasio Finds Biggest Win in Pre-K, but Also Lasting Consequences,” *New York Times*, Oct. 31, 2017.

p.289 かつての政敵スティーヴン・バンクスを要職に登用している: マシュー・チェイズ “Longtime Critic Named to Head NYC’s HRA,” *Newsday*, Feb. 28, 2014.

p.290 バンクスは後に、市のシェルター制度を管轄する役目も担うことになる: ニューヨーク市社会福祉局の“Meet the Commissioner”より。

p.290 「支援の手を必要としているニューヨーク市民のために働く行政にします」: 市長室のプレスリリース “With Three Appointments, Mayor de Blasio Builds Out Leadership Team Dedicated to Expanding Opportunity For More New Yorkers” より。ニューヨーク市が2014年2月28日に公開。

p.290 壮絶な夫婦喧嘩で、シュプリームはテレビを壊し、ナイフを取り出した: シャネルへの取材より。

p.292 ゴールドファインは (…) リーガル・エイドの社員弁護士である: ゴールドファインの経歴はすべて、彼への取材と報道記事に基づいている。

p.292 アラバマ州の黒人死刑囚デリック・デブルース: ケルシー・スタイン “Federal Appeals Court Orders New Sentencing for Alabama Death Row Inmate Convicted in 1991 Execution-Style Shooting in Talladega,” AL.com より。2014年7月16日公開。

p.292 この六週間後の二〇一四年七月、(…) 弁護団の勝利が決まることになる: 同。

p.293 警察の報告書によれば (…) 「痛みと腫れ」が残った: ニューヨーク市警察副委員長室の公開情報より。

p.293 副業で「ヴィレッジ・ヴォイス」誌の音楽評論を担当していた: *The Village Voice* の音楽アーカイブ “Josh Goldfein” (1998年11月10日から2006年5月16日) より。

p.294 市のシェルターで暮らす児童の三分の二は長期間学校を休んでいる: リズ・パパス著 *Not Reaching the Door: Homeless Students Face Many Hurdles on the Way to School* (ニューヨーク, ニューヨーク市独立予算局発行, 2016年), pp. 4-5.

第 26 章

p.300 四歳から入学でき、授業料は無料: ミルトン・ハーシースクールの職員より。

p.301 サクセス・アカデミーの創設者で CEO のエヴァ・モスコウィッツは今、新市長と対立している: ダニエル・バーグナー “The Battle for New York Schools: Eva Moskowitz vs. Mayor Bill de Blasio,” *New York Times Magazine*, Sept. 3, 2014.

p.301 三月にモスコウィッツは (…) 二十二校のチャーター・スクールを一時的に閉鎖し: アル・ベイカー、ハヴィエル・C・エルナンデス “De Blasio and Operator of Charter School Empire Do Battle,” *New York Times*, March 4, 2014; エライザ・シャピロ “City’s Charter Movement Gets the Albany Day It Wanted,” *Politico*, March 5, 2014.

p.301 クモオは州予算に関する取り決めに発表した: トーマス・カプラン、ハヴィエル・C・エルナンデス “State Budget Deal Reached; \$300 Million for New York City Pre-K,” *New York Times*, March 29, 2014.

p.301 たくさんの卒業生が一〇〇パーセントの進学率で: サクセス・アカデミーの広報担当者より。

p.306 医師から気分障害と「広場恐怖症」をともなうパニック障害だと診断された: ベルヴェー病院センターのシュプリームの医療記録より。

p.306 ブルームバーグ市長の禁煙キャンペーンによってさらに広まった: ジョセフ・ゴールドスタイン “A Cigarette for 75 Cents, 2 for \$1: The Brisk, Shady Sale of ‘Loosies,’” *New York Times*, April 4, 2011; ライアン・ジャスロー “NYC Raises Smoking Age to 21, Sets Cigarette Pack Minimum Price at \$10.50,” *CBS News*, Nov. 19, 2013.

p.307 五人の子どもと二人の継子の父親: リッチ・シャピロ、ダレ・グレゴリアン “Eric Garner’s 1-Year-Old Daughter Will Never Be Accepted into His Family: Widow,” *Daily News*, July 3, 2015; アル・ベイカー、J・デイヴィッド・グッドマン、ベンジャミン・ミュラー “Beyond the Chokehold: The Path to Eric Garner’s Death,” *New York Times*, June 13, 2015.

p.310 一二〇万ドル (前年の約二倍の価格) : ベッドフォード = スタイヴェサントのヘスターの前住居の不動産記録より。

p.310 六万四〇〇〇人を超えるニューヨークのシェルター居住者: 2014年9月、ニューヨーク市の各機関が管理する五つのシェルター・システムには64,759人が滞在しており、そのうち57,000人以上がDHSのシェルターにいた。

p.310 市に十分な数の手頃な価格の住宅がないことが(…)主な原因だ: DHSによれば、市のシェルター・システムに入る理由として2014年にもっとも多かったのは立ち退きだった。「ニューヨーク市のホームレス問題の主な要因はアメリカの他の都市部と同じで、貧困と手頃な価格の住宅の不足だ」。市長室“Turning the Tide on Homelessness in New York City”(保健福祉担当副市長室、社会福祉局, 2017年), p. 3.

p.312 だが家賃のほとんどはバウチャーで賄える: HPDの家族の記録より。

第27章

p.314 あれは九月三日のこと: ザ・テンプレートンズ “Papa Was a Rollin’ Stone,” *All Directions* (Gordy, 1972).

p.315 地区の住民の半数近くが貧困ライン以下で暮らしている: ローレル・アヴェニュー91番地があるスタテン島の国勢調査第29区は、2014年から2018年の調査で、4,674世帯のうち45%が連邦の貧困指標以下の収入で生活していた。国勢調査局全米地域調査2014-2018年のデータの分析より。

p.316 大陪審は(…)白人警官の不起訴を決定した: モニカ・デイヴィー、ジュリー・ボスマン “Protests Flare After Ferguson Police Officer Not Indicted,” *New York Times*, Nov. 24, 2014.

p.317 エリック・ガーナーを窒息死させた警官は訴追を免れ: J・デイヴィッド・グッドマン、アル・ベイカー “Wave of Protests After Grand Jury Doesn’t Indict Officer in Eric Garner Chokehold Case,” *New York Times*, Dec. 3, 2014.

p.317 バークレイズ・センターまで行進する: クリストファー・ロビンズ “Photos: Protesters Attempt ‘Royal Shutdown’ Outside Barclays Center,” *Gothamist*, Dec. 9, 2014.

p.320 ニューヨーク市にはそのような学校が三十七校あり: DOEの広報担当者アンナ・サスマン “Suspension Trap,” *Type Investigations*, April 28, 2011.

p.320 スタテン島のロレット山: デイヴィッド・バード “Grim Life of Newsboys in the

1800's Depicted in Trade Center Show," *New York Times*, Dec. 12, 1997.

第 28 章

p.325 人口一万四五〇〇人: World Population Review data, 2021.

p.326 年間三〇〇万人以上の来場者数を誇る: ツィ・イン (ジジ) ・オウ他 *2016 Theme Index and Museum Index: Global Attractions Attendance Report*, ジュデイス・ルービン編 (California: Themed Entertainment Association and AECOM, 2017), p. 31.

p.327 ミルトン・ハーシーの少年時代は問題だらけだった: ハーシーの人生に関する記述は、ミルトン・ハーシースクールの歴史に詳しいスーザン・アルジャーへの取材と、以下の二冊の書籍を基にしている。ダントニオ著 *Hershey*, ジェームズ・D・マクマホン・ジュニア著 *Milton Hershey School* (Charleston, S.C.: Arcadia Publishing, 2007). 以下も参照。 *The Man Behind the Chocolate Bar: An Introduction to Milton S. Hershey 1857-1945* (Hershey: The Hershey Story, The Museum on Chocolate Avenue).

p.327 ファニーは隣人の牛の乳を最後の一滴まで「絞り尽くす」ようになった: ダントニオ著 *Hershey*, p. 14.

p.327 ミルトンは空腹に苦しみ、まともな靴さえ履けないこともあった: 同, pp. 21-26.

p.328 貧民街ヘルズ・キッチン近くの菓子屋を出店し: アルジャーへの取材とダントニオ著 *Hershey*, p. 50.

p.328 貧しい身なりの子どもたちが: ジェイコブ・A・リース著 *How The Other Half Lives* (New York: Charles Scribner's Sons, 1890).

p.328 児童の権利を保護する連邦法は当時存在しなかった: Child Welfare Information Gateway, "About CAPTA: A Legislative History" (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省児童局発行, 2019 年), p. 1.

p.328 マンハッタンで起きた九歳児メアリー・エレンの虐待事件: メアリー・エレンの年齢に関しては諸説ある。事件に関する情報は以下を参照している。エリック・A・シェルマン、スティーヴン・ラズリッツ著 *The Mary Ellen Wilson Child Abuse Case and the Beginning of Children's Rights in 19th Century America* (Jefferson, N.C.: McFarland, 2005); レラ・B・コスティン "Unraveling the Mary Ellen Legend: Origins of the 'Cruelty' Movement," *Social*

Service Review 65, no. 2 (1991), pp. 203–23; サリー・A・ワトキンス “The Mary Ellen Myth: Correcting Child Welfare History,” *Social Work* 35, no. 6 (1990), pp. 500–503.

p.328 行政には児童虐待の防止を目的とする部門がなかった: レラ・B・コスティン、ワード・ジェイコブ・カルガー、デイヴィッド・ステイズ著 *The Politics of Child Abuse in America* (New York: Oxford University Press, 1997), pp. 207, 219.

p.328 初の非政府組織が設立され: ニューヨーク児童虐待防止協会のこと。

p.329 「とりわけ子どもたちに」: チャールズ・W・ロブデル “Hershey,” *Liberty Magazine*, Sept. 13, 1924, p. 48.

p.329 「儲けたいなら」: “Milton Snavely Hershey in Philadelphia, 1876–1882,” Hershey Community Archives, Sept. 6, 2018.

p.329 ミルクチョコレートへの安価な製造方法は知られていなかった: ダントニオ著 *Hershey*, pp. 48, 95–96.

p.329 ミルクチョコレートの製造には (…) 混ぜりにくい液体の乳化が必要だった: ダントニオ著 *Hershey*, p. 95.

p.329 ミルトンは一八九七年に所有権を一万三〇〇ドルで買い: アルジャーへの取材より。

p.329 一九〇〇年にミルトンはとうとう製法を発見し: アルジャーによれば、ハーシーは1900年に「ハーシー・バー」を初めて売り出した。二度目の発見の瞬間は一九〇三年に訪れ、ジョン・シュワルバックの助けを借りてミルクチョコレートの製法を完成させた。ダントニオ著 *Hershey*, p. 107 より。

p.329 キャラメル会社を一〇〇万ドルで売却し: ダントニオ著 *Hershey*, p. 90.

p.330 一枚五セントで販売した: 同, p. 114.

p.330 「チョコレート界のヘンリー・フォード」: ジョン・ルシウ “The Hershey Co. Prepares to Break Ties with Iconic Past to Ensure Survival” PennLive.com より。2010年6月2日公開。

p.330 キャサリン・「キティ」、スウィーニーと結婚した: ダントニオ著 *Hershey*, pp. 80–81, 145.

キャドバリー家が作った村を手本に: ジョナサン・バーチャル “Hershey’s legacy is a sweet story,” *Financial Times*, Dec. 4, 2009.

p.330 「他人に危害を及ぼす計画や職業」を禁じた: ダントニオ著 *Hershey*, p. 116.

p.330 ミルトンの究極の実験であり、誇り高い遺産になった: 「だがその学校は、彼がもっとも誇りに思う成果だった」。ダニエル・ゴールデン “What Were Milton Hershey’s Wishes? Question Hinders His Wealthy School,” *Wall Street Journal*, Aug. 12, 1999 より。

p.330 「貧しいが健康な白人の男児」: スカリン提供の 1909 年ハーシー工業学校信託契約書より。

p.330 「孤児は自分に本物の家があるという感覚を持って育つべきです」: アレクサンダー・ゴットリーブ “An Old-Fashioned Millionaire,” *Brooklyn Daily Eagle*, Feb. 17, 1929 より(この原註における「ゴットリーブ」への言及は、これ以外すべてニューヨーク大学のクリス・ゴットリーブを指す)。

p.331 四歳から八歳までの第一期生: アルジャーへの取材とダントニオ著 *Hershey* より。

p.331 一九二三年に(…)ミルトンは六〇〇〇万ドル相当の持ち株を学校に譲渡し: “M. S. Hershey Gives \$60,000,000 Trust for an Orphanage,” *New York Times*, Nov. 9, 1923.

p.331 「金を貯め込んだまま死ぬのは罪なことだよ」: ダントニオ著 *Hershey*, p. 128.

p.332 九〇〇〇人を超える子どもたちが卒業した: ハーシースクールに関する情報は、特別な言及がないかぎり 2015 年(ダサニが入学した年)時点のもので、学校の理事から提供されたもの。

p.332 学校事業に利用が限定された: ハーシー工業学校の信託契約書より。

p.332 一二億ドルと見積もられた: 財団の資金は 2020 年には 175 億 8750 万 8487 ドルに達した。2015 年と 2020 年の IRS フォーム 990 (所得税非課税団体申告書)、ミルトン・ハーシースクールと学校財団より。

p.332 ミルトン・ハーシースクールは (…) 規制監督をほとんど受けず: マーク・ローゼンマン “The Chocolate Trust: Deception, Indenture and Secrets at the \$12 Billion Milton Hershey School,” *Philanthropy News Digest*, June 5, 2015; ダントニオ著, *Hershey*, p. 250.

p.332 教育プログラムの質が下がり、入学者数が減少に転じた: ダントニオ著 *Hershey*, p. 250.

p.332 二億五〇〇〇万ドル以上を費やしてキャンパスを整備した: 同。

p.332 財団が (…) 一二〇〇万ドルでゴルフコースを購入し: ボブ・フェルナンデス “Hershey School’s Purchase of Golf Course Helped Investors,” *Philadelphia Inquirer*, Oct. 3, 2010.

p.332 州の司法長官の調査: ポール・スミス “Attorney General Announces Milton Hershey Trust and Milton Hershey School Reforms,” FOX 43, May 8, 2013、ニック・マラウスキ “Pennsylvania’s Attorney General: No penalties, but Reforms for Hershey Trust” PennLive.com より。2013年5月9日公開。

p.332 二〇〇〇人以上の子どもたちが (…) 郊外風の村で暮らしている: 学校に関する記述や説明は、ミルトン・ハーシースクールの上級理事リサ・スカリン提供のデータだけでなく、私が直接目にしたこと、ダサニ、ハーシーの寮母寮父、生徒、卒業生、理事、先生、コーチ、職員への取材に基づいている。

p.333 一万七二〇七ドルと、合衆国の貧困ラインを大きく下回る: 2015年の国勢調査のデータによれば、2015年のアメリカ合衆国における四人家族の貧困ラインは24,257ドルだった。

p.333 何百人もの生徒が里子になるのを避けて (…) この学校に入学した: スカリンへの取材より。

p.333 アメリカ随一の資金力を持つ私立学校: ボブ・フェルナンデス “No Candy-Coating Lack of Charity at Hershey School,” *Philadelphia Inquirer*, Nov. 6, 2016.

p.334 フィリップス・エクセター・アカデミーの授業料はここよりも四十五パーセント安い: 2014-15 年度のフィリップス・エクセター・アカデミーの年間授業料は 46,030 ドルだった。“Phillips Exeter Academy Financial Report 2015,” p. 6 より。

ガート校長は (…) ハーシースクールで育った: スカリンへの取材より。

p.338 タビサの隣に四十二歳の夫ジェイソンが立っている: マクイディ夫妻の生い立ちや経歴はすべて、タビサとジェイソンへの取材に基づいている。

第 29 章

p.341 ダサニはなかなか寝付けない: ダサニの在学期間中、私は彼女に会うためにハーシースクールを計 14 回訪れた。描いている場面の大半は私が直接目にしたものである。ここを含むいくつかの場面はダサニへの取材から再構成したもので、可能であればダサニの日記の記述、メッセージ、メール、写真、動画に加え、ACS のケース記録、学校の生徒や職員への取材で裏付けを取った。

p.344 二〇〇六年に入学した。(…) 父親が母親を殺そうとした事件があったからだ: ハーシーの理事より。

p.345 やっと帰ってこられた: ベアネイキッド・レディース “Call and Answer,” *Stunt* (Reprise Records, 1998).

p.347 地元の公立校も評価が高かった: 2007 年に *the Pittsburgh Business Times* は、ペンシルベニア州の公立校の 498 学区のうち 23 位にデリー郡区の学区を位置づけた。“Three of Top School Districts in State Hail from Allegheny County,” *Pittsburgh Business Times*, May 23, 2007.

p.348 十四歳のアビー・バーテルズ: アビー・バーテルズに関する情報は、裁判所記録、バーテルズの家族の弁護士との手紙のやりとり、ニュース記事、学校の上級理事への取材に基づいている。

p.348 自傷行為をするとふたりを脅した: ハーシーの上級理事が言及した以下の裁判記録より。ワートラフト対ミルトン・ハーシースクール, Civil No. 1:16-CV-2145 (Middle District, Pennsylvania, 2020).

p.348 「本学の体制では手に負えない高度な治療をおこなう必要がある」: 同。

p.348 「感情や行動に深刻な問題」：ダサニが2015年にハーシーに入学したとき、ウェブサイトによれば、学校は「感情や行動に深刻な問題」を抱える生徒の受け入れを拒否していた。2020年、生徒は「ミルトン・ハーシースクールでの学校生活や家庭生活を混乱させる恐れのある深刻な行動上の問題を抱えてはならない」という文言がウェブサイトに掲載されていた。

p.348 精神療法を受けている生徒は三分の一だけで、十四パーセントが向精神薬を服用している：スカリンへの取材より。

p.349 マクイディ夫妻とふたりの息子は、アビーのために（…）自宅を車で訪れ：ハーシーの上級理事への取材より。バーテルズの弁護士に裏づけをとった（進行中だった訴訟によれば、ハーシースクールはマクイディ夫妻がこの事件に言及することを禁止した）。

p.349 家族と暮らすようになってから、薬の服用を数日怠っていた：ハーシーの上級理事が言及したワートラフト対ミルトン・ハーシースクールの裁判記録より。

p.349 家族は学校を訴え、CNNも事件の特集を組んだ：ボブ・フェルナンデス “Judge Dismisses Case Against Hershey School in Girl’s Death,” *Philadelphia Inquirer*, March 19, 2020; “14 year old Abbie Bartels hung herself one year ago after being banned from graduation,” YouTube, July 4, 2014; *Anderson Cooper 360*, CNN, July 1, 2014.

p.349 ハーシースクールへの批判者は学校が定める規則を残酷だと非難する：ハーシースクールへの批判者でもっとも重要なのは卒業生のリック・フアドで、彼が役員を務める非営利組織 “Protect the Hersheys’ Children” は同校の改革を目標に掲げている。

p.349 十人の一人の生徒：スカリンへの取材より。

p.352 一九八二年の映画：ジョン・ヒューストン監督 *Annie* (United States: Columbia Pictures, 1982).

p.352 『アニー』の新作が公開初日を迎えた：ウィル・グラック監督 *Annie* (United States: Columbia Pictures, 2014).

p.353 パパの家出の瞬間に立ちあうのはリーリーだけだ：パパの家出に関する私の記述は、パパへの取材、家出の翌日にパパが道筋をたどった動画、パパの両親やきょうだいや校長へ

の取材に加え、リッチモンド大学医療センターの記録、ACS の調査記録、私が病院で直接目にしたパパの様子に基づいている。

p.355 ブルースキー（彼は白人だ）は（…）ステイプルトンで育ち：ロウ・ブルースキーへの取材より。

p.355 イタリア系移民が大勢暮らしていた時代のステイプルトン：アラン・S・オゼル “Stapleton,” *New York Times*, June 6, 1982、マイケル・J・フレソラ “Beyond Meatballs and Big Ang: The Italian Tale of Staten Island to Be Examined at CFA” SILive.com（2014年9月23日公開）より。

p.355 ブルースキーの学校の生徒は貧しい黒人カラテン系アメリカ人家族の子がほとんどだ：2014–15年度、〈P.S.78〉の生徒の43%が黒人、49%がヒスパニックだった。さらに全校生徒の93%以上が貧困状態で生活していた。ニューヨーク市の “Open Data” ウェブサイト opendata.cityofnewyork.us からアクセスした 2011–2016 年人口統計スナップショットデータより。2018年10月9日公開。

p.355 頭に五セント硬貨大の傷をつけて：ACS の記録より。

p.356 ACS は約五十人の生徒をつねに監視している：ブルースキーへの取材より。ACS はこの学校での進行中のケースの数を公表しなかったが、ある ACS の職員によれば、〈P.S. 78〉は 2016 年から 2019 の間に、児童虐待やネグレクトの疑いを年間で平均 31 件通報していた。いずれの年も生徒の約 25 人に 1 人に相当する数だが、この通報件数には ACS のケースに発展しなかった生徒や、入学時に ACS のケースが進行中だった生徒は含まれていない。

p.356 ニューヨーク市で二番目に多い数字だ：2015 年には、ACS の契約するニューヨーク市の予防サービスに 5 万人近くの子どもが登録されていた。ノースショアが含まれる「スタテン島第一地区」にダサニの家族は暮らしていたが、この地区では 2,062 人の子どもが予防サービスに登録されていた。2,215 人の子どもが登録されていたイースト・ニューヨークの「ブルックリン第五地区」に次いで、ニューヨーク市で二番目に多い数である。

p.356 勤務一年目で二十パーセントが離職してしまう：平均値では、ACS のケースワーカーのうちさらに 9% が 2 年目で、3.5% が 3 年目で退職している。ケースワーカーの在籍期間の中央値は 4 年から 5 年である。ACS のデータより。

p.356 警官たちは同意する: ACS と病院の記録より。

p.357 「悪いことをしたらどうなる?」: ACS の記録より。

第 30 章

p.366 「欲求五段階説」を提唱した心理学者アブラハム・マズロー: A・H・マズロー, “A Theory of Human Motivation,” *Psychological Review* 50, no. 4 (1943), pp. 370–96.

p.367 チョコレートの売上が低迷し、ハーシー社の従業員の雇用を守らなければならなかった: ミルトン・ハーシースクールのウェブサイト “Milton S. Hershey: The Man Behind the Chocolate” (2021 年 3 月 2 日閲覧)、ダントニオ著 *Hershey*, p. 197 より。

p.368 貧しい子どもはしばしば慢性的なストレスを抱えながら生きている: ヨハネス・ハウスホーファー、エルンスト・フェア “On the psychology of poverty,” *Science* 344, no. 6186 (2011), pp. 862–67; マーサ・E・ワズワース他 “An Indirect Effects Model of the Association Between Poverty and Child Functioning: The Role of Children’s Poverty-Related Stress,” *Journal of Loss and Trauma* 13, no. 2-3 (2008), pp. 156–85; キャサリン・デカルロ・サンティアゴ、マーサ・E・ワズワース、ジェシカ・スタンプ “Socioeconomic Status, Neighborhood Disadvantage, and Poverty-Related Stress: Prospective Effects on Psychological Syndromes Among Diverse Low-Income Families,” *Journal of Economic Psychology* 32, no. 2 (2011), pp. 218–30; ダニエル・ブリッソン他 “A Systematic Review of the Association Between Poverty and Biomarkers of Toxic Stress,” *Journal of Evidence-Based Social Work* 17, no. 6 (2020), pp. 696–713.

p.369 幼児七十七人の脳のスキャン画像: ジェイミー・L・ハンソン他 “Family Poverty Affects the Rate of Human Infant Brain Growth,” *PLOS ONE* 8, no. 12 (2013)、ポラックへの取材より。

p.369 慢性的なストレスは (...) コルチゾールの分泌も増やす: クリストファー・F・シャプリー、ジェームズ・R・マクファーランド、アンジェイ・スロミンスキ, “Stress-Linked Cortisol Concentrations in Hair: What We Know and What We Need to Know,” *Reviews in the Neurosciences* 23, no. 1 (2011), p. 112.

p.369 「成長思考」の提唱者として有名な: キャロル・S・ドゥエック著 *Mindset: The New Psychology of Success* (New York: Random House, 2006).

p.370 自分の知的能力が発達すると信じれば: ドウエックへの取材より。

p.370 カリはフィラデルフィア州郊外の出身だが: カリへの取材より。

p.377 ジュリーは (...) チェンバーズバーグで子ども時代を過ごし: ジュリー・ウィリアムスへの取材より。

p.378 「とても魅力的な社交性のある少女」: ダサニのハーシースクールへの在学期間中、私は彼女のカウンセリングに一度も同席せず、カウンセリングに関する会話も交わさなかった。ダサニとジュリー・ウィリアムスに関する記述は、カウンセラーとクライアントという関係が終了してから3年後の2020年におこなったダサニとジュリーへの取材による。引用箇所はジュリーの「心理カウンセリング概要」からとった。私がこの資料を受け取ったのはダサニからで、ハーシースクールからではない。

p.383 「親の役割の代行」: リンダ・バートン “Childhood Adulthood in Economically Disadvantaged Families: A Conceptual Model,” *Family Relations* 56, no. 4 (2007), pp. 329–45; Gregory J. Jurkovic 著 *Lost Childhoods: The Plight of the Parentified Child* (New York: Routledge, 2014), pp. 51, 53.

p.383 第一子が親の役割を担う場合が多い: 児童セラピストのリー・デフランシスシ・リズへの取材より。

第31章

p.385 一九三一年にできた当初は「児童裁判所」だった: ニューヨーク市行政サービス局より。

p.385 児童保護システム: 専門家の間では、虐待やネグレクトの疑いの調査や家族の監視、里親制度のような社会福祉の提供をする公的制度を指す際に「児童福祉」と「児童保護」という用語が区別なく用いられている。本書ではこの制度を、一般的な福祉システムとの混同を避けるために「児童保護」制度と呼んでいる。

p.385 「よろしいですか」と判事が口を開く: 家庭裁判所の2015年3月27日の発言記録より。

p.386 三人の主要登場人物がいる: トビス著 *From Pariahs to Partners*, p. 5.

p.386 匿名の通報が一回入れば、この保護システムに入る可能性がある：児童保護の支援者、弁護士、ACS の職員への取材より。

p.386 証拠が「優越」していれば：これはニューヨーク市の家庭裁判所で 2020 年まで使われていた証拠基準だった。基準の変化に関しては以下を参照。クリス・ゴットリーブ “Major Reform of New York’s Child Abuse and Maltreatment Register,” *New York Law Journal*, May 26, 2020.

p.387 調査五万四三〇二件：ACS 提供のデータより。

p.387 三二三二人の子どもを親から引き離すことになる：同。

p.387 その九十四パーセント以上が黒人、ヒスパニック、アジア系、「その他」のいずれかだ：同。

p.387 黒人の子どもの半数以上が十八歳になるまでに少なくとも一度は児童保護調査を受けている：2015 年国勢調査のデータ、ネグレクトと虐待事件の全米データベースを元にした研究による。キム・ヒュンイル他 “Lifetime Prevalence of Investigating Child Maltreatment Among US Children,” *American Journal of Public Health* 107, no. 2 (2017), p. 277.

p.387 黒人が白人の二・四倍だ：クリストファー・ウィルドマン、フランク・R・エドワーズ、サラ・ウェイクフィールド “The Cumulative Prevalence of Termination of Parental Rights for U.S. Children, 2000–2016,” *Child Maltreatment* 25, no. 1 (2020), p. 33.

p.387 里子は合衆国に四十二万七〇〇〇人以上いる：アメリカ合衆国保健福祉省 *The AFCARS Report: Preliminary Estimates for FY 2016 as of Oct 20, 2017* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省児童局児童・家庭援護室発行, 2017 年), p. 1.

p.387 これを「黒人女性差別」と呼んでいる：ステファニー・クリフォード、ジェシカ・シルバ＝グリーンバーグ “Foster Care as Punishment: The New Reality of ‘Jane Crow,’” *New York Times*, July 21, 2017.

p.387 「標的にされた」子：“Childhood Maltreatment Among Children with Disabilities,” アメリカ合衆国保健福祉省疾病予防管理センター, Sept. 18, 2019; アリス・ケニー “The Cinderella Phenomenon: When One Child Is the Target of Abuse,” ACEsConnection, July 10, 2020.

p.388 今六十六歳の彼はマンハッタンに生まれ: アーノルド・リム判事の経歴は、元事務員経由で提供された判事本人が書いたメールによる。

p.388 貧困に苦しむ親のほとんどが公益法律事務所に弁護を任せている: ニューヨーク市では、親は無料で四つの公益法律事務所（ブロンクス弁護団、ブルックリン弁護サービス、家族弁護センター、ハーレム地区弁護サービス）のいずれか、または選任弁護人計画室（通称 18-B パネル）に所属する民間弁護士に弁護を頼める。子どもは大半がリーガル・エイド・ソサエティから、残りはロイヤーズ・フォー・チルドレンや児童法律センター、18-B パネル（個人開業の民間弁護士）から無料で弁護士を割り当てられる。デイヴィッド・ランスナー弁護士への取材、2012 年のニューヨーク弁護士協会ガイドによる。

p.388 活動範囲はスタテン島を除く四つの行政区で: 児童虐待やネグレクトのケースで、スタテン島法律サービスが貧しい親の弁護をすることもごく稀にあるが、2015 年のシャネルのケースではこの選択肢は提示されなかった。

p.389 市から時給七十五ドルを支払われる: ニューヨーク市の公選弁護人計画室の事務官によれば、賃金は州が定め、市が支払いをおこなう。

p.390 ニューヨーク市警に二十年勤めたヨースト: ニューヨーク市警察の広報担当者より。

p.390 東ブルックリンで秘密捜査官をしていた: グレン・ヨーストの経歴は、彼への取材、公的記録、ニュース記事による。

p.398 口から血が流れている: リーリーの発作に関する証言は、ダサニやシャネルや家族への取材、病院で私が直接目にしたことを基にしている。

p.401 やがてデブラシオ市長は、この地下道と市内の七十九の溜まり場からホームレスを一掃すると宣言する: ジェニファー・フェルミノ “Exclusive: Mayor de Blasio Takes Tour of Filthy, Needle-Ridden Bronx Drug Den—Vows to Clean Up Homeless Encampments,” *Daily News*, Sept. 4, 2015.

p.405 「ちゃんとした走り方は習ったことがないが、十歳にしては足が長く」: キャサリン・パターソン著 *Bridge to Terabithia* (New York: Harper Collins, 2008), p. 4.

p.405 「成功のカギは、やり抜く力」と題した TED トークをおこなった: アンジェラ・ダックワースへの取材より。彼女の要望で、TED はタイトルを“Grit: The Power of Passion and Perseverance”に変更した。2013 年 4 月撮影。TED.com より。

p.405 二二〇〇万回以上再生され: 2021 年 2 月 23 日の時点で、ダックワースのトークの再生数は、TED のウェブサイトで 2,273 万 579 回、You Tube で 756 万 4020 回だった。

p.406 ダックワースによれば、成功には才能や IQ だけでなく: ダックワースへの取材、アンジェラ・ダックワース著 *Grit: The Power of Passion and Perseverance* (New York: Scribner, 2016)より。

p.406 「戦略的自己統御」の予備研究として: ダックワースへの取材より。

p.406 「私の意見では、ハーシー氏こそ」: ミルトン・ハーシースクール “‘Grit’ Presentation at Milton Hershey School” YouTube より。2014 年 8 月 14 日公開。

p.406 「自分の仕事を愛せなければ、成功しているとは言えません」: ロブデル “Hershey,” p. 48.

p.407 「仕事に取り組むときには、闘いに勝つまで逃げてはいけません」: 母親を引き合いに出して述べたミルトン・ハーシーの言葉。カーター・ニコルソン “Hershey—the Friend of Orphan Boys,” *Success*, October 1927 より。

p.407 ミルトンはこれを「人格形成」と呼んだ: ハーシー・コミュニティ・アーカイブより。

p.407 シアトル・シーホークスでオフENSEイブタックルを務めている: 2017 年、ギリアムはシーホークスからサンフランシスコ 49ers へ移籍した。“Offensive Lineman Garry Gilliam Signs With San Francisco 49ers,” *Seahawks.com* より。2017 年 4 月 18 日公開。

p.408 十三歳になる前にプロジェクトを出た子のほうが良い人生を送っていた: ラジ・チエティ、ナサニエル・ヘンドレン、ローレンス・カッツ “The Effects of Exposure to Better Neighborhoods on Children: New Evidence from the Moving to Opportunity Project,” *American Economic Review*, 106, no. 4 (2016).

p.408 「始まりというのは、その子の将来に計り知れない影響を与えます」：1924年4月の *McClure's Magazine* にこの引用部の発言が見られる。

p.408 「やり抜く力とは人生をマラソンのように送る事です」：アンジェラ・ダックワース“Grit: The Power of Passion and Perseverance,” TED.com より。2013年4月公開。

第32章

p.412 ウォードは、七歳のときにトレントンの家を出て：フォナティ・ウォードへの取材より。

p.415 言語学者がコード・スイッチングをする人間を初めて研究したとき：エリカ・J・ベンソン “The Neglected Early History of Codeswitching Research in the United States,” *Language & Communication*, 21, no. 1 (2001), p. 28.

p.418 最近「アヘン剤を使った」と認め：マウントサイナイ・ベス・イスラエル病院のシャネルの記録より。

p.419 ACSと契約してこの役目を果たしているのが、六十三の非営利組織である：2015年、ACSは57の非営利組織と契約し、180の家族向け予防サービスプログラムを提供していた。こうした非営利組織の一部は、居住型プログラムや治療的里親のような里親サービスもおこなっていた。重複を排除すると、合計63の非営利組織が、ACSに予防サービスか里親サービス、あるいはその両方を提供していた。ACSの職員より。

p.419 ほとんどの家族はサービスを完了して：70~80%の家族は予防サービスを無事に完遂することで、ひとつ以上の目標を達成する。ACSのデータより。

p.419 ニューヨーク市の里子の人数はここ二十年で著しく減少している：ACSのデータより。

p.419 予防的支出は三倍近く増加した：同。

p.419 ACSのこうしたプログラムへの投資は、国が参考にすべきものとして称賛されている：ゴットリーブと親の支援組織ライズを立ち上げたノラ・マッカーシーへの取材より。2011年、ACSはエビデンスに基づく11の予防ケアモデルの実践を始めたが、これは全米最大規模のものであり、「児童福祉分野の地平を開く取り組み」だった。フェルナンド・クララ、カマリイ・イエア・ガルシア、アリソン・メッツ著 *Implementing Evidence-Based Child*

Welfare: The New York City Experience (New York: Casey Family Programs, 2017), p. 7 より。

p.419 「危機に陥る可能性のある家族の安定」: ACS のウェブサイト“Description & History”より。2021年3月2日閲覧。

p.420 二〇一五年に ACS は里親制度へ約五億三二〇〇万ドルを支出していて: 5億3200万ドルは、里親サービスへの支出 (4億9406万ドル) と里親支援への支出 (3億7546万ドル) の合計を四捨五入した額である。 *Report of the Finance Division on...the Fiscal 2017 Preliminary Mayor's Management Report for the Administration for Children's Services* (ニューヨーク, ニューヨーク市議会発行, 2017年), p. 3 より。

p.420 ACS の予算の約四十四パーセントは連邦政府の財源に依存している: *Report on the Fiscal Year 2015 Executive Budget for the Administration for Children's Services* (ニューヨーク, ニューヨーク市議会発行, 2014年), p. 2.

p.420 連邦政府は家族を守るよりも、家族 (...) を分離するプログラムに十倍もの資金を拠出している: 全米児童保護改革連合の事務局長リチャード・ウェクスラーへの取材より。彼は *Title IV-E Spending by Child Welfare Agencies*, Child Trends, December 2018, p. 2 を引用した。

p.420 孤児は路上で発見されるという理由で「ファウンドリング」と呼ばれていた: Oxford English Dictionary, 2021.

p.420 「この子を保護してください」: グレン・コリンズ “Glimpses of Heartache, and Stories of Survival,” *New York Times*, Sept. 3, 2007.

p.420 カトリック版の孤児列車運動を生み出し: ニューヨーク歴史社会博物館・図書館 “Guide to the Records of the New York Foundling Hospital 1869–2009”より。ニューヨーク大学 NYU Digital Library Technologies から閲覧。2019年12月5日公開。

p.421 修道女は「人種的に曖昧な」赤ん坊をアメリカ自然史博物館に連れて行き: バーンスタイン著 *Lost Children of Wilder*, p. 149; デイヴィッド・ロズナー、ジェラルド・マーコビッツ “Race, Foster Care, and the Politics of Abandonment in New York City,” *American Journal of Public Health*, 87, no. 11 (1997), pp. 1844–49.

p.421 黒人の赤ん坊は養子にとってもらえる可能性が著しく低かった: ロズナー、マーコビッツ “Race, Foster Care,” p. 1848.

p.421 「すべての子どもや大人や家族に最大の可能性を発揮する機会を与える」: ニューヨーク・ファウンドリングのウェブサイト“[Our Why](#)”より。2021年3月2日閲覧。

p.421 ファウンドリングは、ニューヨーク市で二番目に大きい里親斡旋組織であり: ACSのデータより。

p.421 年間一億三三〇〇万ドルもの予算: 2015年のIRSフォーム990（所得税非課税団体申告書）、ニューヨーク・ファウンドリング “Total expenses,” p. 1より。

p.423 知的障害や深刻な情緒障害などを抱える児童が通っている: ニューヨーク市教育局のウェブサイト“[District 75](#)”より。2021年3月2日閲覧。

p.423 先生に止められて「床に組み伏せられ」: スタテン島大学病院のカリクの記録より。

p.423 「悲嘆反応（深く悲しむこと）が見られます」: 同。

p.429 カリクが突然倒れる: この記述は、ACSの記録、カリクと両親ときょうだいへの取材に基づいている。これに続くカリクの病院での場面は、私が直接目にしたこととACSの記録を基にしている。

p.429 マリファナと違って薬物検査に引っかかりにくく: “Synthetic Cannabinoids (K2/Spice) DrugFacts”アメリカ合衆国保健福祉省国立衛生研究所・国立薬物乱用研究所ウェブサイトより。2020年6月改訂。

p.433 計五十三回の薬物検査を受け、結果は毎回陰性だった: シュプリームのもディケイドと薬物治療の記録、シュプリームへの取材より。2013年10月から2015年5月まで18ヶ月半にわたって陰性結果が出続けた。

p.434 家族をばらばらにするより片方の親を追い出すほうが、子どもたちに心の傷が残りにくい: ACSの職員とゴットリーブへの取材より。

p.438 昨年ニューヨーク市は一〇〇万ドル以上をかけてオーバーンを改修し: FOIL に基づく請求で提供された DHS のデータより。

p.438 一日利用するために一〇一ドルの保証金が要る: リフトの広報担当者より。

p.439 我が子を里子に出した過去があり: バーバラへの取材より。

p.439 「捻髪音をともなう膝蓋上囊水腫が認められ」:病院のチャンネルの記録より。

p.440 参加型作品を作って設置して、公共空間を活性化する」: ステレオタンクのウェブサイトによれば、ステレオタンクはマルセロ・エルトルテグイとサラ・ヴァレンテが立ち上げたデザインスタジオ。

p.444 毛髪検査では直近九十日間の薬物使用を検出でき: ジェンナーロ・セルバッジ、アントニオ・G・スパグナーロ、アンナ・エランダ “A Review of Illicit Psychoactive Drug Use in Elective Surgery Patients: Detection, Effects, and Policy,” *International Journal of Surgery* 48 (2017), pp. 161–62.

p.445 血液から取り込まれた薬物の痕跡である代謝物が調べられる: パスカル・キンツ、アルベルト・サロモーネ、マルコ・ヴィンチェンティ編 *Hair Analysis in Clinical and Forensic Toxicology* (London: Academic Press, 2015), pp. 6–7, 47–48.

p.445 「髪の色による偏り」: ジェームズ・A・ブルラン “Hair Pigmentation Literature Review” (presentation to the Drug Testing Advisory Board Meeting, Rockville, Md., Sept. 3, 2014), p. 6; チャド・ランドルフ・ボルヘス “Roles of Drug Basicity, Melanin Binding, and Cellular Transport in Drug Incorporation into Hair” (ユタ大学薬理・毒物学分野の2001年の博士論文).

p.445 一般に黒人は毛髪のメラニン量が多く: リア・サミュエル “Hair Testing for Drug Use Gains Traction,” *Scientific American*, Nov. 1, 2016.

p.447 マリソルはクイーンズで育った:マリソル・キンテロはダサニの家族のケースについて話すことをACSから禁止されていたが、自身のこれまでの人生と仕事に関しては教えてくれた。

p.449 六十六のバス停に停まる M15: M15 は MTA のイースト・ハーレムとサウス・フェリーを結ぶルート。

p.450 「アヘン剤から足を洗いたいんです」: マウントサイナイ・ベス・イスラエル病院のチャンネルの記録より。

p.453 なにもかもチャンネルの名義だ: チャンネルのアパートメントの賃貸契約、人的資源局の彼女の記録、コン・エディソンの彼女の記録より。

p.453

貧しい家族が児童保護システムに入ると、これと正反対のことが起こりやすい: ゴットリーブへの取材、マッカーシーを含む児童保護の専門家への取材より。

p.453 「貧困家庭が苦難に陥っている構造的な原因を隠蔽してしまう」: ドロシー・ロバーツ “Why Child Welfare Is a Civil Rights Issue,” *The Family Defender* 3, no. 2 (2009), p. 7.

p.454 総工費一四五〇万ドルの施設は瞑想室やバスケットボールコートを備え: “Stephen’s Legacy Lives On,” LIHerald.com (2009年12月2日公開)、ニューヨーク・ファウンドリング “Mother and Child Program”より。2021年2月23日閲覧。

p.455 ジョンが体調を崩してシュプリームに電話をかけていることを、彼は知る術がない: ジョンは体調不良で家に行けない旨を電話したと語ったが、これはファウンドリングの記録に残っていない。

p.456 午前七時五十二分にシュプリームは (…) ブロード・ストリートの〈アイランド・フード・マーケット〉に入る: この記述は、シュプリームへの取材、警察と刑事裁判所の記録に基づいている。

第 34 章

p.459 ピクサーの新作アニメ『インサイド・ヘッド』 the new Pixar animation *Inside Out*: ピート・ドクター監督 *Inside Out*, (United States: Walt Disney Studios Motion Pictures, Pixar Animation Studios, 2015).

p.461 ACS は逮捕に気づいていないようだ: ACS とファウンドリングの家族の記録の中に、ケースワーカーがシュプリームの 2015 年 6 月 20 日の逮捕を認識していたことを示す事実

はない。2015年10月7日の家庭裁判所の発言記録によれば、ACSは三ヶ月以上経ってから逮捕の事実を知った。

p.461 「八人の子がいるシングルファーザーで、食べるものがない！」：人的資源局のシュプリームの記録より。

p.461 福祉機関は法律で定められているとおり、緊急の食料助成金を支給すべきだ：ニューヨーク州法規集第351条8(c)(3)、第351条8(c)(4)より。

p.462 シュプリームの申請は却下される：人的資源局の広報担当者が言うには、シュプリームの申請が却下されたのは「受給要件を満たしていなかったため」だ——すなわち、彼は「連邦と州の法律で定められた」薬物使用評価への参加義務を果たしていなかった。たしかに彼が薬物使用評価を一回欠席したのは事実だが、これは食料援助の緊急申請が却下される理由にはならない。人的資源局は以下のように方針 #12-29-ELI を定めているからだ。「申請を受けた場合、ソーシャルサービスの提供機関は報告された緊急の状況を評価しなければならない。即座に必要なものがあれば対処しなければならない、可能ならば同日中に解決しなければならない」。

p.463 今はホームレスのシェルターで生活している。生まれた地区にあるシェルターで：シャネルが割り当てられたのは HELP 女性センターで、ブルックリンのウィリアムズ・アヴェニュー116番地にあった——ここはかつて〈P.S. 63〉だったが、1980年に閉校した。デイヴィッド・バード “Shelter for Men Opened by City at Brooklyn Site,” *New York Times*, Oct. 22, 1981 より。

p.464 ACS のケースワーカーは平均で十近くの家族を同時に担当する： *Child Welfare Indicators Annual Report 2015* (ニューヨーク, ニューヨーク市議会発行, 2015年), pp.1-4.

p.464 マリソルは約二五二時間の残業をし：ニューヨーク市の “Open Data” ウェブサイト opendata.cityofnewyork.us. からアクセスした市の賃金データ (2015年) より。2020年11月13日閲覧。

p.464 ACS は残業代だけで合計二九〇〇万ドル以上の支出をすることになる：会計年度で2015年から2019年の間に、ACSの時間外労働への支出は2015年の2950万ドルから2019年の6000万ドルへ倍増した。市の財務部が出した2021年の報告書の分析と *Fiscal 2020 Preliminary Mayor’s Management Report for the Administration for Children’s Services* (ニューヨーク, ニューヨーク市議会発行, 2020年) p. 14 による。

p.465 ファウンドリングの社長兼経営最高責任者は、この年だけで五七万二九〇ニドルの報酬をもらっている: 2015 年のニューヨーク・ファウンドリングの IRS フォーム 990 (所得税非課税団体申告書) より。

p.466 映画『ドリームズ・カム・トゥルー』: ダグ・アッチソン監督 *Akeelah and the Bee*, (United States: Lionsgate Films, 2006).

p.465 白人至上主義者が (….) 九人の黒人信徒を射殺した a white supremacist had gunned down nine Black worshippers: デビー・エリオット “5 Years After Charleston Church Massacre, What Have We Learned?” [NPR.com](http://www.npr.com) より。2020 年 6 月 17 日公開。

p.465 教科書が南北戦争で奴隷が果たした役割を軽視し: ジョー・ハイム “What Do Students Learn About Slavery? It Depends Where They Live,” *Washington Post*, Aug. 28, 2019.

p.465 地理の教科書は奴隷はアフリカから「移民」としてやってきた「労働者」だと記述する: Michael Schaub, “Texas Textbook Calling Slaves ‘Immigrants’ to Be Changed, After Mom’s Complaint,” *Los Angeles Times*, Oct. 5, 2015.

p.468 アニメ番組『ダニエル・タイガー』: アンジェラ・サントメロ監督 *Daniel Tiger’s Neighborhood*. 9 Story Media Group 制作の番組販売で、2012 年 9 月 3 日に PBS Kids で放映。

p.469 最後の薬物検査 (….) はすべて陰性だった: スタテン島大学病院メタドン維持療法プログラムの薬物治療カウンセラーは、シャネルに前週の検査結果を見せた。私もその場に同席していた。

p.470 マリソルはこのことを証明する記録を持っていない: シャネルの記録を確認するためには、ACS は彼女の署名入りの「医療保険の携行性と責任に関する法律 (HIPAA)」に関する申請書をシャネルのクリニックに提出する必要がある。6 月 24 日、シャネルは HIPAA の用紙に署名をし、クリニックがファウンドリングの予防ワーカーに情報を提供する許可を出した。7 月 6 日にシャネルはマリソルに会ったが、彼女は (シャネルが録音していた会話の中で) HIPAA に関して一切言及しなかった。一週間後の 7 月 13 日の出廷日の朝、マリソルはシャネルに必須同意事項に署名されていなかったと伝えた。

p.471 ニューヨーク市は不法死亡訴訟に対して五九〇万ドルを支払うことで、ガーナーの遺族と和解する: J. David Goodman, “Eric Garner Case Is Settled by New York City for \$5.9 Million,” *New York Times*, July 13, 2015.

p.471 ガーナーを窒息死させた警官は今なお警察署で働いている: ダニエル・パンタレオはガーナーの死後 5 年近く勤務を続けたのち、2019 年に解雇された。Ashley Southall, “Daniel Pantaleo, Officer Who Held Eric Garner in Chokehold, Is Fired,” *New York Times*, Aug. 19, 2019 より。

p.476 ジョナサンとメリッサのエイカーズ夫妻には、それよりも深い知識の源がある: エイカーズ夫妻の生い立ちや経歴はすべて、ジョナサンとメリッサへの取材に基づいている。

p.477 〈ローマン・ローズ〉のようなギャング: ジョナサン・エイカーズへの取材、グレッグ・ドナルドソン “Hoops in the Hood Brings Brownsville a New Concept,” *New York Times*, Aug. 8, 1993 より。

第 35 章

p.482 『夜と霧』: ヴィクトール・エミール・フランクル著 *Man's Search for Meaning* (Boston: Beacon Press, 2006).

p.484 高さ一二三メートルのトート・ヒルは、ニューヨーク市の五区の最高標高地点で: アメリカ合衆国内務省アメリカ地質調査所より。

p.485 ひとりの女性が飛び込み自殺をした: “Woman Killed After Plunging in Front of Moving Subway Train in Brooklyn,” *Daily News*, Aug. 30, 2015.

p.487 ロイヤーズフォード生まれの十四歳の白人で: アシュリーへの取材より。

p.489 ナタリヤ・トレホス (リンクトインのプロフィール欄の仕事一覧に「地元の法執行官事務所と連携した立ち退きの調整」とある): 2020 年 11 月 23 日に [LinkedIn.com](https://www.linkedin.com/in/nataliya-trhos/) からアクセスしたナタリヤ・トレホスの LinkedIn のプロフィールより。

p.489 シャネルの賃貸契約書に、大家は「GRI89 ローレル合同会社」と記載されている: 住宅保全開発局の記録より。

p.489 ウォール街で働く三十代の銀行役員で: “Rising Stars 2020,” *Private Debt Investor*, Oct. 1, 2020.

p.489 ローレル・アヴェニュー九十一番地 (...) を購入した: ニューヨーク市スタテン島 562 街区 3 区画における 2013 年 6 月 4 日の資産譲渡税の書類より。

p.489 市場価値は五年間で七十パーセント上昇することになる: 2013 年にこの物件は \$35 万 1500 ドルで売られた (リッチモンド郡事務所より)。2018 年に資産価値は 59 万 6000 ドルまで上昇していた (ニューヨーク市金融局の市場価値データより)。

p.490 マリソルの仕事である初期調査: ACS のデータより。

p.490 ACS が過ちを犯した: ランスナー、ゴットリーブ、リンダ・ロウの分析、ファウンドリングの家族ケースのスーパーバイザーによる。取材の中で ACS の職員は、セラピー中心の予防プログラムであっても、政府の給付金の利用や住居の問題の改善といった家族の具体的な要求には応じなければならぬと語った。

p.491 始まりは二〇一五年八月二十九日: 一連の出来事の記述は、シュプリームや子どもたちへの取材、彼らのメッセージ履歴、私が直接目にしたこと、ACS やファウンドリング、教育局、人的資源局、住宅保全開発局の家族の記録、コン・エディソンと矯正局のチャンネルの記録に基づいている。

p.492 市の住宅保全課に七つの苦情を申し立てる: シュプリームの 311 の通話記録、住宅保全開発局のチャンネルの記録より。

p.492 またしても、福祉事務所はシュプリームへの支援を拒む: 2015 年 9 月 14 日、人的資源局のケースワーカーは、シュプリームによる「フードスタンプ」(補助的栄養支援プログラム、略称 SNAP) の緊急申請を却下した。人的資源局のシュプリームの記録では、ケースワーカーは「今月は SNAP の定期給付を受け取れます」と書き、子どもたちのフードスタンプは人的資源局の 11 桁の「ケース番号」に入金されると述べた。ケース番号は福祉援助の全受給者に付与されるものだ。ところが、そのケースワーカーが 9 月 14 日に言及した番号はチャンネルのケースに紐付けられており、シュプリームはフードスタンプを三ヶ月間受け取れなかった。人的資源局の担当者によれば、シュプリームの公的扶助の申請がようやく受理されたのは、二週間後の 2015 年 9 月 30 日のことだった。

p.493 デビ・ローズ様、はじめまして：シュプリームからデビ・ローズの議員事務所へのメールより。2015年9月16日午後5時39分送信。この件について質問すると、ローズ議員の広報担当は、一日何百通とメールが届くためシュプリームのメッセージを見た記憶はないと回答した。

第36章

p.495 「遡及分の」フードスタンプ計三八一二ドル：人的資源局の記録より。

p.495 「危険に満ちた」：家庭裁判所の2015年10月6日の発言記録より。

p.495 シュプリームが薬物治療プログラムに毎回欠かさず参加していた：ACSの記録より。

p.495 十月六日、シュプリームの運命が決まる：ここに至るまでと10月6日の出来事の記述は、シュプリームとシャネルと子どもたちへの取材、アヴィアナとナナによる記録文、2015年10月6日に私が直接目にしたこと、家庭裁判所の文書と発言記録、ACS、ファウンドリング、人的資源局、住宅保全開発局、教育局の記録、シュプリームの薬物治療と犯罪の記録に基づいている。

p.497 「当面の課題は安全確保です」：2015年10月16日の家庭裁判所の発言記録より。

p.504 今月この施設に入った三六四人の一員になる：FOILの請求で開示されたACSのデータより。

p.504 一九三〇年代に里子になったスコペッタ：サム・ロバーツ “Nicholas Scoppetta, Former Foster Child Who Led Child Welfare Agency, Dies at 83,” *New York Times*, March 24, 2016.

p.504 施設で最初の晩を過ごし：NPRのインタビュー番組 *Fresh Air* でテリー・グロスに答えたニコラス・スコペッタの発言より。1997年7月22日放映。

p.504 「心に傷が残った出来事のひとつが」：ジュリー・クラコフ “Foster the Children: Nicholas Scoppetta Makes Sure the Kids are Alright,” *Observer*, Observer Media, Oct. 24, 2013.

p.505 スコペッタは (…) ACS の初代長官に任命された: スティーヴン・リー・マイヤーズ “Advocate with a Heart,” *New York Times*, Jan. 12, 1996.

p.505 スコペッタの名を冠したこの施設は、今や恐怖の場所になって: ヘザー・ホランド “Kids Went Missing 1,600 Times from One City-Run Children’s Facility,” *DNAinfo*, Sept. 15, 2014.

暴れ出してしまう子は、通りを挟んで向かい側のベルビュー病院に移送されて治療を受け: マイケル・フィッツジェラルド “Is New York State Responsible for Some Long Stayers at the City’s Temporary Foster Home? City Child Welfare Commissioner Thinks So,” *The Imprint*, March 28, 2019; Susan Edelman and Rachel Petty, “‘Disturbed’ kids at city foster-care center ‘drugged’ at hospital,” *New York Post*, July 31, 2016.

p.505 ときには手錠をかけられて: ホランド “Kids Went Missing 1,600 Times.”

p.505 施設からの脱走は一六〇〇回ほど起きている: 同。

p.507 「どうぞこちらへ」と彼女は言う。「ケースの準備ができています」: シュプリームへの取材より。この発言の後で彼が逮捕されたことは、家庭裁判所のリム判事の発言が裏付けている。

p.509 二〇一五年に里子になった約一万五〇〇〇人の仲間入りをする: 2015年、ニューヨーク市の里子の人数は一日あたり平均 11,098人で、計 14,949人が少なくとも一日は里子になった。ACSのデータより。

p.510 合計十四の違反を発見する: 家族の賃貸物件の立ち入り調査と違反の指摘は、住宅保全開発局の条例執行課がおこない、同局の代表者が事実認定した。

第 37 章

p.514 『不屈の男 アンブローケン』: アンジェリーナ・ジョリー監督 *Unbroken*, (United States: Universal Pictures, 2014).

p.514 いかだで四十七日間漂流した後、日本の海軍の捕虜になった: ローラ・ヒレンブランド著 *Unbroken: A World War II Story of Survival, Resilience, and Redemption* (New York: Random House, 2010).

p.515 まずは当たり障りのない会話が始まり：この場面はダサニへの取材と ACS の記録から再構成した。

p.522 「どっちもぶっ殺してやる、絶対にな」：ACS の記録とシュプリームへの取材より。

p.523 リンチは一七一二年にバージニア州にやってきたイギリス人の奴隷所有者で：ウィリー・リンチ著 *The Willie Lynch Letter and the Making of a Slave* (Ravenio Books, 2011); ウィリアム・ジェラニ・コブ “Is Willie Lynch’s Letter Real?” Ferris State University, May 2004.

p.523 一九九五年の一〇〇万人大行進におけるルイス・ファラカンの演説：メリーランド大学 Voices of Democracy の “Minister Louis Farrakhan, ‘Million Man March,’ (16 October 1995)” より。2021 年 2 月 10 日閲覧。

p.523 二〇一五年のケンドリック・ラマーのアルバム：ケンドリック・ラマー “Complexion (A Zulu Love),” *To Pimp a Butterfly* (Top Dawg Entertainment, Aftermath Entertainment, Interscope Records, 2015).

p.529 なにがなんでも守るべきものだ：ダサニとシャネルへの取材、イライジャ・アンダーソン著 *Code of the Street: Decency, Violence, and the Moral Life of the Inner City* (New York: W. W. Norton, 1999) より。

p.529 パルマイラは労働者が暮らす小さな町で：2015 年国勢調査のデータより。

p.532 ニュージャージー州の郊外の生まれで、現在五十六歳の彼女は：ロウの生い立ちと経歴に関する情報はすべて彼女への取材から得た。

p.532 人生で少なくとも十数人のケースワーカーと接してきた：ACS の記録より。

p.535 ケースワーカーに聞こえない場所で、シャネルはナナに近寄る：私がこの面会に同席できたのは、シャネルとシュプリームが希望を出してくれたからだった。ふたりは私を「友人」と紹介したが、ファウンドリングのスーパーバイザーのロウの記録には「報道記者」とも書かれていた。この日から二、三ヶ月で、ACS とファウンドリングは私が面会に同席することを禁じたが、ロウはケースファイルに、私と「子どもたちとの絆はとても強い」と記し、「エリオット氏は本の執筆をしているが、ニューヨーク・ファウンドリングは巻き込まれることを一切認めていない」と付け加えている。

p.536 豊富な資金源があることはめったにないし、たとえ金があっても里親の仕事は楽ではない:2018年の研究では、ニューヨークの里親委託率を54パーセントまで増やすことが推奨されている。アン・ハクスン他 “Estimating minimum adequate foster care costs for children in the United States,” *Children and Youth Services Review* 84 (2018), p. 62 より。

p.536 里親の報酬はこの分類に応じて決定され: 里子の分類やニューヨーク市の里親に支払われる報酬、里親斡旋機関に与えられる財源に関する情報はすべて ACS から提供された。

p.537 家庭管理プログラムには、四七〇世帯しか登録されていない: ACS のデータより。

p.537 こうしたサービスがあると親に知らせるのは ACS の役割だ: 「家事代行サービスの利用に値する個人あるいは家族の中の信頼できる大人に、ケースワーカーはそうしたサービスの内容を通知しなければならない」。ニューヨーク州法規集第 18 編第 460 条 2 より。

p.539 一九九七年にクリントン大統領政権下で成立した児童福祉法: Katharine Q. Seelye, “Clinton to Approve Sweeping Shift in Adoption,” *New York Times*, Nov. 17, 1997.

p.539 犯罪防止法は、後に大統領選挙戦に出馬するヒラリー・クリントンやジョー・バイデンの悩みの種になった: Todd S. Purdum, “The Crime-Bill Debate Shows How Short Americans’ Memories Are,” *The Atlantic*, Sept. 12, 2019.

p.539 児童が里親のもとで十五ヶ月暮らせば: 連邦法によれば、子どもが「直近の 22 ヶ月で 15 ヶ月間、州の責任下で里親に養育されている場合」または裁判所がしかるべき決定を下した場合、わずかな例外を除いて、州当局は親権終了手続きを進めなければならない。Adoption and Safe Families Act of 1997, 42 U.S.C. § 1305 note (1997) より。

p.539 五十万人を超える子どもが里親のもとで暮らす時代: *The AFCARS Report: Final Estimates for FY 1998 through FY 2002* (12) (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省児童局児童・家庭援護庁発行, 2006 年), p. 1.

p.539 現在では里子の数は二十四パーセント減少している: 1998 年、全米の 7140 万人の子どものうち 55 万 9000 人が里親に養育されていた。2015 年には、その数は 42 万 7444 人まで減少した (子どもの総数は 7360 万人)。1998 年と 2015 年のアメリカ合衆国の児童人口のデータは以下を参照。“POP1 Child Population: Number of Children (in Millions) Ages

0–17 in the United States by Age, 1950–2019 and Projected 2020–2050” (Federal Interagency Forum on Child and Family Statistics, accessed through childstats.gov). 1998 年と 2015 年の里親養育児童のデータは以下を参照。 *The AFCARS Report: Final Estimates for FY 1998 through FY 2002 (12)*, and *The AFCARS Report: Preliminary FY1 2016 Estimates as of Oct 20, 2017 (23)* (ワシントン D.C., アメリカ合衆国保健福祉省児童局児童・家庭援護庁発行, 2017 年), p. 1.

p.539 六万二〇〇〇人以上の児童が孤児 (…) になっている: *The AFCARS Report: Preliminary FY1 2016 Estimates as of Oct 20, 2017*, p. 1.

第 38 章

p.541 法と秩序の女神テミス: 古代エジプトではマアト、古代ローマではユスティティアと呼ばれていた。ランディ・ケネディ “That Lady with the Scales Poses for Her Portraits,” *New York Times*, Dec. 15, 2010 より。

p.545 こんなふうにウィップできないだろ: iAmDLOW, “Do It Like Me Challenge prod by @NunMajorBeats,” YouTube より。2015 年 9 月 29 日公開の動画。

p.548 午頃、ライン・アヴェニューを六十三歳の白人女性が At around noon, a sixty-three-year-old white woman: この襲撃に関する記述は、カリクへの取材に加え、警察、家庭裁判所、ACS の記録、ニュース記事に基づいている。

p.549 報道によれば、襲撃者には黒人のティーンエイジャーが多い: トマス・ソーウェル “Thugs Target Jews in Sick ‘Knockout’ Game,” *New York Post*, Nov. 19, 2013、Associated Press, “Deadly ‘Knockout’ Game Gains National Prominence,” *Syracuse.com* より。2013 年 11 月 22 日公開。

p.549 アル・シャープトン師が失神ゲームを非難し: ジョーゼット・ロバーツ、マイケル・ガートランド “Al Sharpton Condemns ‘Knockout’ Attacks,” *New York Post*, Nov. 23, 2013.

p.549 “婦女暴行で『失神ゲーム』への不安高まる、”: エディ・ダンナ “Watch: Assault on Woman Prompts ‘Knockout Game’ Concerns,” *Staten Island Advance*, Nov. 25, 2015.

p.550 「手伝いもたくさんしてくれる、礼儀正しくて」: ACS の記録より。

p.552 二〇一五年十二月七日、ひとりの刑事が（…）カリクが通うスタテン島の学校を訪れる：カリクの逮捕に関する証言は、カリクとロウへの取材、警察、ACS、ファウンドリングの記録に基づいている。

p.554 チーフ・キーフという十代のラッパーで（…）シカゴで育った：ダン・ハイマン “Chief Keef vs. Chicago: Why the Rapper Has Become Public Enemy No. 1,” *Billboard*, July 30, 2015.

p.554 復活祭の週末に四十五人が銃撃により死亡または負傷した事件：パル・リリアス “Feds Step In After 45 People Shot in Chicago over Easter Weekend,” *Time*, April 22, 2014.

p.554 「ニューヨークをかつとばす」：チーフ・キーフ “Faneto,” *Back from the Dead 2* (Glo Gang, 2014).

p.555 ジョーンおばさんは環境の変化にともなう困難に直面している：ジョーンへの取材、ファウンドリングの記録より。

p.555 「アドバンス」紙は（…）アヴィアナの写真入り記事を掲載する：“Dreyfus Intermediate Students Pay It Forward,” *SILive.com* より。2016年1月15日公開。

p.562 シャネルとシュプリームは薬物で痛みを和らげる：一ヶ月前の2015年12月、シュプリームはマリファナ検査で陽性になった。2016年3月に彼は薬物依存治療センターに入ったが、これはシャネルがオピエート検査で陽性反応が出たのと同じ月だった。同年8月、家庭裁判所の発言記録によれば、シャネルは薬物カウンセラーにヘロイン吸引使用歴は2年だと語った。彼女はこの発言を否定している。

第39章

p.565 猛烈な吹雪：“East Coast Digs Out from Epic Blizzard,” *CBS News*, Jan. 24, 2016.

p.565 三週間前に逮捕され、コカイン所持の容疑で起訴された：刑事裁判所のエルヴィス・バード・ジュニアの記録より。

p.567 身体的にも精神的にも妻を「長年にわたって」虐待している：民事裁判所のシェリー・バードの記録より。

p.567 ある幼児が家の敷地内で溺死した：マーク・サントラ、ネイト・シュウェーバー “Drowned Boy, 3, Climbed Fence to Get Into a Pool,” *New York Times*, July 25, 2014.

p.567 うつ伏せで浮かんでいる息子を発見した: 同。

p.567 州の調査官がミセス・バードの託児資格を取り消した: グレック・B・スミス, “Exclusive: New York City Day Care Violations Can Slip Through the Cracks, Leading Parents to Think Their Kids Are Safer than They Are,” *Daily News*, Feb. 11, 2016.

p.567 エルヴィス・バードが帰宅する: この記述は、ACS とファウンドリングと警察の記録、シュプリームとアヴィアナとナナとシェリー・バードへの取材に基づいている。ACSによれば、エルヴィス・バードは「アヴィアナの鼻先に顔を寄せて、なめた真似をするなど発言したこと」、家具を壊したこと、ナナを押しつけたかもしれないことは認めたが、悪態をついたことは否定した。息子のエルヴィス・ジュニアは、家に入ったのはその事件が起きた後だったと ACS に証言した。ACS は監督保護が不適切だったと結論づけた。ACS の調査記録より。

p.575 「子どもたちがうるさいせいで声が聞こえないよ」: 裁判所のカリクの記録より。

p.575 女性の「軽蔑した」口調が「癩に障った」: カリクの手紙より。

p.575 食料店の前で女性を殴って金を盗む: 裁判所のカリクの記録より。

p.575 「理由なく殴って鼻血を出させた」: ACS の記録より。

p.575 カリクにはふたつの人格があるみたいです、と里親はケースワーカーに話す: ACS の記録より。

p.575 カリクはハイラン・ブルバードでバスを降りて: 裁判所のカリクの記録より。

p.575 三件の暴行罪と六件の強盗関連の罪に問われ: 裁判所のカリクの記録より。

p.575 〈ボーイズタウン〉の職員は、カリクの部屋で剃刀を発見した: ACS の記録より。

第 40 章

p.588 〈ruptura〉は “rupture” の語源となったラテン語だ: “rupture” という単語は、15 世紀に中期フランス語もしくはアングロノルマン語から英語に入ってきたが、さらに元をた

どれば *ruptūra* というラテン語に行き着く。ケンブリッジ大学古典学部のマイケル・ワイズとニコラス・ゼアの分析より。

p.588 悪夢が子どもたちを悩ませる：ファウンドリングのマヤとパパの記録より。

p.590 一通の手紙がファウンドリングに届き、(…) 医師の署名が入って：ファウンドリングのナナの記録より。

p.590 里親の要請でナナを診察した：ナナとアヴィアナへの取材より。

p.590 医師の診断は後日取り消される：ナナへの取材より。

p.591 言うまでもなく描いているのはシュプリームの金の歯：パパへの取材より。

p.592 隣で眠ってもいいかな：サム・スミス “Lay Me Down,” *In the Lonely Hour* (Capitol Records and Method Records, 2014).

第 41 章

p.596 映画『ATL』へのほのめかしだ：クリス・ロビンソン監督 *ATL*, (Warner Bros. Pictures, 2006).

p.603 大家から立ち退き通知が届いた：家庭裁判所の記録より。

p.603 シュプリームとシャネルが繰り返し居住規則を破った：シャネル、シュプリーム、大家への取材より。

第 42 章

p.610 ハーシー周辺の郡では、トランプが圧倒的な票を集めることになる：マシュー・ブロッホ、ラリー・ブキャナン、ジョシュ・カツツ、ケヴィン・クエリー “An Extremely Detailed Map of the 2016 Election,” *New York Times*, July 25, 2018.

p.610 少年拘置施設で十八ヶ月の刑期を務めている：ACS の記録より。

p.611 これを受けて里親はまた一線を引き：アヴィアナ、シャネル、ダサニへの取材より。

p.614 ダサニは暴行容疑をかけられる（これは後に取り下げられる）：ACS の記録より。

第 43 章

p.618 新しい里親のデニスだ。アフリカ系アメリカ人で特別支援学校の教師をしている：デニスへの取材より。

p.619 生徒数は三三〇〇人を超え：ワグナー高校に関する情報は教育局から得た。

p.630 救急隊員の記録によれば、パパは「ぶつぶつ言いながら」も大人しくなる：4月と5月のパパの入院に繋がった事件の記述は、ACS の記録とリッチモンド大学医療センターの記録に基づいている。

p.632 ホワイトハウスでギグをするまで有名になった：ポール・ウィリアムズ “DJ Fussyman Music Mogul in the Making,” *Living Staten Island*, Early Fall 2017.

p.632 ステイプルトンの煉瓦の壁には、十メートルの大きさの彼の似顔絵が描かれている：NYC Arts Cypher, “Cypher Fest: Surprise! Portrait with DJ Fussyman,” YouTube より。2016年10月13日公開の動画。

p.632 「気難しい子だったわ」：ファシーの母ラキマ・フリーランドへの取材より。

p.632 三十八口径のリボルバーを分解した一部だ：シャネルへの取材より。

第 44 章

p.635 “地下鉄の切りつけ女：子連れの母親をグランド・セントラル駅で切りつけ、” : May 29, 2017, *New York Post Covers Archive*; ティナ・ムーア、ニック・フガロ、マックス・イエーガー “Homeless Woman Accused of Rage-Filled Subway Slashing,” *New York Post*, May 28, 2017.

p.635 ACS の長官は退任し、職員三人が解雇された：“3 ACS Employees Fired, Independent Monitor Ordered After Probe of Zymere Perkins Case,” CBS Local, Dec. 13, 2016.

p.635 三六〇〇グラムの子を窒息死させた罪で有罪判決を受ける：2018年1月17日のマンハッタン地区検察局プレスリリース “DA Vance: Tiona Rodriguez Pleads Guilty to Killing Newborn Son Found in Her Bag at Herald Square Victoria’s Secret” より。

p.639 死因は心臓発作とのことだった: ベイリーへの取材より。

p.641 ブルックリンの白人アーティスト: Pamela Wong, “Brooklyn Artist Katie Merz Chosen to Create 80 Flatbush Mural,” *Bklyner*, Sept. 22, 2017.

第 45 章

p.657 ハイチ出身の副校長ジャン・エティエンヌ: ジャン・エティエンヌの生い立ちと経歴に関する情報は、すべて彼への取材から得た。

p.658 七十一歳の有名弁護士デイヴィッド・ランスナーだ: ランスナーの生い立ちと経歴に関する事実は、彼やゴットリーブやその他の児童保護の専門家への取材、レスリー・カウフマン “City Often Took Children Without Consulting Court,” *New York Times*, Oct. 28, 2004 といったニュース記事に基づいている。以下も参照。*Nicholas v. Williams*, 203 F. Supp. 2d 153 (E.D.N.Y. 2002) .

p.659 「屈服を拒むせいで児童保護システムに翻弄される典型的な親」: マッカーシーへの取材より。

p.660 一家を救いたくなかったのは「ダサニがいたからだ」と語った: ランスナーへの取材より。

p.661 ジムに行き、運動するのが毎朝の習慣だった: J・デイヴィッド・グッドマン “What’s Keeping the Mayor from Going Green? His Gym Routine,” *New York Times*, June 2, 2017.

p.661 ネイスリン・フラワーズ・アデシェグンという七十二歳のホームレスの黒人女性: キャスリーン・クリトン “‘I’m Doing My Workout,’ Mayor Tells Homeless Woman Seeking Help,” Patch.com より。2018 年 10 月 5 日公開。

p.661 デブラシオの支持率は四十二パーセントまで下落した: 2019 年 4 月 3 日のキニピアック大学世論調査、2017 年 5 月 17 日のキニピアック大学世論調査より。

p.661 失望の痕跡は残っている: アレックス・シェパード “Bill de Blasio Has Failed,” *The New Republic*, June 2, 2020; ルイス・フェレ＝サドウルニ “New York City’s Public Housing Is in Crisis. Will Washington Take Control?,” *New York Times*, Dec. 25, 2018; ニキータ・

スチュアート “New York’s Toughest Homeless Problem,” *New York Times*, May 30, 2019;
フレゲンハイマー “How Bill de Blasio Went.”

p.662 ニューヨークの低所得者層を犠牲にする宅地開発業者と契約を結んでいる: フレゲンハイマー “How Bill de Blasio Went”; アンドリュー・ライス “How Are You Enjoying the De Blasio Revolution?” *New York Magazine*, Dec. 28, 2015; ニキータ・スチュアート、ジェフェリー・C・メイズ、マシュー・ハーグ “Facing Homeless Crisis, New York Aims for 1,000 New Apartments a Year,” *New York Times*, Dec. 12, 2019.

p.662 現在、ニューヨークには七万二〇〇〇人以上のホームレスがいる: 2019年3月、72,520人がニューヨーク市の機関が管理する五つのシェルター・システムに入っていたが、そのうち63,000人以上がホームレス対策局のシェルターで暮らしていた。

p.662 ブルックリンのいたずら者が(…)こんな看板を立てることになる: ジェフェリー・C・メイズ、ウィリアム・ニューマン “De Blasio for President? ‘Nah,’” *New York Times*, May 10, 2019.

p.674 ジョージ・フロイド殺害事件: デリック・ブライソン・テイラー “George Floyd Protests: A Timeline,” *New York Times*, March 28, 2021.

p.674 数千人に交じって、パークレイズ・センターでの抗議活動に参加した: エドガー・サンドヴァル “Protests Flare in Brooklyn over Floyd Death as de Blasio Appeals for Calm,” *New York Times*, May 30, 2020.

p.675 デブラシオ市長は黒人の味方につこうとしなかった: ヘンリー・オースティン、スザンヌ・シエチャルスキ、トム・ウィンター “New York Mayor Bill de Blasio Defends Police After Video Shows NYPD SUV Driving into Protesters,” *NBC News*, May 31, 2020.

p.675 児童保護システムの廃止を求める運動: アイリーン・グレンチ “NYC Child Welfare Officials Helped Get Her Fired over Social Media Posts. Activism Got Her Back on the Job,” *The City*, Feb. 11, 2021.

あとがき

p.681 一九九一年刊行のアレックス・コトロヴィッツの名著『ここに子どもはいない』: アレックス・コトロヴィッツ *There Are No Children Here: The Story of Two Boys Growing Up in the Other America* (New York: Anchor Books, 1991).

p.681 子どもの五人の一人が貧困の中で暮らしていた: アメリカ合衆国保健福祉省計画・評価担当次官補室 “Information on Poverty and Income Statistics: A Summary of 2014 Current Population Survey Data”より。2014年9月16日公開。

p.681 二〇一二年のアメリカ合衆国は、豊かな国の中でルーマニアに次いで二番目に児童の貧困率が高い国になっていた: 2018年、アメリカ合衆国の児童貧困率は、イスラエル、チリ、ルーマニアに次いで四番目になった。2012年のデータは、ピーター・アダムソン *Measuring Child Poverty: New League Tables of Child Poverty in the World's Rich Countries*, Innocenti Report Card 10 (イタリア, フィレンツェ, ユニセフ・イノチェンティ研究所発行, 2012年), p. 3, Figure 1b を参照。2018年のデータは、経済協力開発機構 “Poverty Rate” を参照。 data.oecd.org から 2021年4月12日にアクセス。

p.682 アメリカで貧困に苦しむ子どもたち (二〇一二年時点で一六〇〇万人いるとされた): 貧困状態にあるアメリカの子どもの数は近年減っており、2019年には1050万人まで減少した。貧困児童数は新型コロナウイルスのパンデミック中の2020年にまた上昇した。1600万人という数字は2012年の国勢調査のデータによる。1050万人という数字は以下を参照。デジャ・トマス、リチャード・フライ “Prior to COVID-19, Child Poverty Rates Had Reached Record Lows in U.S.”ピュー研究所、2020年11月30日公開。パンデミック中の数字は以下を参照。プリヤンカ・ボグハニ “How Covid Has Impacted Poverty in America,” *Frontline*, Dec. 8, 2020.

p.684 その子の家族が人口統計を反映しているような「象徴的な」子ども: Children's Defense Fund, *Child Poverty in America 2012: National Analysis* (ワシントン D.C., 児童擁護基金発行, 2013年), p. 2 より。以下も参照。アルロック・シャーマン、ダニーロ・トリシ、マット・ブローダス *Census Data Show Poverty and Inequality Remained High in 2012 and Median Income Was Stagnant, but Fewer Americans Were Uninsured* (ワシントン D.C., 予算・政策優先センター発行, 2013年), p. 8; リンゼイ・M・モンテ “Multiplied Disadvantage: Multiple Partner Fertility and Economic Wellbeing into the Great Recession” (2014年5月にマサチューセッツ州ボストンで開催のアメリカ人口協会年次総会で発表された論文), p. 1.

p.685 古英語の *understandan* だ: カリフォルニア大学ロサンゼルス校古典学部・印欧語プログラムのブレント・ヴァインより。

p.686 「取材対象との個人的な関係」という項目には: “Ethical Journalism: A Handbook of Values and Practices for the News and Editorial Departments,” *New York Times*.

p.687 二十五ページの「手法の宣言」: ミッチェル・ドゥニア *Sidewalk* (New York: Farrar, Straus and Giroux, 1999), pp. 333–57.

p.687 「私たちは、研究者として他者の世界に入っていくことが (…)」とリー・アンは二〇一二年に書いた: リー・アン・フジイ “Research Ethics 101: Dilemmas and Responsibilities,” *PS: Political Science & Politics* 45, no. 4 (2012), pp. 722.

p.689 景気低迷の中で、もっとも慈悲の心を持っているのは、しばしばもっとも貧しい人たちなのだ: ビル・チャペル “Some Americans Boosted Charitable Giving In Recession; The Rich Did Not,” *The Two-Way*, NPR.com より。2014年10月6日公開。

p.690 貧しいとは監視を受けることに等しい: ヴァージニア・ユーバンクス *Automating Inequality: How High-Tech Tools Profile, Police, and Punish the Poor* (New York: St. Martin’s Press, 2017).

p.690 ひとりの子が、こうした複数のシステムをくぐり抜けていく: “Research on the Intersection of Families, Housing, and the Child Welfare System” アメリカ合衆国住宅都市開発省政策開発研究局、2012年8月3日公開。